

設 計 図 書

(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

令和 8 年度施行

紅葉橋補修工事

北海道帯広市

特 記 仕 様 書

特 記 仕 様 書

北 海 道 帯 広 市
(都 市 環 境 部 土 木 室 土 木 課)

目

- 1 適用
- 2 土木工事積算基準等
- 3 概数
- 4 参考図
- 5 積算情報
- 6 施工条件の明示
- 7 施工計画書の作成
- 8 交通規制及び安全対策
- ~~9 用地境界標（杭）の取り扱い~~
- 10 段階確認事項
- 11 出来形図
- 12 電子納品・情報共有（試行）
- 13 共同企業体編成表
- 14 工事材料品質確認願
- 15 完成届
- ~~16 路面標等の施工~~
- ~~17 再生アスファルト混合物~~
- ~~18 アスファルト乳剤~~
- ~~19 コンクリート再生骨材~~
- 20 建設副産物（建設発生土）
- ~~21 建設副産物（伐採・抜根・すき取り・伐開物等）~~
- 22 特定建設資材廃棄物の処理について
- ~~23 工事文障物件~~
- 24 工事現場発生品
- ~~25 雨水樹の位置表示~~
- ~~26 植栽~~
- ~~27 植生工~~
- ~~28 照明灯~~
- ~~29 大型標識~~
- ~~30 歩道の一般的構造~~
- ~~31 地土地下の既設公共施設の被害防止について~~
- 32 各種台帳
- ~~33 街路灯調査票~~
- 34 北海道循環資源利用促進税について
- 35 石綿障害予防規則について
- 36 工事保険の加入について
- 37 技能士の活用について
- 38 成果品等の貸与
- ~~39 除雪工~~
- 40 工事成果品収納箱
- 41 現場環境改善費について
- 42 コンクリート構造物のひび割れ調査票

次

- 43 1日未満で完了する作業の積算について
- ~~44 区画線復旧後の交通開放~~
- 45 施工歩掛について
- 46 塗膜の剥離等作業にかかる取扱について
- 47 週休2日工事の実施について
- 48 その他

様式

- ・ 施工計画書
- ・ 工事看板記載仕様
- ・ 工事施工協議簿
- ・ 履行報告書
- ~~境界杭立会確認書一覧表~~
- ~~境界杭立会確認書~~
- ・ 段階確認願
- ・ 共同企業体編成表
- ・ 工事材料品質確認願
- ~~再生骨材の出荷確認について~~
- ・ 現場発生品調書
- ・ 建設発生土受入契約書
- ・ 発生土受入証明書
- ・ 再資源化等報告書
- ・ 再生資源利用促進計画の作成に伴う確認結果票
- ~~土壌汚染対策法等手続の確認フロー~~
- ・ 指定機械一覧
- ・ 排出ガス対策型建設機械を使用できない理由書
- ・ 送電線路付近工事協議書
- ~~維持管理物件一覧表~~
- ~~街路灯調査票~~
- ~~点検記録票（総括表）道路照明施設~~
- ~~点検記録票（総括表）道路標識~~
- ・ 技能士活用状況報告書
- ・ 社内完成検査報告書
- ・ 借受書
- ・ 返納書
- ~~建築物等立会確認書~~
- ・ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表
- ・ 施工体制報告書
- ~~伐採枝・幹材搬入伝票~~
- ・ 立会願
- ・ 塗装記録表
- ・ 施工実績

1 適用

本工事は、『北海道建設部土木工事共通仕様書（最新版）』（以下「共通仕様書」という。）に基づき施工するものとする。
また、『設計図書』、『共通仕様書』及び特記仕様書に記載のない場合においては、関係する各要綱、示方書及び指針等に準拠することとし、その適用にあたっては、その都度工事監督員と協議すること。また、施工にあたって疑義、不明な点があれば同様に協議すること。

そのほか、帯広市道路の構造の技術的基準等を定める条例及び施行規則、帯広市道路移動等円滑化基準条例、帯広市道路標識寸法規則に基づくこと。

2 土木工事積算基準等

- (1) 本設計図書は北海道建設部が制定した「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」及び「土木工事数量算出要領」に基づき作成している。
- (2) 「土木工事積算基準」において定められている諸基準を次のとおり扱っている。
 - ① 機械施工と人力施工等施工方法の区分は設計図面等から判断しているが、機械施工が困難である場合を除き機械施工としている。
 - ② 各基準において標準工法や標準機種が定められている場合、別途特記仕様書等で明示している場合を除き、標準工法・機種で積算している。
 - ③ 上記①②については受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等によりこれにより難しい場合は、必要に応じて設計変更する。
- (3) 「土木工事工種体系化の手引き」において定められている事項については、規格・摘要欄に明示した内容に変更が生じた場合は、必要に応じて設計変更とする。

3 概数

- (1) 「概数として扱う数量一覧表に示した数量」は、必要に応じて設計変更をするものとする。
- (2) この工事においては、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者が行うものとする。
- (3) 概数に係る施工にあたっては、施工図面・数量計算書等を作成のうえ、工事監督員と十分協議し、施工協議簿にその打合せ経過を記入すること。
- (4) 標準図は標準的な施工図または出来形を示すものであり、現地状況等に応じて受注者は十分照査のうえ実施するものとする。
- (5) 変更の必要が生じた場合は、すみやかに工事監督員と協議を行うこと。
- (6) 概数として扱う数量一覧表で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、現地条件等によって新たに必要となる項目についても概数として扱うことがある。
- (7) 建設副産物の概数について
 - ①解体・破砕費・運搬費
 1. 構造物等の寸法を実測し算出した体積とする。計測した写真を提出し協議すること。
 2. 構造物等の寸法実測が困難で体積・重量算出が不可能な場合（構造物等の形上が不定形な場合等）は産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表の数量から単位体積質量により換算して算出する。
 3. 構造物等の寸法が実測されていない②以外の工種について、産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表の数量から単位体積質量により換算して算出するが、過大な出来形に対しては変更しない。

4. 舗装厚の実測方法

各舗装構成を1施工箇所として施工延長20mにつき1箇所、施工延長が60m未満のものは3箇所、舗装厚を実測し平均値を算出する。
舗装厚を実測する際は、舗装を直接計測すること。
撤去舗装面積について設計と差異があり変更を必要とする場合は、施工前に工事監督員と現地立会を行い、変更資料を提出し協議すること。

②処分費

1. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表を提出し協議すること。処分数量から概数確定を判断するが、過大な出来形に対しては変更しない。
産業廃棄物管理票（マニフェスト）及び検量書について工事監督員から指示を受けた場合、提出すること。

4 参考図

〔参考図〕として示した図面は、発注者が想定した工法、材料等を示したものであり、これに示されている事項については、受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等により、これにより難しい場合は必要に応じて監督員と協議すること。なお、設計上過大な計画に対して変更するものではないことに留意すること。

5 積算情報

本工事の予定価格算出の基礎となる積算基準日及び積算工期は下記のとおりである。

- (1) 積算基準日 令和8年5月11日
積算工期 令和8年6月9日 ～ 令和8年12月15日
- (2) 積算工期には施工に必要な実日数（実働日数）以外に、準備期間(60日)、後片付け期間(20日)のほか雨休率、休日等(日曜日、祝日、夏季休暇、年末年始休暇及び作業期間内の全土曜日を含む。)を見込んでいる。

6 施工条件の明示

- ・現場塗装工は、登録建設塗装基幹技能者を1名以上配置すること。
- -----

7 施工計画書の作成

- (1) 受注者は、契約後すみやかに公示用設計図書の検討、基本的な測量による現場確認、関係機関への届け出、工事監督員との打合せを行うこと。
- (2) 特記仕様書に記載のある条件明示の項目について、全て現地等と適合するか否か確認し、施工計画書に図面を含め詳細（管理者名、会社名、住所、距離及び受け入れ条件等）に記載すること。設計図書と現地等において相違が確認された場合は、直ちに工事監督員に報告し、必要に応じ協議すること。
- (3) 施工方法には、具体的な作業手順、具体的な作業方法、当該工事で留意すべき事項等、共通仕様書に準じて記載すること。（掘削方法、転圧、敷均し方法、構造物の施工方法、工作物の撤去方法、仮設の方法等）
- (4) 出来形管理基準、品質管理基準及び写真管理基準は、共通仕様書に準じた管理基準のほか社内管理基準についても明記すること。また、どこの箇所（測点等）でどの程度実施するのか予定箇所等を記載すること。
- (5) 品質管理基準は、小規模な工事以外は関連項目を全て満足するよう、試験方法品質管理基準項目及び実施項目については工事監督員と協議のうえ記載すること。
- (6) 特記仕様書及び共通仕様書等で指定のある段階確認及び立会については記載することとし、その他の段階確認事項については、工事監督員と協議のうえ記載すること。

- (7) 道路・河川等の公共用地の状況を記載し、道路施設等を道路区域等の用地から超えて民地等に築造しないための施工上の留意事項も併せて記載すること。
- (8) 道路交通法第77条第1項の規定に基づく道路使用許可を所轄警察署から受け、施工計画書に添付すること。

8 交通規制及び安全対策

本工事は、下記の道路交通法で施工するものとする。下記の期間及び区間は最大限を示したものであり、施工にあたっては必要最小限に留めるよう努めなければならない。

- (1) 規制の方法：歩道一時通行止め ・ 片側交互通行 ・ 車道幅員減少 ・ 歩道幅員減少 ・ 作業時通行止め
- (2) 交通誘導警備員

配置人数（ 2 ）人配置 交代要員（ 1 人）

市街地（人口集中地区及び準人口集中地区）及び公安委員会が認定する検定合格警備員の配置を必要とする路線に係る工事現場においては、警備業法による交通誘導警備検定合格者（1級又は2級）を最低1人以上配置することとし、施工計画書に警備業法による警備員名簿及び交通誘導警備検定合格書（いずれも写し）を添付すること。

（警備員名簿は、警備業法第45条、同法施行規則第66条第1項の要件に沿ったものとする。）

- ・ 地域住民・警察との協議、関連工事との調整等により交通誘導警備員配置計画に変更が生じる場合には、工事監督員と協議すること。
- ・ 次により、施工計画書の交通管理項目に交通誘導警備員の配置を含めた交通処理計画を記載すること。
 - 1 現地の交通状況などを確認の上、交通処理計画を作成すること。
 - 2 交通管理者への許可申請等において、交通処理計画の変更を求められた場合には、工事監督員と協議すること。
 - 3 毎日の作業終了後は現況幅員程度を確保することとし、一般交通などに支障がないよう安全対策を講じること。

9 用地境界標（杭）の取り扱い

- (1) 用地境界標（杭）とは、道路敷地界（国土交通省・北海道・帯広市）のみならず、民地界その他すべての境界標（杭）のことをいう。
- (2) 受注者は工事着手前に現地調査を行い、測量時の境界杭立会確認書を基に用地境界標（杭）を確認し報告すること。また、工事中に杭が新たに確認できた場合は、受注者は土地所有者等と立会し、境界杭立会確認書を自ら作成すること。
- (3) 受注者は工事完成時に土地所有者等と立会し、境界杭立会確認書にその内容を記入すること。
- (4) 用地境界標（杭）を工事施工に起因して移設・損傷・紛失した場合は、受注者の責任で復元するものとするが、その作業は有資格者により行うものとし、工事監督員の承諾を得ること。

10 段階確認事項

次の時期又は工種については、段階確認を実施する。また、『共通仕様書』1-1-1-23の表1-1に示す段階確認のほかに、確認事項について工事監督員と協議すること。

- ・ 塗装前（素地調整状況）、塗装完了時
- ・ 伸縮装置撤去時
- ・ 損傷状況、断面修復完了時

11 出来形図

- ① 撤去図など施工後に形態をなさないものは除くこととする。また、工事監督員が必要とする図面を作成すること。
- ② 記録ファイル形式はPDF形式とP21形式の両方とする。
- ③ PDFは設計値と出来形（朱書）の並記とし、P21については出来形値のみとする。文字化けなどが無いよう確認し記録すること。

12 電子納品・情報共有（試行）

（1）電子納品

- ① 本工事は、工事書類を電子成果品として納品することができる工事である。
- ② 電子納品の対象書類は、工事監督員と協議の上決定する。

（2）工事施工情報共有

- ① 当該工事は、工事監督員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。
- ② 当該工事で使用する情報共有システムは次のものとする。
推奨システム名：北海道市町村版情報共有システム
ASP事業者：一般財団法人北海道建設技術センター
- ③ 工事監督員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は受注者が行うものとする。また利用開始日、ワークフロー機能の対象者等については工事監督員と協議の上決定する。
- ④ 受注者は、情報システムのサービス提供者と次の内容を含めた契約をする。
（ア）情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整えること。
（イ）情報共有システムのサービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに工事監督員及び受注者に連絡を行い、適正な処理を行うこと。
（ウ）上記（イ）の場合において、情報共有システムのサービス提供者に重大な管理瑕疵があると工事監督員若しくは受注者が判断した場合、または復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者は情報共有システムのサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を中止できること。
- ⑤ 情報共有システムを利用する工事監督員及び受注者の費用は共通仮設費（技術管理費）の率分に含まれる。利用料金は情報共有システムへの登録料及び使用料である。
- ⑥ 詳細については工事監督員と協議すること。また、条件によっては活用を行わない場合があるので工事監督員と協議すること。

（3）電子納品・工事施工中の情報共有の実施に伴う環境整備

受注者は、電子納品及び工事施工中の情報共有を行うにあたり、必要なハード環境及びソフト環境を予め保有している、または手配可能なこと。

（4）成果品

- ① 本工事は電子納品対象書類は、情報共有システムへ登録し、工事監督員の承諾を得ること。

13 共同企業体編成表

本工事を共同企業体で受注した場合は、契約締結後5日以内（着工届に添付）に共同企業体編成表作成のうえ工事監督員に提出すること。
（別紙「共同企業体編成表」を参照のこと）

14 工事材料品質確認願

J I Sマーク表示品以外の材料について工事材料品質確認願を提出すること。なお、セメントコンクリート製品一般、アスファルト混合物、路盤材（切込砂利、コンクリート再生骨材）の試験成績表等については、以下に挙げる取扱団体から発注者へ年度当初に一括提出されるので、提出を省略する。

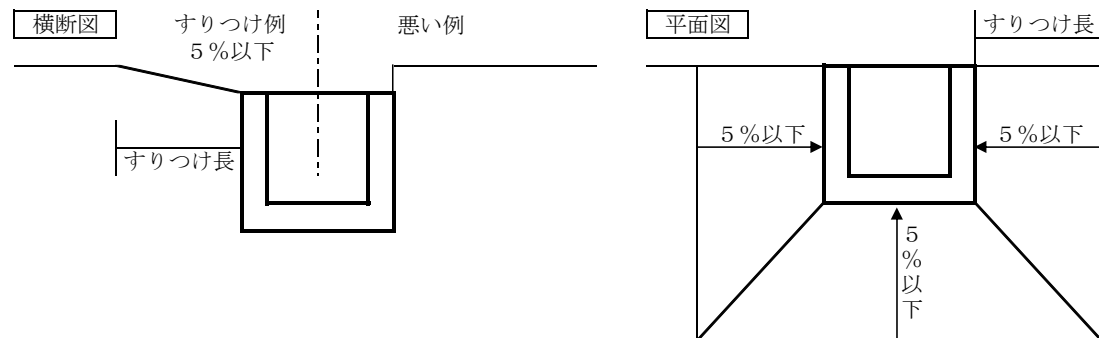
資 材 名	団 体	特記事項
コンクリート二次製品	十勝管内コンクリート二次製品協同組合	
アスファルト混合物	北海道舗装事業協会 帯広地区委員会	
路盤材（切込砂利）	十勝骨材共販協同組合	
路盤材（コンクリート再生骨材）	十勝再生骨材販売協同組合	

15 完成届

完成届の提出に際し、完成写真として着工前及びこれと対比できる完成の写真帳を提出すること。なお、写真帳には撮影年月日及び測点等を記入するものとする。

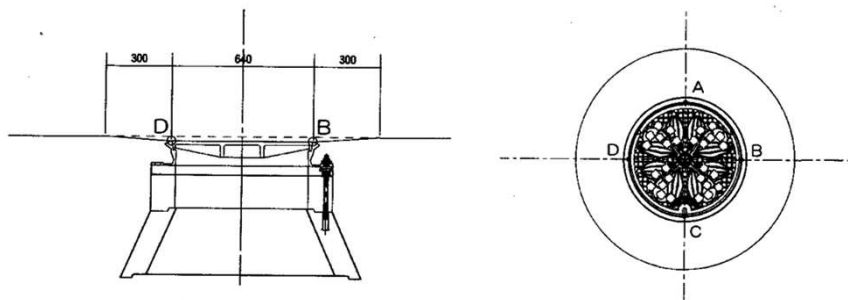
16 路面柵等の施工

- (1) 路面柵等、トラフ、基礎ブロックの施工について
 - ① 柵・トラフの施工は舗装勾配に合わせて施工すること。
 - ② 舗装完成時に舗装面より柵等がいかなる場合も突出してはいけない。
 - ③ すりつけ勾配は5%以下を標準とし、路肩内に納めること。
 - ④ 取付管の接合部には、特殊接合剤を使用すること。
 - ⑤ 宅地への乗り入れ箇所が変更となることにより路面柵が低下縁石部に設置することになった場合は工事監督員と協議すること。
- (2) 路面柵の施工について
 - ① 路面柵頂部が舗装面より20mm以上下がるように設置すること。これによりがたい場合は、工事監督員と協議すること。
 - ② 柵をかさ上げる場合は、指定の製品を使用すること。



(3) 既設下水道用マンホールについて

- ① マンホール蓋受枠頂部が周辺の舗装面より20mm以上下がるように高さを調整すること。
なお、測定は道路の縦断、横断方向を水糸等で4点測定し、測定値のいずれかが許容範囲を超える場合は、高さを再調整すること。
- ② 舗装のすりつけ長は、マンホール受枠部から300mmを標準とする。
- ③ マンホールの高さ調整を無収縮モルタルで調整する場合は、調整高さは40mmまでとする。



—17 再生アスファルト混合物—

- (1) 本工事では再生アスファルト混合物を下表に示す再生骨材混入率に基づいて施工すること。また、再生アスファルト混合物に関する事項は、アスファルト舗装再生利用ガイドライン、プラント再生舗装技術指針等に従うものとする。

再生混合物	細粒度アスコン (車道)	細粒度 ギャップアスコン	密粒度 ギャップアスコン	密粒度 アスコン	粗粒度アスコン	アスファルト安定処理 (車道)	細粒度アスコン (歩道)	アスファルト安定処理 (歩道)
混入率 (%)	50	50	50	50	50	50	50	50

- (2) 配合率50%再生アスファルト混合物については11月末日までの施工とし、12月1日以降に舗設する場合は新材を使用すること。
- (3) 密粒度アスコンの使用は10月末日までとし、11月1日以降は、原則、細粒度アスコンまたは細粒度ギャップアスコンを使用するものとする。ただし、他工事との調整等により、当初想定していた舗設時期が変更となる場合、使用する合材について監督員と協議すること。

—18 アスファルト乳剤—

アスファルト乳剤の散布量について、タックコートの場合 43ℓ/100㎡、プライムコートの場合126ℓ/100㎡を標準使用量とする。

19 コンクリート再生骨材

セメントコンクリート再生骨材を使用する場合は下記によるものとする。ただし、これにより難しい場合は、工事監督員と協議のこと。

本工事で使用するコンクリート再生骨材は下記の再資源化施設を想定している。下記の再資源化施設を使用する場合、工期開始時に供給が不可能な場合は、別紙再生骨材の出荷確認様式で再資源化施設より回答を受け工事監督員と協議すること。

再資源化施設	所在地	備考

20 建設副産物（建設発生土）

(1) 本工事の建設発生土の受入地は下記を想定している。

	所在地	搬入予定土量	運搬距離	敷均しの有無	受入期間	使用路線名
	依田受入地 (幕別町字依田243番地3)	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	北2線受入地 (芽室町西土狩北2線59番地1)	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	清川受入地① (帯広市清川町東2線97番地1, 2, 3) (帯広市清川町東2線99番地2, 3) (帯広市清川町東2線84番地1, 2, 3)	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	清川受入地② (帯広市清川町東2線99番地1, 6, 7, 8)	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	中島東5線受入地 (帯広市中島町東5線96番地9)	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	稲田町受入地 (帯広市稲田町9-1, 川西町基線99)	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
○	岩内受入地 (帯広市岩内町東1線7番地1)	4 m ³	L= 9.1 km	有 ・ 無	6月 9日 ~ 12月 15日	紅葉橋 (岩内越路の沢線)
	その外	m ³	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	

↑ 本工事該当箇所○印

- (2) 搬入に先立ち受入先と受入契約を締結すること。（建設発生土受入契約書参照）
- (3) ①搬入に先立ち、発注者及び受入先に土質試験表を必要に応じ提出すること。
②土質試験項目は最適含水比及び粒度分布等を試験し結果を提出するものとする。
- (4) 搬入土内に、コンクリート廃材・アスファルト廃材・ゴミ等を混入させないこと。なお、混入が認められた場合は混入物を撤去すること。
- (5) 搬入路について砂利等が必要な場合は適宜敷均し補充すること。
- (6) 搬入期間中に道路を汚損した場合は道路清掃人を配置し清掃を行うこと。また、清掃人には会社名を明示した腕章を着用させること。

- (7) 工事完成時に下記の写真を提出すること。
 - ① 搬入前後の比較ができる写真。
 - ② 搬入土の土質が確認できる写真。
 - ③ 道路清掃人及び清掃状況が確認できる写真。
 - ④ 敷均しが必要な場合、敷均し状況が確認できる写真。
- (8) 搬入前に、数量の確認方法等について工事監督員と協議をすること。
- (9) 搬入完了後、受入者より建設発生土受入証明書を提出してもらい、工事監督員の確認を受けること。

21 建設副産物（伐採・抜根・すき取り・伐開物等）【以下「伐根物等」という。】

- (1) 工作物の新築・改築・除去に伴う工事により排出される抜根、伐採材等の木屑は産業廃棄物とする。
- (2) 工作物の新築・改築・除去を伴わない工事により発生した抜根、伐採材、枝打ちした木、間伐材、流木等の木屑は一般廃棄物とする。
- (3) 草、笹、草の根等のすき取り物、伐開物は一般廃棄物とする。
- (4) 建設副産物(伐根物等)は、受注者において適正な帯広市内の処理施設を選定し、施工計画書に建設副産物における適正処理計画について記載すること。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、工事監督員と協議すること。
※処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定している。
- (5) 一般廃棄物の収集・運搬・処分を委託する場合は、帯広市内の許可業者でなければならないので留意すること。また、一般廃棄物の許可は市町村毎なので注意すること。
- (6) 本工事で発生する伐根物等は、下記に基づき適切に処理すること。
 - ① 本工事受注者自らの車両で直接処分場へ運搬する場合、また、本工事受注者が、賃貸車両を使用し直接処分場へ運搬する場合は、運搬車両に看板等で会社名を明示すること。
 - ② 廃棄物処理業の許可を受けた者を選定すること。
- (7) 工事完成時に下記の写真及び調書を提出すること。
 - ① 運搬の状況が確認できる写真（運搬車両が確認できるもの）
 - ② 受入業者名（処分場の看板等）がわかり、搬入状況がわかる写真
- (8) 工事現場内において発生した廃棄物等が混在しないよう適切に管理するとともに、すみやかに各処理場へ搬出すること。
- (9) 有料となるものの処理費用は、本工事に含まれている。
- (10) 幹材の搬入にあたっては、別紙「幹材の搬入について」を参照し、指定伝票を監督員に提出すること。
- (11) 枝材の搬入にあたっては、指定の伝票のうち、「帯広有機西帯広牧場 ポスト投函用」は日ごとに処理場へ、「帯広市みどりの課 提出用」は、月ごとにまとめて監督員に提出すること。

22 特定建設資材廃棄物の処理について

- (1) 分別解体等によって発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、発生木材、アスファルトコンクリート塊）は、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設廃棄物における適正処理計画について記載すること。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出のうえ、工事監督員と協議すること。
※処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定している。
- (2) 工事写真には、処理業者名（処分場名の看板等）が判りかつ、搬入状況も判る写真を貼付すること。

(3) 本設計図書において発生しないものとしている種類の特定建設資材廃棄物であっても、受注者の都合により実際に発生させ、廃棄物として処分する場合は、当該特定建設資材廃棄物の再資源化等実施方法の確定後に、建設リサイクル法第13条及び分別解体等省令第4条に基づく協議書の別記様式を準用し、「4 再資源化等をするための施設の名称及び所在地」欄に必要事項を記載して、工事監督員の確認を受けること。

—23 工事支障物件—

(1) 本工事区間内の支障物件は下表のとおりである。受注者は下記協議状況に係わらず必ず各管理者と当該物件の取り扱いについて協議し、適正な処理に努めること。

	支障物件等	管理者	管理者との協議状況	工 事 方 法 等	備 考
	電柱	北海道電力ネットワーク(株)	協議済・協議中		
	電話柱	東日本電信電話(株) 北海道東支店	協議済・協議中		
	地下埋設 ケーブル	東日本電信電話(株) 北海道東支店	協議済・協議中		
	下水道管 下水道公共樹	帯広市上下水道部下水道課	協議済・協議中		
	水道管	帯広市上下水道部水道課	協議済・協議中		
	ガス管	帯広ガス(株)	協議済・協議中		
	信号柱 規制看板	北海道公安委員会	協議済・協議中		
	消火栓	帯広市上下水道部水道課 消防本部	協議済・協議中		

↑ 本工事該当箇所○印

(2) 本工事区間内の下記物件については、本工事において調整・移設等を行うこと。

	物 件	内 容	数 量
	下水道マンホール	高さ調整	箇所
	下水道公共樹	高さ調整	箇所
		移設	箇所
	帯広市公共基準点	一時撤去 ・ 移転	箇所
	水道弁筐	高さ調整	箇所

↑ 本工事該当箇所○印

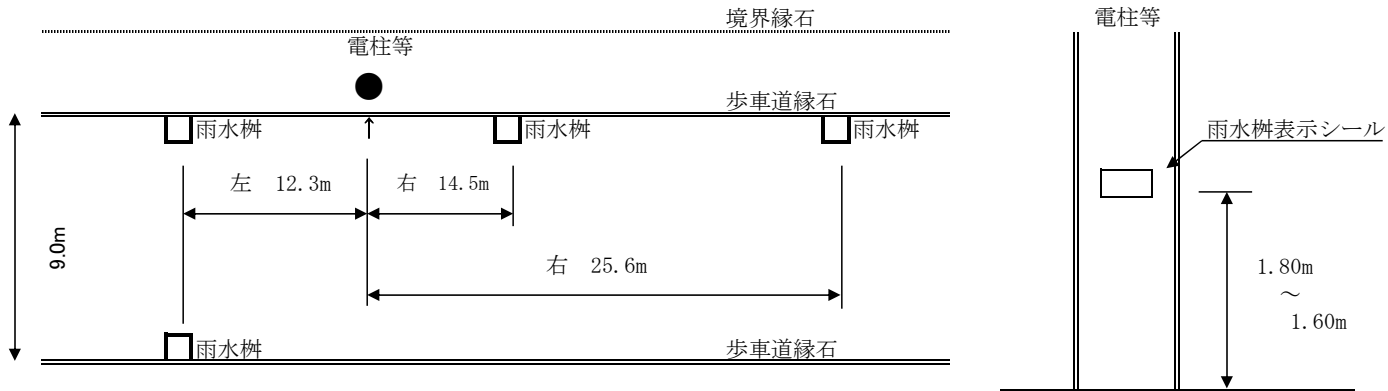
24 工事現場発生品

本工事現場発生品の取り扱いを下記に示す。ここに示していないもので現場より発生したものは、工事監督員と協議のうえ適正な処理を行うこと。なお、受注者が工事監督員に現場発生品を引き渡す場合は、現場発生品調書を提出すること。

発 生 品 名	規 格 ・ 寸 法	発生予定量	再使用量	残 量	残 量 の 取 り 扱 い 方 法
鋼製支圧版	PL 100×200(SS400)	18.21kg	なし	18.21kg	道路維持課ヤードへ運搬

25 雨水樹の位置表示

本工事で設置した雨水樹は、冬期の堆雪時に位置が判るよう最寄りの電柱等に位置を明示したシールを貼付すること。
表示方法は下記のとおり。



＜帯広市型雨水樹表示シール＞



＜雨水樹表示シール記載注意事項＞

道路工事・下水道工事・側溝整備工事等における雨水樹新設に適用。
雨水樹の位置を確認するための雨水樹表示シールを最寄りの電柱・街路灯等に貼り付ける。
雨水樹表示シールは、車道側の高さ1.6m～1.8mの位置に貼り付ける。
雨水樹表示シールは、貼り付けた電柱等と雨水樹の距離を記載する。
雨水樹表示シールの左右は、車道側から電柱等に向かった向きで記載する。
雨水樹表示シールの文字は、テブラ等の黒文字、19～38pt程度の大ききで記載する。
電柱等が片側にしかない場合、雨水樹表示シールには、左○○.○m 向○○.○mと記載する。
雨水樹表示シールを貼り付けた電柱等の写真を工事写真に添付すること。
雨水樹表示シールを貼り付けた電柱等を出来形図にて表記すること。

※ シールは帯広市型雨水樹表示シールとする。

—26 植栽—

(1) 植替義務（枯補償）

① 新植樹木又は新植地被植物（地表面を覆う目的をもって植栽される芝類、笹類の永年性植物）の植栽樹木等が工事完了引渡し後1年以内に植栽した時の状態で枯死又は形姿不良（枯枝が樹冠部の概ね2/3以上となった場合、または、通直な主幹をもつ樹木については、樹高の概ね1/3以上の主幹が枯れた場合をいい、確実に同様の状態となると想定されるものを含む。）となった場合には、受注者は当初植栽した樹木等と同等またはそれ以上の規格のものに植替えるものとする。

ただし、暴風・豪雨・洪水・高潮・地震・地すべり・落盤・火災・騒乱・暴動等の天災などにより流失・折損・倒木した場合は、この限りではない。植替え時期については発注者と協議するものとする。

② 本工事において植栽する樹木等の規格等を下表に示す。

樹木等名	樹木規格・寸法			樹木等購入・支給	支柱形式	マルチング材
	H	C	W			
				購入・支給		要 ・ 不要
				購入・支給		要 ・ 不要
				購入・支給		要 ・ 不要
				購入・支給		要 ・ 不要
				購入・支給		要 ・ 不要

(2) 土壌改良材の使用基準

① 客土に混入する土壌改良材は、客土1m³当たり道路植樹用で20kgの使用、公園植樹用で100kgの使用を標準とする。

② 土壌改良材は、泥炭系・木肥系または同等品以上とする。

③ 客土と土壌改良材は、十分攪拌し均一に混入して使用する。

(3) その他の条件

① 樹木の植え付け後は、活着まで定期的に見回りを行い十分な灌水を行うこと。

② 植栽樹木が容易に確認できるように番号等を付けること。

(4) 道路植樹工の根鉢・植穴寸法及び客土量・土壌改良材使用量

①北海道建設部「土木工事積算基準」に準拠すること。

~~27 植生工~~

種子散布工

- (1) 栽培芝タイプの種子選定と配合については、共通仕様書に準拠すること。
 - ① 出来形図に測定箇所の施工範囲、実測値（三斜の延長）を記入し、三斜法による求積計算を添付すること。ただし、工事監督員と協議のうえ、CAD計測によるものとしても良い。
 - ② 工期内に発芽状況の確認ができない場合は、工事監督員の指定した時期までに上記測定結果を提出するものとする。
- (2) 公園芝タイプの種子選定と配合については、共通仕様書に準拠すること。
 - ① 出来形図に測定箇所の施工範囲、実測値（三斜の延長）を記入し、三斜法による求積計算を添付すること。ただし、工事監督員と協議のうえ、CAD計測によるものとしても良い。
 - ② 施工管理の判定基準は、発芽状況を測定し写真を添付した測定結果を工事監督員に提出するものとする。なお、測定数は工事監督員と協議し発芽状況の疎な部分で行うものとし、必要な発芽密度は、10cm×10cmの範囲で育成本数50本以上を標準とする。
 - ③ 工期内に発芽状況の確認ができない場合は、工事監督員の指定した時期までに上記測定結果を提出するものとする。

工程関係

- (1) 施工前に工程作成を行い、設計図書で条件明示された選定方法が、帯広の気象データ（平均値）に基づく施工完了期限までに施工可能か確認した上で、施工計画書に明記すること。また、施工時期が当初工程より遅延する恐れが生じた場合には、工事監督員と協議すること。（1991～2020年の平年値（気象庁データ）より、種子散布工は9月11日、張芝工は12月22日までを想定している）

~~28 照明灯~~

- (1) ポールに取り付ける表示板の灯柱番号は、工事監督員の指示を受けること。
- (2) ボルトナットの締付け後、防錆塗料が剥離した場合は、必ず防錆処理を行うこと。
- (3) 北電に提出する書類は申請前に監督員の確認を受けること。
- (4) 照明灯の点灯は、北電の竣工検査終了後直ちに行うこと。
- (5) 工事完成時に、「点検記録票（総括票）道路照明施設」に点灯の状況が判る写真を、完成届とともに提出すること。

~~29 大型標識~~

- (1) ボルトナットの締付け後、防錆塗料が剥離した場合は、必ず防錆処理を行うこと。
- (2) 工事完了時に、「点検記録票（総括票）道路標識」を提出すること。

~~30 歩道の一般的構造~~

歩道面に設ける勾配は、地形の状況その他の特別の理由によりやむを得ない場合を除き、車いす使用者等の円滑な通行を考慮して以下のとおりとする。

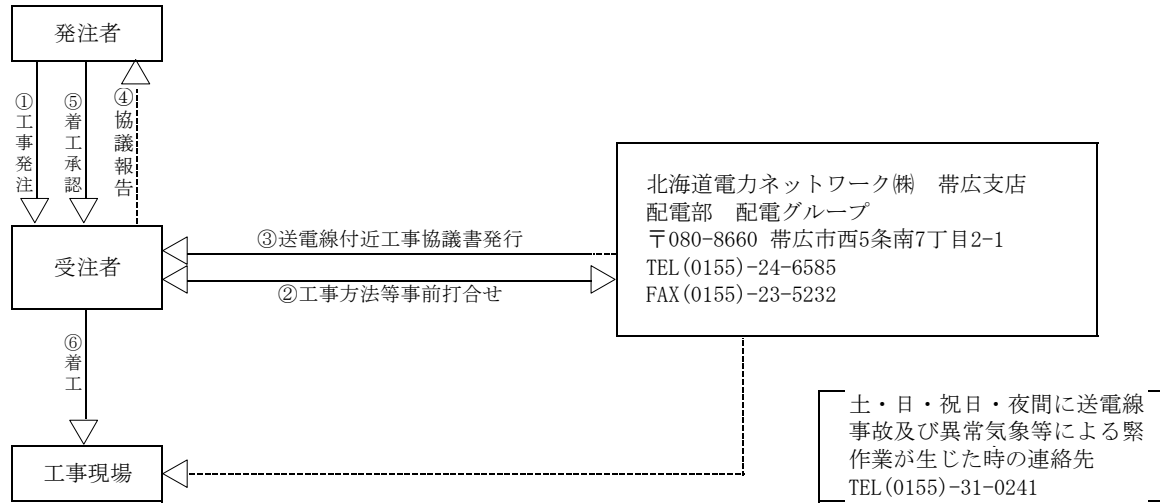
- (1) 歩道の縦断勾配は5%以下とする。ただし、沿道の状況等によりやむを得ない場合には、8%以下とすることができる。
- (2) 歩道の横断勾配は2%を標準とする。
- (3) 縦断勾配を設けることにより雨水等を適切に排水できる箇所には、横断勾配は設けないことができる。
- (4) やむを得ない理由により、上記(1)～(3)が図れない場合は、工事監督員と十分に協議すること。

—31— 地上地下の既設公共施設の被害防止について —

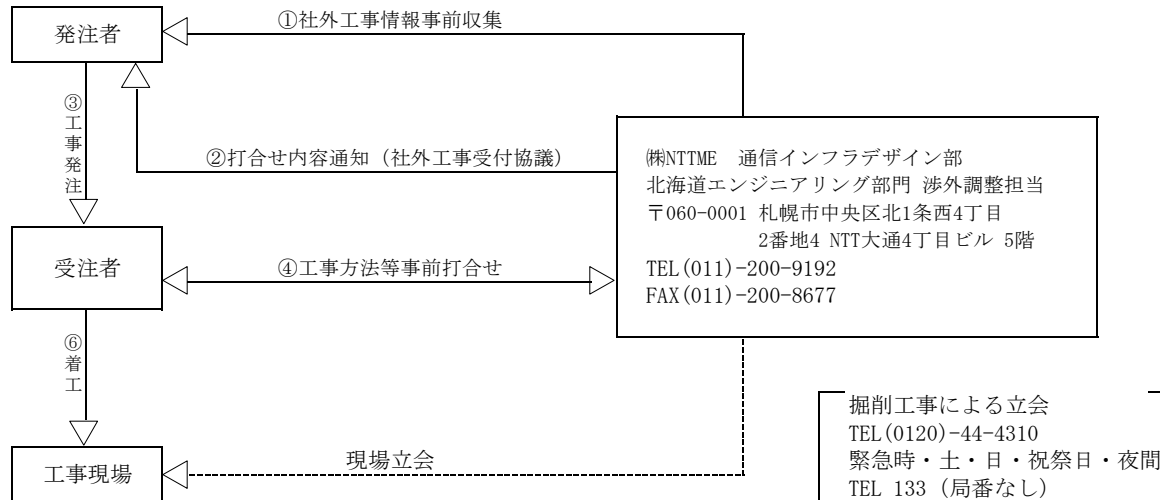
電気、通信、水道、ガスなど社会生活に重大な影響を及ぼす既設公共施設については、特段の注意を払い工事現場の管理を行うこと。

- (1) 地上地下の既設公共施設の確認
工事着工前に、工事箇所及びその周辺にある既設公共施設の確認を確実に行うこと。確認結果は工事監督員に報告すること。
- (2) 施設管理者との協議等
既設公共施設の有無にかかわらず、すみやかに施設管理者と協議を行うこと。工事により施設に影響を及ぼす恐れのある場合は、施設管理者の指示を受け、その必要な保安措置を講じること。
- (3) 施工計画書の提出
施工計画書に、施設管理者との協議、指示内容及び保安措置について具体的に記載し、工事監督員に提出すること。なお、該当施設がない場合であっても、その旨、記載すること。
- (4) 工事の着手
施工計画書の提出及び事故防止保安措置を講じた後でなければ、工事に着手してはならない。
- (5) 北電配電線・送電線設備
工事着工前に、北海道電力ネットワーク(株)と打合せを行い、その内容を施工計画書に明記する。
- (6) N T T通信設備
工事着工前に、(株)NTT-MEと打合せを行うこと。工事看板に協議済みシールを添付すること。

北電送電線に関わる協議



NTT通信設備に関わる協議



32 各種台帳

工事完成時において、植栽工等の場合は「維持管理物件一覧表」を作成し、電子媒体により提出すること。

~~33 街路灯調査票~~

- (1) 照明灯の新設、移設がある場合は、工事完成書類提出時に「街路灯調査票」と「街路灯写真」を作成し、電子媒体により提出すること。
- (2) 新設の場合は、「街路灯調査票」に記載すること。また、「街路灯写真」及び見取り図（灯柱番号を記入）を添付して提出すること。
- (3) 移設の場合は、「街路灯調査票」に変更となる電線引込柱番号等に留意して記載し、調査票の右上に「移設」と記載すること。
また、見取り図（灯柱番号を記入）を添付して提出すること。
- (4) 写真撮影について
 - ① デジタルカメラの右側を下にして、全て縦長で撮影すること。
 - ② 全ての街路灯と分電盤について、全景を1基につき1枚撮影すること。なお、全景は最下部まで撮影すること。
 - ③ 写真ファイル名は、「灯柱番号.jpg」とする。（灯柱番号が「帯土〇〇-□」であれば、その写真ファイル名は、「帯土〇〇-□.jpg」とする。）
 - ④ 拡大写真を撮影した場合、そのファイル名の後部に(1)(2)を付けること。（灯柱番号が「帯土〇〇-□」の拡大写真ファイル名は、「帯土〇〇-□(1).jpg」とする。）

34 北海道循環資源利用促進税（以下、「循環税」という。）について

当工事で発生する産業廃棄物が道内の最終処分場に直接搬入される場合、または中間処理場に搬入される場合でも、減量化・リサイクル等により残さ等が発生し、最終処分場に搬入される場合は、循環税が課税されるので適正に処理すること。なお、循環税相当額が当初設計に計上されておらず、適切な工程管理のもと産業廃棄物を最終処分場または中間処理場に搬入し、循環税相当額が必要となる場合は、別途協議とする。

35 石綿障害予防規則について

石綿障害予防規則に基づき、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用、解体等の作業における防護具の装着、湿潤を保持措置を行う作業等の費用については、当初積算では計上していないため、工事監督員と協議のうえ設計変更とする。また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、契約書の関係条項に基づき適切に変更する。

36 工事保険の加入について

本工事は、次に規定する保険等に加入しなければならないものとし、保険契約締結後、工事監督員に保険証券の写し（保険以外の場合には、保険証券に代わるもの）を提出すること。

- (1) 保険等の種類
 - ① 工事目的物、工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する保険。（土木工事保険、組立保険等）
 - ② 工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する保険。（請負業者賠償責任保険等）
 - ③ 上記に準ずるその他の保険。
- (2) 保険等の金額
 - ① 請負代金以上。

- (3) 保険等の期間
① 工事着手のときから工事目的物の引き渡しまでの期間

37 技能士の活用について

- (1) 受注者は、工事目的物の品質の向上を図るために、技能士（職業能力開発促進法に基づく有資格者）の積極的な活用に努めるものとする。
(2) 技能士の活用の有無にかかわらず技能士活用状況報告書（別記様式）を作成し、予定については着工時に、実績については完成時に提出すること。
(3) 技能士を活用する場合は、技能士であることを確認できる資料として、地域技能士会が発行する資格証明書、または技能検定合格書の写し、あるいは技能士手帳の写しを技能士活用状況報告書に添付すること。

38 成果品等の貸与

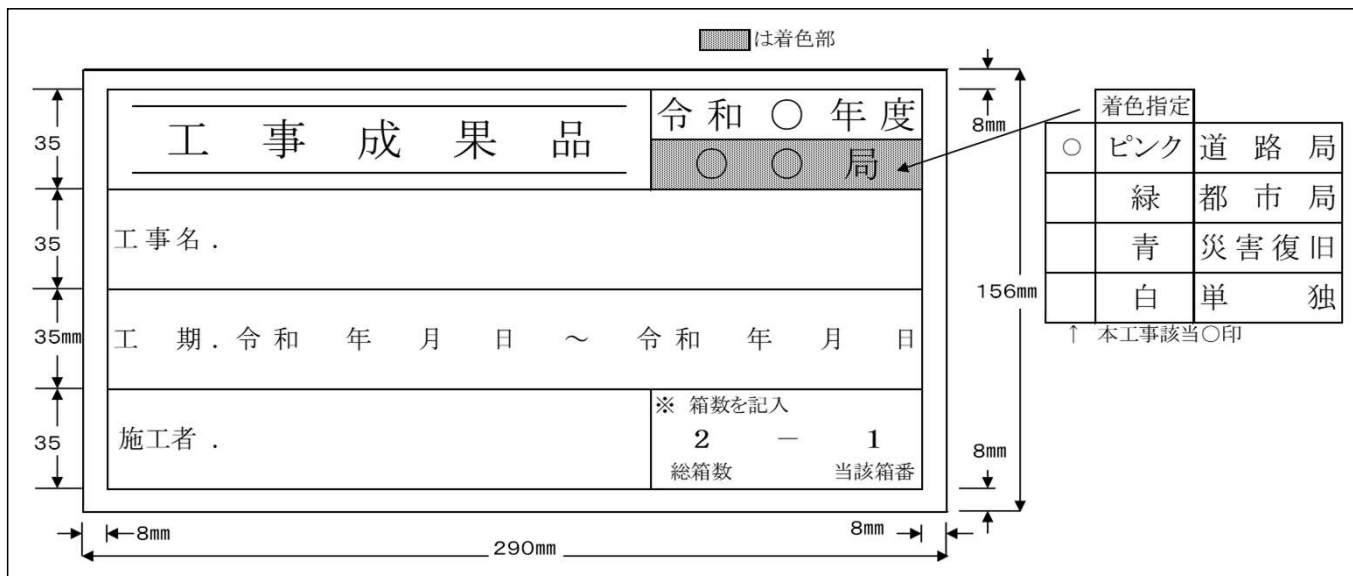
本工事を施工するにあたり、成果品等の貸与を受ける場合は、借受書及び返納書を提出すること。

~~39 除雪工~~

- (1) 除雪及び排雪が必要となる場合は、工事監督員と協議すること。
(2) 排雪にあたり工事監督員と、搬入時期、数量の確認方法について協議し、変更があった場合には直ちに報告すること。

40 工事成果品収納箱

- (1) 工事成果品収納箱は、プラスチック製 幅420×高さ300×長さ780mmを使用すること。
 ※但し、電子納品の活用等により成果品が少ない時はこれより小さい箱やドッチファイルを使用しても良い。
- (2) 収納箱の色は、単独—青、道路局・都市局—赤とし、その他の工事については工事監督員の指示に従うこと。
- (3) 収納箱引出し前面部に下記タイトルを貼付すること。



41 現場環境改善費について

- 1 現場環境改善は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施することを目的とする。
- 2 現場環境改善の実施内容は、各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）のうち合計5項目を基本として次の項目から選択すること。
 - ① 次の[別表]より、実施する項目を選択する。
 - ② 実施内容は、仮設備関係、営繕関係、安全関係、地域連携のうち5項目を基本とし、具体的な実施内容・実施時期については、施工計画書を提出する際に協議すること。

[別表]

計上費目	実施する項目(率計上)
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備の充実 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所・監督員詰所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室)の快適化 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連施設及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等)
地域連携	1. 完成予想図 2. 工法説明図 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献

(3) 工事完了時には、現場環境改善の実施状況がわかる写真等の資料を提出すること。

42 コンクリート構造物のひび割れ調査票

本工事において、工事完成前にひび割れの発生が確認された場合は、発生状況の調査を行い工事完成時に、ひび割れ調査票を作成し、工事監督員に提出すること。ひび割れ調査票の作成に当たっては、工事監督員と協議を行い作成すること。

43 1日未満で完了する作業の積算について(施工パッケージ)

- (1) 「1日未満で完了する作業の積算」(以下、「1日未満積算基準」と言う。)は、変更積算のみに適用する。
- (2) 受注者は、当初発注時の通常の施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、「1日未満積算基準」の適用について協議の発議を行うことができる。
- (3) 同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せて1日作業となる場合には、「1日未満積算基準」は適用しない。
- (4) 受注者は、協議に当って、「1日未満積算基準」に該当することを示す書面その他協議に必要となる根拠資料(日報、実際の費用を示す資料等)を監督員に提出すること。実際の費用を示す資料(契約書、請求書等)により、当初発注時の通常の施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、「1日未満積算基準」は適用しない。
- (5) 通年の維持管理業務など人工精算を前提として積算する場合等や通常の積算方法によることが適当と判断される場合には、「1日未満積算基準」を適用しない。

~~44 区画線復旧後の交通開放~~

作業の実施において消した区画線は、1日の工程終了時に復旧を行い交通開放すること。
なお、復旧工法については工事監督員と協議すること。

45 施工歩掛について

下記の工種の施工歩掛については、見積りにより策定した歩掛であることから、受注者から希望がある場合は、工事着手前に工事監督員立会いのうえ試験施工を行い歩掛の妥当性を検証すること。

試験施工の結果から、当り単価が2割以上、又は直接工事費で200万円以上かい離した場合は、設計変更で処理することとし、設計変更の有無にかかわらず工事全体で歩掛の妥当性を検証すること。

なお、時間又は日当たり機械運転費については設計変更の対象としない。

対象工種： 支承モルタル補修工、レーザークリーナー工

(1) 試験施工による確認事項

- ① 施工量：各1式、各1箇所
- ② 施工日数
- ③ 作業人員（8時間換算日数）

(2) 実績報告

試験施工を行った場合は、設計変更の有無に関わらず、工事全体での実績を報告すること。

- ① 施工日数
- ② 作業人員（8時間換算日数）

46 塗膜の剥離等作業にかかる取扱いについて

—(1) 塗膜に含まれる鉛等有害物質の含有量を事前に委託業務で調査していない場合—

- ① 既存構造物の塗膜には、鉛等有害物質の含有が懸念されるため、受注後、速やかに塗膜に含まれる鉛化合物、クロム及びPCBについて含有量試験を行うこと。
- ② 塗膜を採取する際は、鉛等有害物質の含有が懸念されるため、「鉛中毒予防規則」と「特定化学物質障害予防規則」に基づき、「鉛作業主任者」と「特定化学物質作業主任者」の両者を配置し、適切に作業を行うこと。
- ③ 塗膜含有量調査の結果、塗膜中に鉛等有害物質の含有が確認された場合、当工事における廃棄物処理方法を決定するために、溶出試験が必要となる。
そのため、塗膜中に鉛等有害物質の含有が確認された場合、溶出試験が必要となるため、工事監督員と協議すること。
- ④ 塗膜含有量調査の結果、塗膜中にPCBが確認された場合、作業方法等の見直しが必要となるので、工事監督員と協議すること。
また、剥がした塗膜及び研削材については、廃棄物処分場には持ち込めないため、保管場所等について工事監督員と協議すること。

(2) 塗膜に含まれる鉛化合物を委託業務で事前に確認している場合

既存構造物の塗膜には、有害物質の鉛化合物が含まれていることが確認されている。
そのため、塗膜の剥離等作業を行う際は、「鉛中毒予防規則」に基づき、「鉛作業主任者」を配置し、適切に作業すること。

(3) 塗膜に含まれるクロムの含有が重量比1%以上であることを委託業務で事前に確認している場合

—既存構造物の塗膜には、有害物質のクロムが含まれていることが確認されている。—
そのため、塗膜の剥離作業等を行う際は、「特定化学物質障害予防規則」に基づき、「特定化学物質作業主任者」を配置し、適切に作業すること。

- (4) 産業廃棄物の取り扱いについて
- ①鉛化合物を含む塗膜及び研削材について、鉛の溶出量が0.3mg/ℓ以上の場合、特別管理産業廃棄物に区分されるため、受入れ可能である廃棄物処理場に持ち込まなければならない。
そのため、溶出試験の結果を工事監督員に報告し協議すること。
 - ~~②クロムを含む塗膜及び研削材について、クロムの溶出量が1.5mg/ℓ以上の場合、特別管理産業廃棄物に区分されるため、受入れ可能である廃棄物処理場に持ち込まなければならない。
そのため、溶出試験の結果を工事監督員に報告し協議すること。~~

47 週休2日工事の実施について

- (1) 本工事は、完全週休2日（土日）及び月単位の「週休2日工事」の対象工事であり、当初予定価格は月単位の週休2日以上の達成を前提とした経費の補正を行っている。
- (2) 受注者は、週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者と協議を行い、協議が整った場合に完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日による施工を行うこととする。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても、通期の週休2日による施工を行わなければならない。
- (3) 完全週休2日（土日）とは、対象期間内の全ての週において、土日に現場閉所されている状態をいう。土日に加えて、受注者自らが土日以外にも現場閉所することは可能とする。受注者の責によらず、土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉所日を指定するものとする。月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、4週8休以上（現場閉所日数（降雨、降雪等による予定外の現場閉所日を含む。）の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態）の現場閉所がされている状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では現場閉所率が28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の閉所を行っている場合に、達成しているものとみなす。通期の週休2日とは、対象期間の全体を通じた期間において、土日・祝日にかかわらず、4週8休以上の現場閉所がされている状態をいう。対象期間は、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日（各種仮設物を撤去し、現場の清掃を完了した日）までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等）は含まない。契約後、週休2日の対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議し、現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
- (4) 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
- (5) 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
- (6) 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - ① 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
 - ② 受注者は、実施結果を発注者へ報告する。
- (7) 発注者が必要に応じ週休2日の実施状況の聞き取り等を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (8) 補正の対象となる経費は、労務費、共通仮設費及び現場管理費とし、現場閉所の達成状況の結果、完全週休2日（土日）を達成した場合は、増額の設計変更を行い、月単位の週休2日に満たない場合は、減額の設計変更を行う。また、市場単価についても月単位の週休2日に満たない場合は設計変更を行う。なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については補正の対象としない。
- (9) 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。
- (10) 週休2日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期に影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内での期限を設ける必要がある場合は、対象期間外とできる場合があるので、受発注者間協議を行うこと。
- (11) その他の事項については、帯広市週休2日工事実施要領によるものとする。

48 その他

- ~~(1) 施工箇所に建築物等が近接している場合は、所有者と起工測量時に建築物等の状況を確認し、立会確認書を作成すること。~~
- (2) 設計図書と現場の状況等が異なる場合は、工事施工協議簿を交わさない限り工事に着手してはならない。
- (3) 断面修復工施工前に、損傷状況（寸法）について写真撮影し協議すること。数量を確定させない限り施工を行ってはならない。
- (4) 塗膜の運搬処分について、鉛の溶出量により処分先が異なるため、溶出試験の結果を監督員に報告し、協議を行った上で追加する。

施工計画書

令和 年 月 日

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住所

氏名

工事名

上記工事について、施工計画書を下記のとおり提出します。

1. 工事概要
2. 計画工程表
3. 現場組織表
4. 指定機械
5. 主要船舶・機械
6. 主要資材
7. 施工方法
8. 施工管理計画
9. 安全管理
10. 緊急時の体制及び対応
11. 交通管理
12. 環境対策
13. 現場作業環境の整備
14. 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
15. 社内検査
16. 法定休日・所定休日
17. その他

上記工事について、施工計画書を受理しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

課長	課長補佐	係長	係	係

工事看板記載仕様

ご迷惑をおかけします

道路を
造っています。

令和〇年〇月〇日まで
時間帯 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇

工事名を標示する

市道〇〇線舗装新設工事

発注者 帯広市都市環境部土木課
電話 0155-24-4111(代表)
0155-65-4183(直通)

施工者 〇〇〇〇建設株式会社
電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

お願い

道路工事のためご迷惑を
お掛けしますが、よろしく
御協力願います。

なお、お気付きの点は
係員にお申し出下さい。

発注者 帯広市都市環境部土木課
電話 0155-24-4111(代表)
0155-65-4183(直通)

施工者 〇〇〇〇建設株式会社
電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

注 : 現場に施工業者の工事作業所及び現場代理人詰所等
がない場合は、施工会社のみ記載とする。

詳細は、北海道建設部土木工事共通仕様書による。

市街地については1/2サイズも設置可能とする。

工 事 施 工 協 議 簿

(第 回)									
工 事 名									
件 名									
内 容								
								
								
								
								
								
								
								
<input type="checkbox"/> 添付資料名									
<p>【工事監督員】 令和 年 月 日</p> <p>上記事項について <input type="checkbox"/> 指示、 <input type="checkbox"/> 承諾、 <input type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 通知、 <input type="checkbox"/> 受理 する。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事内容の変更の対象と <input type="checkbox"/> しない。</p> <p><input type="checkbox"/> する。ただし、詳細については別途指示する。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事内容の変更の対象とするか、後日指示する。</p> <p><input type="checkbox"/> 特記事項</p>									
決裁欄	部長	室長	課長	課長補佐	係長	係	監督員	起案日： 令和 年 月 日	
								決裁日： 令和 年 月 日	
<p>【受注者】 令和 年 月 日</p> <p>上記事項について <input type="checkbox"/> 了解しました。 <input checked="" type="checkbox"/> 承諾願います。</p> <p><input type="checkbox"/> 協議、 <input type="checkbox"/> 提出、 <input type="checkbox"/> 報告 します。</p> <p><input type="checkbox"/> 特記事項</p>									
請負代金額 (当初)	今回の変更による増減見込額		累計増減見込額			合計見込額		備考	
千円	千円		千円			千円			
土木課 確認欄	課長	課長補佐	係長	係	監督員	受注者 確認欄		主任技術者	現場代理人

注：該当する□に✓を記入すること。

「内容」について、記載欄が不足する場合は別紙への記載を可能とする。

課長	課長補佐	係長	係	係

履 行 報 告 書

工事名			
工 期	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで		
日 付	令和 年 月 日 (月分)		
月 別	予定工程 % () は工程変更後	実施工程 %	
(記事欄)			

(作成上の注意)

- 1 報告は、原則毎月とし、工事監督員へ提出すること。
- 2 予定工程は、初回報告時に完成までの予定出来高累計を記入すること。
- 3 実施工程は、当該報告月までの出来高累計を記入すること。
- 4 計画と実施（赤色）を対比した工程表を添付すること。

令和 年 月 日

監督員

様

(受注者名)

現場代理人

段 階 確 認 願 (第 回)

下記について、段階確認をお願いします。

記

段階確認の内容

工事名			実施希望日	令和 年 月 日		
工 種	細 目 等	品 質 規 格	区 域 等	数 量 等	呼 称	備 考

上記の段階確認について、以下のとおり実施します。

監督員

実施日時	令和 年 月 日 時から	実施者名	
実施場所	<input type="checkbox"/> 工事現場、 <input type="checkbox"/> 製作工場、 <input type="checkbox"/> (実施場所)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 臨 場、 <input type="checkbox"/> 机 上、		
必要書類	<input type="checkbox"/> 設計図書、 <input type="checkbox"/> 測量結果、 <input type="checkbox"/> 出来形図等、 <input type="checkbox"/> 品質規格証明等 <input type="checkbox"/> 施工管理記録、 <input type="checkbox"/> 写真、 <input type="checkbox"/> (その他必要書類等)		
特記事項			

令和 年 月 日 の段階確認の結果、設計図書のとおり施工されて

いる。 いない。 詳細については、別途指示する。

令和 年 月 日

監督員

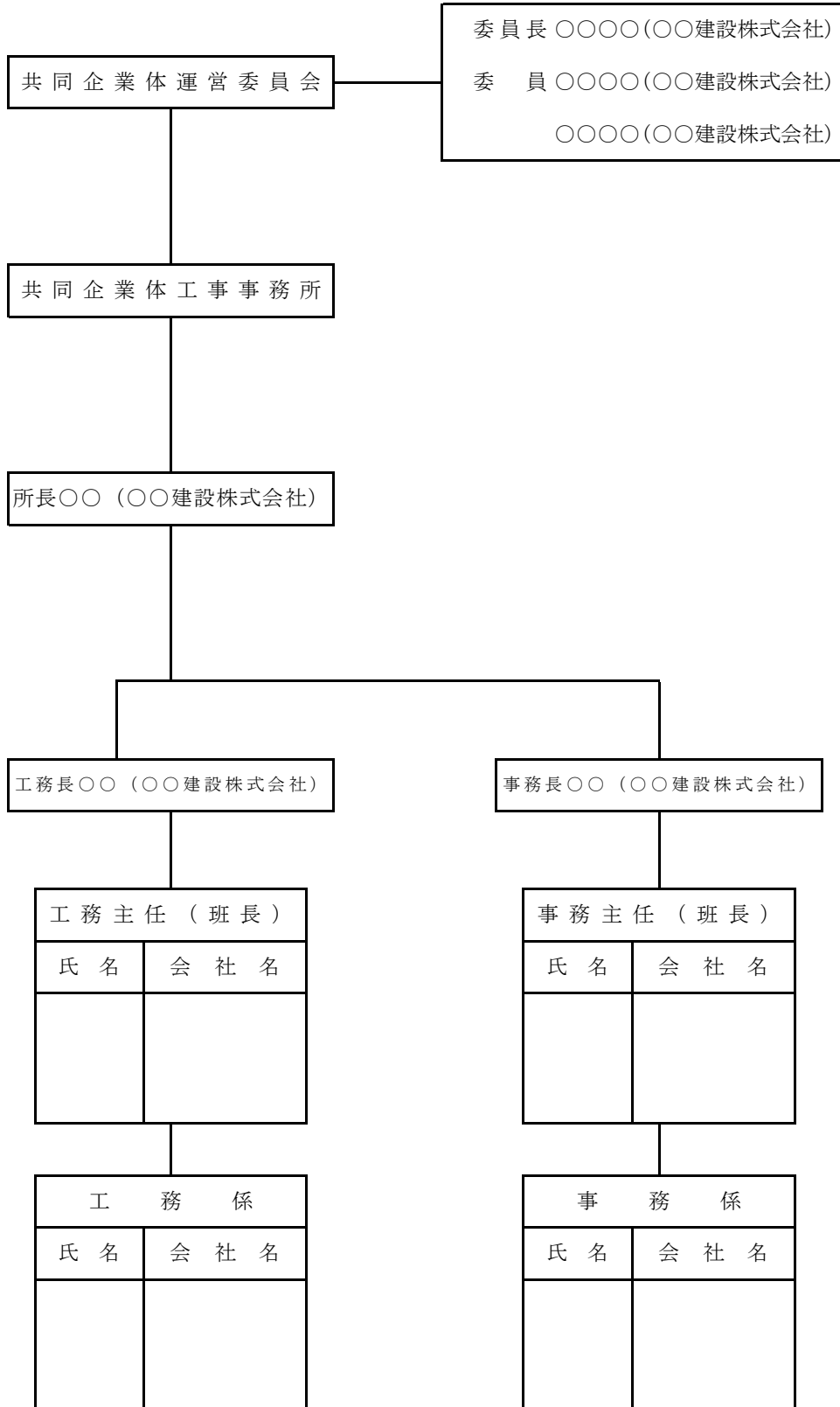
(主 旨)

本様式は、受注者が段階確認を受ける必要がある場合に工事監督員に提出するものである。

(作成上の注意)

該当する□内にレを記入すること。

〇〇共同企業体編成表



工事材料品質確認願

令和 年 月 日

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住所

氏名

工事名

上記工事について、工事材料の品質規格証明書を別紙のとおり提出しますので、ご確認願います。

上記工事について、工事材料の品質規格を確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

課長	課長補佐	係長	係	係

現 場 発 生 品 調 書

令 和 年 月 日

帯広市長
上 野 庸 介 様

受注者 住 所
氏 名

工事によって生じた現場発生品について、下記のとおり引き渡します。

記

現場発生品の内容

工 事 名				
引渡希望時期				
品 名	品 質 規 格	数 量	単 位	引 渡 場 所

(引渡場所が設計図書に記載されていない場合)

現場発生品(品名等)の引渡場所について、上記のとおり指示する。

監督員職氏名

(主旨)

本様式は、受注者が工事監督員に現場発生品を引き渡す場合に提出するものである。

注 引渡場所が設計図書に記載されていない場合は、工事監督員の指示によること。

(別紙)

建設発生土受入契約書

工 事 名	※工事請負契約書に記載されている工事名
発 注 者 名 称	帯広市
排 出 場 所	※工事請負契約書に記載されている工事場所
受 入 場 所	※特記仕様書に記載されている場所
受 入 数 量	※設計数量 〇〇〇 m ³
受 入 費	〇〇〇円/m ³
受 入 期 間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日
支 払 期 限	請求書を受理した日から30日以内

上記について、建設発生土の受入者（以下「甲」という。）と建設発生土の搬入者（以下「乙」という。）は、建設発生土の受入に関し、次のとおり契約を締結し、この契約の締結を証するため本契約書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各自その1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

甲 住 所
名 称
代表者

印

乙 住 所
名 称
代表者

工事請負契約書と同一とする

印

(別紙)

令和 年 月 日

建設発生土受入証明書

搬入業者 様

受入者 住 所
氏 名

建設発生土の受入について、下記のとおりであることを証明いたします。

工 事 名 市道〇〇線道路整備工事
受 入 数 量 〇〇〇m³
受入完了日 令和 年 月 日

上記の建設発生土の受入について確認しました。
令和 年 月 日
監督員職氏名

(様式7)

再資源化等報告書

令和 年 月 日

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住所

氏名

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第18条第1項の規定により、下記のとおり、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したことを報告します。

記

- 1 工事の名称
- 2 工事の場所
- 3 再資源化等が完了した年月日 令和 年 月 日
- 4 再資源化等をした施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地

- 5 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用 _____ 万円
- 6 再生資源利用実施書（様式1） 別紙のとおり
- 7 再生資源利用促進実施書（様式2） 別紙のとおり

指定機械一覧

機 種	規 格	台 数	使 用 工 種	排 出 ガ ス 対 策	メ ー カ ー
			(記入例) 土砂掘削 岩盤掘削 法面整形 路盤工締固め	(記入例) 第〇次基準 排対 浄化装置付 非排対	

〈理由書例〉

排出ガス対策型建設機械を使用できない理由書

令和 年 月 日

(監督員) 様

(受注者名)

工 事 名			
現 場 代 理 人 名			
機 械 名		規 格	
当該工事で使用できない理由 (例) 自社持機械を使用し、排出ガス浄化装置を装着するには資金不足のため			
今後の使用方針 (例) 資金調達が出来次第、排出ガス浄化装置を設置する予定 (1年後を予定)			
機 械 名		規 格	
当該工事で使用できない理由 (例) 自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場にないため			
今後の使用方針 (例) 自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場に追加されしだい、装着する予定			

別記様式

技能士活用状況報告書 (予定・実績)

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

令和 年 月 日

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住所

氏名

1 工事名等

工事番号	工事箇所	請負代金額
工事名		

2 技能士活用状況等

工事種別	技能士検定職種	予 定				実 績					
		技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名(1名)及び技能士数			当該工事に従事した労働者数(実人員)					
			級別	氏 名	左の者を含む技能士数	技 能 士				技能士以外	計
工 種	該 当の有 無	特級	1級	2級	左以外の級	技能士以外	計				
1 地盤改良(ウエルポイント)工	ウエルポイント施工					人	人	人	人	人	0 人
2	型枠施工					人	人	人	人	人	0 人
3 コンクリート工	コンクリート圧送施工 ^(注)					人	人	人	人	人	0 人
4	鉄筋施工					人	人	人	人	人	0 人
5 積ブロック工	コンクリート積みブロック施工					人	人	人	人	人	0 人
6 さく井工	さく井					人	人	人	人	人	0 人
7 コンクリート補修工	樹脂接着剤注入施工					人	人	人	人	人	0 人
8 石積み工	石材施工					人	人	人	人	人	0 人
9 植栽工	造園 ^(注)					人	人	人	人	人	0 人
10 塗装工	塗装 ^(注)					人	人	人	人	人	0 人
11 とび工	とび					人	人	人	人	人	0 人
12 防水工	防水施工					人	人	人	人	人	0 人
13 区画線工	路面標示施工 ^(注)					人	人	人	人	人	0 人
14 上記以外の職種						人	人	人	人	人	0 人
合 計						0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

注 「コンクリート圧送施工」、「造園」、「路面標示施工」、「塗装」の4職種については、平成22年4月10日以後に入札の公告等を行う工事から、土木工事における活用状況を工事施行成績評定において評価することとしています。

【予定】記載方法等

- ※1 当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する職種がある場合は、該当する工事種別の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。なお、1～13に示す工事種別に該当する職種が無い場合、又は該当する職種以外の職種がある場合は、「14 上記以外の職種」の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に、技能士を活用する予定がある場合は「○」を、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
- ※3 「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載した職種については、当該工事に従事予定の技能士の級別及び氏名を1名分記載するとともに、従事予定の技能士数を記載してください。なお、技能士の氏名が確定していない場合は、「未定」と記載してください。
- ※4 「14 上記以外の職種」において、技能士が従事する場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の技能士検定職種の名称を記載するとともに、上記※3と同様に記載してください。なお、複数の職種が従事する場合は、適宜欄を追加して記載してください。
- ※5 この報告書(予定)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

【実績】記載方法等

- ※1 この報告書(実績)は、報告書(予定)の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容は変更しないでください。ただし、設計変更等により新たに該当する職種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「○」を記載し、実績のみ必要事項を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その職種に従事した労働者の実人員(氏名の総数)を技能士の級別及び技能士以外に分類して記載してください。なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。
- ※3 この報告書(実績)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

別記様式

留意事項（予定）

技能士活用状況報告書 (予定・実績)

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

予定に「○」をつける

令和〇〇年〇〇月〇〇日

帯広市長 上野庸介 様

契約書の内容を忘れずに
記入してください。

受注者 住所 帯広市〇〇条〇〇丁目〇〇番地

氏名 〇〇〇建設株式会社

提出年月日は必ず
記載してください

1 工事名等

工事番号	〇〇〇〇	工事箇所	帯広市〇〇条〇〇丁目	請負代金額	〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
工事名	市道〇〇線道路整備工事				

2 技能士活用状況等

工事種別	該当の有無	該当の技能士検定職種	予 定				実 績				
			技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名(1名)及び技能士数			当該工事に従事した労働者数(実人員)				
				級別	氏 名	左の者を含む技能士数	技 能 士				技能士以外
工 種	該当の有無	技能士検定職種				特級	1級	2級	左以外の級	技能士以外	計
1 地盤改良(ウエルポイント)工	○	ウエルポイント施工	○		人	人	人	人	人	人	0人
2	○	型枠施工	×		人	人	人	人	人	人	0人
3 コンクリート工	○	コンクリート圧送施工	○	1 〇〇 〇〇	4人	人	人	人	人	人	0人
4	○	鉄筋施工	○	未 定	6人	人	人	人	人	人	0人
5 積ブロック工	○	コンクリート積みブロック施工	×		人			人	人	人	0人
6 さく井工	○	さく井	○		人			人	人	人	0人
7 コンクリート補修工	※1	樹脂	※2	※3	人			人	人	人	0人
8 石積み工	○	石材	○		人	人	人	人	人	人	0人
9 植栽工	○	造園	○		人	人	人	人	人	人	0人
10 塗装工	○	塗装	○		人	人	人	人	人	人	0人
11 とび	○	とび	○		人	人	人	人	人	人	0人
12 防水	○	防水	○		人	人	人	人	人	人	0人
13 区画線工	○	路標標示施工	○		人	人	人	人	人	人	0人
14 上記以外の工種	○	例) 建築配管 ※4	○	2 〇〇 〇〇	2人	人	人	人	人	人	0人
合 計		技能士を活用しない場合、この欄は空欄とします			12人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

【予定】記載方法等

- ※1 当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する工種がある場合は、該当する工事種別の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。なお、1～13に示す工事種別に該当する工種が無い場合、又は該当する工種以外の工種がある場合は、「14 上記以外の工種」の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に、技能士を活用する予定がある場合は「○」を、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
- ※3 「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載した工種については、当該工事に従事予定の技能士の級別及び氏名を1名分記載するとともに、従事予定の技能士数を記載してください。なお、技能士の氏名が確定していない場合は、「未定」と記載してください。
- ※4 「14 上記以外の工種」において、技能士が従事する場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の技能士検定職種の名称を記載するとともに、上記※3と同様に記載してください。なお、複数の職種が従事する場合は、適宜欄を追加して記載してください。
- ※5 この報告書(予定)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

【実績】記載方法等

- ※1 この報告書(実績)は、報告書(予定)の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容は変更しないでください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「○」を記載にあたっては、※1～※4を一読願います。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員(氏名の総数)を技能士活用欄に記入してください。なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。
- ※3 この報告書(実績)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

合計の人数が
合っているか確
認してください

技能士数は、
実人員(氏名
の総数)で記
入願います

該当工種に対
する活用予定
を「○」で記
入

該当工種に対
する活用予定
を「×」で記
入

「14」の
記載
に注意

別記様式

留意事項（実績）

技能士活用状況報告書 （予定・実績）

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

実績に「○」をつける

令和〇〇年〇〇月〇〇日

帯広市長 上野庸介 様

最終実績の内容を忘れずに
記入してください。

受注者 住所 帯広市〇〇条〇〇丁目〇〇番地

氏名 〇〇〇建設株式会社

提出年月日は必ず
記載してください

1 工事名等

工事番号	〇〇〇〇	工事箇所	帯広市〇〇条〇〇丁目	請負代金額	〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
工事名	市道〇〇線道路整備工事				

2 技能士活用状況等

工 事 種 別	工 種	該 当 の 有 無	技能士検定職種	予 定			実 績					計
				技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名(1名)及び技能士数		当該工事に従事した労働者数(実人員)					
					級別	氏 名	左の者を含む技能士数	技 能 士				
							特級	1級	2級	左以外の級		
1	地盤改良(ウエルポイント)工		ウエルポイント施工				人	人	人	人	人	0人
2		○	型枠施工	×			人	0人	0人	0人	0人	5人
3	コンクリート工	○	コンクリート圧送施工	○	1	〇〇〇〇	4人	0人	2人	2人	0人	0人
4		○	鉄筋施工	○		未定	6人	0人	2人	1人	1人	2人
5	積ブロック工	○	コンクリート積みブロック施工	×			人	0人	0人	0人	0人	0人
6	さく井工		さく井				人	人	人	人	人	0人
7	コンクリート補修工	※1	樹脂接着剤注入施工				人	人	※2人	人	人	0人
8	石積み工		石材施工				人	人	人	人	人	0人
9	植栽工		造園				人	人	人	人	人	0人
10	塗装工		塗装				人	人	人	人	人	0人
11	とび工		とび				人	技能士以外の労働者数も記載が必要です				人
12	防水工		防水施工				人	人	人	人	人	0人
13	区画線工		路面標示施工				人	人	人	人	人	0人
14	上記以外の工種	○		×			人	0人	0人	0人	0人	6人
合 計							10人	0人	4人	3人	1人	13人

合計の人数が
合っているか確認
してください

人数は、延べ人数ではなく、『氏名の総数』を記載します

【予定】記載方法等

- ※1 当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する工種がある場合は、当該工事種別の「該当の有無」欄に「○」を記載し、1～13に示す工事種別に該当する工種が無い場合は、又は該当する工種以外の工種がある場合は、「14 上記以外の工種」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載し、技能士を活用する予定がある場合は「○」を記載し、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
- ※3 「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載し、技能士の活用予定がある場合は「○」を記載し、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。なお、技能士の氏名が「14 上記以外の工種」欄に記載してください。なお、複数の職種が従事する場合は、各職種について記載してください。
- ※4 「14 上記以外の工種」欄に「○」を記載した場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の技能士検定職種を記載してください。記載にあたっては、※1～※2を一読願います。
- ※5 この報告書(予定)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

【実績】記載方法等

- ※1 この報告書(実績)は、報告書(予定)の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容に変更しないでください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「○」を記載し、実績のみ必要事項を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員(氏名の総数)を技能士の級別及び技能士以外に分類して記載してください。なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。
- ※3 この報告書(実績)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

社内完成検査報告書

令和 年 月 日

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住 所

氏 名

工事名

上記工事について、社内検査を行った結果、完成と認められるので報告します。

検査年月日 令和 年 月 日

検査員職氏名

立会人氏名

令和 年 月 日

借 受 書

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住 所
氏 名

下記のとおり図書等について借受けました。

工 事 名 市道〇〇線道路整備工事
借 受 場 所 帯広市都市環境部土木室土木課
借 受 期 間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
返納予定日 令和 年 月 日

借受品明細

品 目	品質・規格・性能	単位	貸与数量

注意事項

- ・帯広市個人情報保護条例第4条に基づき、借受品に含まれる個人情報が、借受者以外の第三者に漏洩することがないように、取扱いには十分注意すること。
- ・借受期間中に、物品の紛失、損傷、汚損等が発生した場合は、借受者の責任において復元すること。
- ・借受品の転貸は絶対にしないこと。

上記の図書等の貸出しについて確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

令和 年 月 日

返 納 書

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住 所
氏 名

下記のとおり図書等について返納いたします。

工 事 名 市道〇〇線道路整備工事
返 納 場 所 帯広市都市環境部土木室土木課
借 受 期 間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
返 納 予 定 日 令和 年 月 日

借受品明細

品 目	品質・規格・性能	単位	貸与数量

上記の図書等の返納について確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

課長	課長補佐	係長	係	係

施 工 体 制 報 告 書

令和 年 月 日

帯広市長 上野 庸介 様

受注者 住所

氏名

工 事 名

当該工事の施工体制を、別紙のとおり定めたので関係書類を添付して報告します。

令和 年 月 日

監督員

様

(受注者名)

現場代理人

立 会 願

下記項目について、立会を願います。

工 事 名		
項 目	内 容	
希 望 日 時		

上記項目について令和 年 月 日立会を実施した。

令和 年 月 日

監督員職氏名

(主 旨)

本様式は、受注者が工事監督員の立会を受ける必要がある場合に工事監督員に提出するものである。

(例)

塗 装 記 録 表		
塗装年月日	〇〇〇〇年〇〇月	
施工会社	下塗	施工会社 〇〇〇〇株式会社
	中塗	
	上塗	
塗装材料	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗
	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗
	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗
塗装製造会社	下塗	〇〇〇〇株式会社
	中塗	
	上塗	
塗装面積		橋体 〇〇㎡
		色調 F72-40T
		塗装系 Rc-III

370

270

施 工 実 績

帯広市長 上野庸介 様

会社名
 担当責任者
 TEL
 FAX

1 試験施工結果

(1) 施工労務

職 種 工種名	施工量	施工 日数	日当たり 施工量	作業人員		
				土木一般 世話役	特殊作業員	普通作業員

(注) 作業人員は、8時間/人として換算すること。

(2) 施工機械

工 種 名	機 械 名	規 格	運 転 時 間

2 施工結果（全工事量）

(1) 施工労務

職 種 工種名	施工量	施工 日数	日当たり 施工量	作業人員		
				土木一般 世話役	特殊作業員	普通作業員

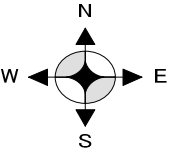
(注) 作業人員は、8時間/人として換算すること。

(2) 施工機械

工 種 名	機 械 名	規 格	運 転 時 間

位 置 図

位置図



紅葉橋 (7083)



概数として扱う数量一覧表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	概要
橋梁保全工事		式		1		
橋梁付属物工		式		1		
伸縮継手工		式		1		
コンクリート殻積込・運搬	運搬距離：12.5km	m3		0.9		概数
橋梁補修工		式		1		
橋梁地覆補修工		式		1		
コンクリート殻積込・運搬	運搬距離：12.5km	m3		0.2		概数
支承補修工(丸外打替)		式		1		
コンクリート殻積込・運搬	運搬距離：12.5km	m3		0.03		概数
現場発生品運搬		t		0.02		概数
断面修復工		式		1		
コンクリート殻積込・運搬	運搬距離：12.5km	m3		0.02		概数
構造物撤去工		式		1		

工 事 数 量 総 括 表

工事名	紅葉橋補修工事 (公共)
-----	-----------------

帯広市都市環境部土木室土木課

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
橋梁保全工事		式		1				
橋梁付属物工		式		1				
伸縮継手工		式		1				
鋼・ｺﾞﾙ製伸縮装置補修	A1、YHN-20型(改)相当	m		4.7		< 4.7 m当たり> 橋梁用伸縮継手装置設置工 伸縮継手装置 地覆パッキン	m m 個	4.7 4.28 2
鋼・ｺﾞﾙ製伸縮装置補修	A2、YHN-20型(改)相当	m		4.7		< 4.7 m当たり> 橋梁用伸縮継手装置設置工 伸縮継手装置 地覆パッキン	m m 個	4.7 4.28 2
コンクリート殻積込・運搬	運搬距離：12.5km	m3		0.9		< 1 m3当たり> コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	m3	1
銘板工		式		1				
構造物履歴板	【構造物履歴板 300×200×13mm JIS H2202(鋳物用銅合金枚地金)】			1		< 1 枚当たり> 橋名板等取付	枚	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
紅葉橋補修工事 (公共)								
橋梁補修工		式		1				
橋梁地覆補修工		式		1				
構造物とりこわし		m3		0.2		< 1 m3当たり > 構造物とりこわし	m 3	1
コンクリート殻積込・運搬	運搬距離：12.5km	m3		0.2		< 1 m3当たり > コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）	m3	1
支承補修工(丸列打替)		式		1				
支承モルタル補修工		箇所		4		< 1 箇所当たり > 支承モルタル補修工 エポキシ樹脂塗装鉄筋 無収縮モルタル	箇所 t m 3	1 0.002 0.01
鋼製支圧板		kg		18.21		< 1 kg当たり > 鋼製支圧板	kg	1
コンクリート殻積込・運搬	運搬距離：12.5km	m3		0.03		< 1 m3当たり > コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）	m3	1
現場発生品運搬		t		0.02		< 1 t当たり > 現場発生品及び支給品運搬	t	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	事業区分	道路維持・修繕	
						工事区分	橋梁保全工事	
						摘要		
						現場条件	単位	数量
断面修復工		式		1				
左官工法	0.1m3未満 有り 【ポリマーセメント系修復材 セメンテックス VF】	構造物		1		< 1 構造物当たり > 断面修復工 (左官工法)	構造物	1
コンクリート殻積込・運搬	運搬距離：12.5km	m3		0.02		< 1 m3当たり > コンクリート殻積込・運搬 (断面修復工)	m3	1
現場塗装工		式		1				
小規模塗装工		式		1				
レーザークリーナー工		箇所		4		< 1 箇所当たり > レーザークリーナー工	箇所	1
下地処理		m2		0.7		< 58.6 m2当たり > 橋りょう塗装工 諸雑費	人 式	4 1
下地処理用塗料	塗布形素地調整軽減剤	缶		1		< 1 缶当たり > 塗布形素地調整軽減剤	缶	1
防食下地		m2		0.7		< 58.6 m2当たり > 橋りょう塗装工 諸雑費	人 式	4 1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路維持・修繕 橋梁保全工事		
						概要		
						現場条件	単位	数量
防食下地用塗料	有機ジンクリッチペイント	缶		1		< 1 缶当たり > 有機ジンクリッチペイント	缶	1
下塗	塗装回数：2回	m2		1.4		< 58.6 m2当たり > 橋りょう塗装工 諸雑費	人 式	4 1
下塗用塗料	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	缶		1		< 1 缶当たり > 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	缶	1
中塗		m2		0.7		< 58.6 m2当たり > 橋りょう塗装工 諸雑費	人 式	4 1
中塗用塗料	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	缶		1		< 1 缶当たり > 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	缶	1
上塗		m2		0.7		< 58.6 m2当たり > 橋りょう塗装工 諸雑費	人 式	4 1
上塗用塗料	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	缶		1		< 1 缶当たり > 弱溶剤形変性ふっ素樹脂塗料	缶	1
下部工補修工		式		1				
洗堀対策工		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
袋詰玉石工	1t用 玉石：15～25cm 【ダンプトラック [オンロード袋・ディーゼル] 10 t 積級】 【タイヤ損耗費 10 t 積級良好 供用日】	袋		7		< 1 袋当たり >		
						袋型玉石工	袋	1
						土砂等運搬	m 3	0.63
袋詰玉石工	1t用 玉石：15～25cm 【ダンプトラック [オンロード袋・ディーゼル] 10 t 積級】 【タイヤ損耗費 10 t 積級良好 供用日】	袋		7		玉石	m 3	0.63
						< 1 m3当たり >		
						コンクリート	m 3	1
コンクリート工	【無収縮モルタル セメント系プレミックス 標準混和量 18 m3 75 kg/m3】	m3		0.1		< 1 m2当たり >		
型枠		m2		0.3		型枠	m 2	1
雪寒養生		m2		32		< 1 m2当たり >		
						仮囲い設置・撤去 (Pタイプ)	m 2	1
ジェットヒータ養生		m2		32		< 1 m2当たり >		
						防寒養生 (ジェットヒータ養生)	m2	1
						ジェットヒータ運転 126MJ (30100kcal)	時間	2
						発動発電機運転	時間	2
土砂流出防止工		式		1				
袋詰玉石工	1t用 玉石：15～25cm 【ダンプトラック [オンロード袋・ディーゼル] 10 t 積級】 【タイヤ損耗費 10 t 積級良好 供用日】	袋		2		< 1 袋当たり >		
						袋型玉石工	袋	1
						土砂等運搬	m 3	0.63
袋詰玉石工	1t用 玉石：15～25cm 【ダンプトラック [オンロード袋・ディーゼル] 10 t 積級】 【タイヤ損耗費 10 t 積級良好 供用日】	袋		2		玉石	m 3	0.63
						< 1 m3当たり >		
						コンクリート	m 3	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	事業区分	道路維持・修繕	
						工事区分	橋梁保全工事	
						摘要		
						現場条件	単位	数量
植生土のう積		m2		0.9		< 1 m2当たり > 植生土のう積	m2	1
構造物撤去工		式		1				
運搬処理工		式		1				
殻処分	コンクリート殻(無筋)、 $\gamma=2.35\text{t/m}^3$ 【コンクリート塊受入費 無筋 30cm程度の大きさ】	m3		1.1		< 1 m3当たり > 処分費 (t)	t	2.35
汚泥処分	汚泥、 $\gamma=1.10\text{t/m}^3$	t		0.02		< 1 t当たり > 産業廃棄物中間処理料金 産業廃棄物中間処理料金	t t	1 1
橋梁足場等設置工		式		1				
橋梁足場工		式		1				
(吊足場)		(m2)		(60)		< 1 m2当たり > 主体足場 (パイプ吊足場) 朝顔	m 2 m 2	1 1
橋梁防護工		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路維持・修繕 橋梁保全工事		
						概要		
						現場条件	単位	数量
(板張防護)		(m2)		(60)		< 1 m2当たり > 板張防護工	m 2	1
(シート張防護)		(m2)		(60)		< 1 m2当たり > シート張防護工	m 2	1
仮設工		式		1				
土留・仮締切工		式		1				
(土のう)	【盛土材(土砂) 中札内村新 札内南東6線233-3】【(袋) ダンプトラック [オンロード・ ディーゼル] 10 t 積級】 【タイヤ損耗費 10 t 積級 良好 供用日】	(袋)		(175)		< 1 袋当たり > 土のう工 土砂等運搬	袋 m 3	1 0.02
発生材運搬	土のう袋	回		1		< 1 回当たり > 貨物自動車による運搬(1車1回・20t未満)	台	1
廃プラ処分	土のう袋	t		0.01		< 1 t当たり > 産業廃棄物最終処理料金 産業廃棄物最終処理料金	t t	1 1
土砂等運搬	運搬距離：9.1km 【ダンプトラック [オンロード ・ディーゼル] 2 t 積級】 【タイヤ損耗費 2~3 t 積級 良好 供用日】	m3		4		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m 3	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	事業区分 工事区分		
							道路維持・修繕	橋梁保全工事	摘要
							現場条件	単位	数量
残土等処分	【処分費 】		m3		4		< 1 m3当たり > 残土等処分	m3	1
交通管理工			式		1				
(交通誘導警備員)			(人日)		(22)		< 1 人日当たり > 交通誘導警備員B	人日	1
直接工事費			式		1				
共通仮設			式		1				
共通仮設費			式		1				
技術管理費			式		1				
塗膜中の溶出試験費	鉛		式		1		< 1 式当たり > 塗膜中の鉛の溶出試験	検体	1
現場環境改善費(率計上)			式		1				
共通仮設費(率計上)			式		1				
純工事費			式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路維持・修繕 共通仮設費		
						摘要		
						現場条件	単位	数量
現場管理費		式		1				
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路維持・修繕 橋梁保全工事		
						概要		
						現場条件	単位	数量
橋梁保全工事		式		1				
橋梁付属物工		式		1				
銘板工		式		1				
橋名板	【橋名板 フロア 500×150× 20mm JIS H5111 1種 BC1 】	枚		4		< 1 枚当たり > 橋名板等取付 橋名板 取付け板	枚 枚	1 1
直接工事費		式		1				
共通仮設費		式		1				
共通仮設費		式		1				
現場環境改善費(率計上)		式		1				
共通仮設費(率計上)		式		1				
純工事費		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路維持・修繕 共通仮設費		
						摘要		
						現場条件	単位	数量
現場管理費		式		1				
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1				

設

計

書

公 共

2026年度施行

見積用

紅葉橋補修工事
(公共) 実施設計書

参考資料

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

帯広市

積算情報

設計書番号	26-18-A0-0071-0	設計者名	
出張所名	帯広市		
適用単価	一般土木		
入札日（開札日）	2026年 6月 2日		
歩掛適用年月	2026年 5月11日		
単価適用年月	2026年 5月11日		
適用単価 地区	生コン	K01:帯広市・音更町・芽室町・中札内村・更別村・幕別町・池田町・豊頃の一部	
	合材	K01:帯広市、音更町、芽室町、清水町、土幌町、幕別町、池田町、中札内村、更別村、山岳部除く新得町と鹿追町、豊頃町一部	
	石材	K05:帯広市・音更町・芽室町・幕別町・池田町・中札内村・更別村・豊頃町の一部・土幌町の一部	
	港湾石材		
	燃料	K00:帯広建設管理部	
適用工種	橋梁保全工事		

積算時想定工事期間	2026年 6月 9日 ～ 2026年12月15日（190日）
工期の設定	通常工期 実施工期：190日 完成期限： 2026年12月15日
冬期労務補正	2026年 6月 ～ 2026年12月 冬期労務補正：なし 時間的制約：時間的制約無し

2026/05/01 00:23:59

工事概要一覧表

事業種別	工事箇所	水系・路河川名	橋梁名等
橋梁長寿命化事業	帯広市 岩内町4線86番地先	普通河川越路の沢川 岩内越路の沢線 (7357)	紅葉橋 (7083)

費 目	本工事費	紅葉橋補修工事 (公共)
-----	------	-----------------

工 事 概 要	No	当 初	変 更
	1	橋梁 L=10.47m 幅員 W=4.74m	
	2	伸縮継手工 9.48m(A1:4.74m、A2:4.74m)	
	3	銘板工 1 式	
	4	橋梁地覆補修工 1 式	
	5	支承補修工(巾外打替) 1 式	
	6	断面修復工 1 式	
	7	小規模塗装工 1 式	

工事概要一覧表

事業種別	工事箇所	水系・路河川名	橋梁名等
橋梁長寿命化事業	帯広市 岩内町4線86番地先	普通河川越路の沢川 岩内越路の沢線（7357）	紅葉橋（7083）

費 目	本工事費	紅葉橋補修工事 （公共）
-----	------	-----------------

工 事 概 要	No	当 初	変 更
	1	洗掘対策工 1 式	
	2	土砂流出防止工 1 式	
	3	構造物撤去工 1 式	
	4		
	5		
	6		
	7		

諸経費情報

	I C T 補正	しない
	週休 2 日制の補正	月単位の週休 2 日
現場環境改善費	計上の有無	する
	市街地補正	市街地以外
工期延長等に伴う現場維持費	計上の有無	しない
	施工地域補正	補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）
	工期延長等日数	0日
	延長期間最終日の基準年月	2026/05

諸経费率按分

工 事 費 総 括 表

費 目	請 工 事 費 (消費税等を含む)	工 事 価 格 (消費税等を含まない)	消 費 税 等 相 当 額	適 用
工事費				
本工事				
附帯工事費				
測量及び試験費				
用地費及び補償費				
機械器具費				
営繕費				
工事雑費				
応急工事費				
請負対象額				

注：上段は現設計

下段は設計変更

合併設計書一覧

変更回数： 0回

主たる工種： 橋梁保全工事

	第1号 (●) 紅葉橋補修工事 (公共)	第2号 紅葉橋補修工事 (単独)					全体工事
共通仮設費 (率分)							
共通仮設費対象額							
共通仮設費率							
共通仮設費 (率分) 計上額							
現場環境改善費 (率分)							
現場環境改善費対象額							
現場環境改善費補正值							
現場環境改善費 (率計上)							
純工事費							
現場管理費							
現場管理費対象額							
現場管理費率							
現場管理費計上額							
工期延長等に伴う現場維持費							
工期延長等に伴う現場維持費対象額							
工期延長等に伴う現場維持費率							
積み上げ用費用							
工期延長等に伴う現場維持費計上額							
工事原価							
一般管理費等							
一般管理費等対象額							
一般管理費等率							
一般管理費等 (計算値)							
一般管理費等計上額							
工事価格							

設計内訳書<01>

工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	当初	事業区分		主たる工種		橋梁保全工事		摘要
		道路維持・修繕	橋梁保全工事	橋梁保全工事	橋梁保全工事	橋梁保全工事	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	
橋梁保全工事		式	1					
橋梁付属物工		式	1					
伸縮継手工		式	1					
鋼・ゴム製伸縮装置補修	A1、YHN-20型(改)相当	m	4.7					単-1号 週休有
鋼・ゴム製伸縮装置補修	A2、YHN-20型(改)相当	m	4.7					単-2号 週休有
コンクリート殻積込・運搬	運搬距離：12.5km	m ³	0.9					単-3号 概数 週休有
銘板工		式	1					
構造物履歴板	【構造物履歴板 300×200×13mm JIS H2202(鋳物用銅合金地金)】	枚	1					単-4号 週休有
橋梁補修工		式	1					
橋梁地覆補修工		式	1					
構造物とりこわし		m ³	0.2					単-5号 週休有

設計内訳書<01>

工事名	紅葉橋補修工事 (公共)	当初	事業区分			主たる工種		橋梁保全工事 補正無し	
			道路維持・修繕	橋梁保全工事		施工地域			
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
コンクリート殻積込・運搬		運搬距離：12.5km	m3	0.2					単-6号 概数 週休有
支承補修工(丸外打替)			式	1					
支承モルタル補修工			箇所	4					単-7号 週休有
鋼製支圧板			kg	18.21					単-8号 週休有
コンクリート殻積込・運搬		運搬距離：12.5km	m3	0.03					単-9号 概数 週休有
現場発生品運搬			t	0.02					単-10号 概数 週休有
断面修復工			式	1					
左官工法		0.1m3未満 有り 【ホリマーセメント系修復材 セメントックスVF】	構造物	1					単-11号 週休有
コンクリート殻積込・運搬		運搬距離：12.5km	m3	0.02					単-12号 概数 週休有
現場塗装工			式	1					
小規模塗装工			式	1					
レーザークリーナー工			箇所	4					単-13号 週休有

設計内訳書<01>

工事名	紅葉橋補修工事 (公共)	当 初	事業区分		主たる工種		橋梁保全工事		
			道路維持・修繕	橋梁保全工事	施工地域	補正無し			
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
下地処理			m2	0.7					単-14号 週休有
下地処理用塗料		塗布形素地調整軽減剤	缶	1					単-15号 週休有
防食下地			m2	0.7					単-16号 週休有
防食下地用塗料		有機ジンクリッチペイント	缶	1					単-17号 週休有
下塗		塗装回数：2回	m2	1.4					単-18号 週休有
下塗用塗料		弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	缶	1					単-19号 週休有
中塗			m2	0.7					単-20号 週休有
中塗用塗料		弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	缶	1					単-21号 週休有
上塗			m2	0.7					単-22号 週休有
上塗用塗料		弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	缶	1					単-23号 週休有
下部工補修工			式	1					
洗掘対策工			式	1					

設計内訳書<01>

工事名	紅葉橋補修工事 (公共)	当初	事業区分		主たる工種		橋梁保全工事		
			工事区分	道路維持・修繕	橋梁保全工事	施工地域	補正無し		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
袋詰玉石工		1t用 玉石：15～25cm 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級】 【タイヤ損耗費 10t 積級 良好 供用日】	袋	7					単-24号 週休有
コンクリート工		【無収縮モルタル セメント系プレミックス 標準混和量 1875 kg/m ³ 】	m ³	0.1					単-25号 週休有
型枠			m ²	0.3					単-26号 週休有
雪寒養生			m ²	32					単-27号 週休有
ジェットヒータ養生			m ²	32					単-28号 週休有
土砂流出防止工			式	1					
袋詰玉石工		1t用 玉石：15～25c 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級】 【タイヤ損耗費 10t 積級 良好 供用日】	袋	2					単-29号 週休有
植生土のう積			m ²	0.9					単-30号 週休有
構造物撤去工			式	1					

設計内訳書<01>

工事名	紅葉橋補修工事 (公共)	当 初	事業区分		主たる工種		橋梁保全工事		
			道路維持・修繕	橋梁保全工事	施工地域	補正無し			
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
運搬処理工			式	1					
殻処分		コンクリート殻(無筋)、 $\gamma=2.35\text{t/m}^3$ 【コンクリート塊受入費 無筋 30cm程度の大きさ】	m ³	1.1					単-31号 概数 週休有
汚泥処分		汚泥、 $\gamma=1.10\text{t/m}^3$	t	0.02					単-32号 概数 週休有
橋梁足場等設置工			式	1					
橋梁足場工			式	1					
吊足場			m ²	60					単-33号 週休有
橋梁防護工			式	1					
板張防護			m ²	60					単-34号 週休有
シート張防護			m ²	60					単-35号 週休有
仮設工			式	1					
土留・仮締切工			式	1					

設計内訳書<01>

工事名	紅葉橋補修工事 (公共)	当 初	事業区分	道路維持・修繕			主たる工種	橋梁保全工事	
			工事区分	橋梁保全工事			施工地域	補正無し	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
土のう		【盛土材（土砂） 中 札内村新札内南東6線 233-3】【ダン プトラック [オンロー ド・ディーゼル] 1 0 t 積級】【タイヤ 損耗費 10 t 積級 良好 供用日】	袋	175					単-36号 週休有
発生材運搬		土のう袋	回	1					単-37号 週休有
廃プラ処分		土のう袋	t	0.01					単-38号 週休有
土砂等運搬		運搬距離：9.1km 【ダンプトラック [オ ンロード・ディーゼル] 2 t 積級】【タ イヤ損耗費 2～3 t 積級 良好 供用日 】	m3	4					単-39号 週休有
残土等処分		【処分費 】	m3	4					単-40号 週休有
交通管理工			式	1					
交通誘導警備員			人日	22					単-41号 週休有
直接工事費			式	1					
共通仮設			式	1					

設計内訳書<01>

工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	当 初	事業区分		主たる工種		橋梁保全工事		摘要
		工事区分	共通仮設費	施工地域	補正無し	数量増減	金額増減	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
共通仮設費		式	1					
技術管理費		式	1					
塗膜中の溶出試験費	鉛	式	1					単-42号 週休有
現場環境改善費(率計上)		式	1					
共通仮設費(率計上)		式	1					
純工事費		式	1					
現場管理費		式	1					
工事原価		式	1					
一般管理費等		式	1					
工事価格		式	1					
消費税相当額		式	1					
工事費計		式	1					

工場管理費 <01>

1	間接労務費対象額 管理費区分7		
2	間接労務費率		
3	間接労務費計上額		
4	工場管理費 工場純工事費		
5	非対象額計 (一)		管理費区分5, 9
6	工場管理費対象額		
7	工場管理費率		
8	工場管理費計上額		

共通仮設費 <01>

1	主たる工種 単独 (当該工事)	橋梁保全工事	
2	主たる工種 合算工事		
3	対象工事費		
4	直接工事費		
5	準備費 (処分費)		
6	事業損失防止施設費		
7	対象工事費に含まれる処分費 単独 (追加工事)		
8	現工事		
9	合算工事		
10	非対象額計 (-)		
11	管理費区分 1		橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費
12	管理費区分 2, 7		工場原価
13	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
14	管理費区分 9		間接費非対象額
15	管理費区分 T		全処分費のうち 3 % または 3 0 0 0 万円を超える額
16	対象額支給品 (+)		
17	無償貸付機械評価額 (+)		
18	共通仮設費対象額 単独 (追加工事)		
19	現工事		
20	合算工事		
21	処分費等を除く共通仮設費対象額 単独 (追加工事)		調整工事入力で使用
22	現工事		
23	合算工事		
24	共通仮設費 (率分) 率 (補正前) 単独 (追加工事)		
25	現工事		
26	合算工事		
27	施工地域等補正 単独 (追加工事)		*補正係数を乗じる
28	現工事		
29	共通仮設費 (率分) 率 (補正後)		週休 2 日制補正係数 1.01 有り
30	計上額 単独 (追加工事)		
31	現工事		
32	合算工事		
33	調整工事計上額		

共通仮設費 <01>

34	現場環境改善費対象工事費		
35	直接工事費		
36	非対象額計 (-)		
37	管理費区分 1		橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費
38	管理費区分 2, 7		工場原価
39	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
40	管理費区分 9		間接費非対象額
41	管理費区分 T		
42	対象額支給品 (+)		
43	無償貸付機械評価額 (+)		
44	現場環境改善費対象額 (P i) 単独 (追加工事)		
45	現工事		
46	合算工事		
47	現場環境改善費 率 (補正前) 単独 (追加工事)		
48	現工事		
49	合算工事		
50	施工地域等補正 単独 (追加工事)		
51	現工事		
52	現場環境改善費 率 (補正後)		
53	計上額 単独 (追加工事)		
54	現工事		
55	合算工事		
56	調整工事計上額		
57	共通仮設費 (積上分)		
58	運搬費		
59	準備費・仮設費		
60	事業損失防止施設費		
61	安全費		
62	役務費		
63	技術管理費		
64	営繕費		
65	現場環境改善費		
66	共通仮設費計		

現場管理費 <01>

1	主たる工種	橋梁保全工事	
2	単独（追加工事）純工事費		
3	単独（追加工事）直接工事費		
4	単独（追加工事）共通仮設費		
5	非対象額計（－）		
6	管理費区分 2, 7		工場原価
7	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
8	管理費区分 9		間接費非対象額
9	管理費区分 T		全処分費のうち 3% または 3000 万円を超える額
10	対象額支給品（＋）		
11	無償貸付機械評価額（＋）		
12	現場管理費対象純工事費 単独（追加工事）		
13	現工事		
14	合算工事		
15	処分費等を除く 現場管理費対象純工事費		調整工事入力で使用
16	現工事		
17	合算工事		
18	率（補正前） 単独（追加工事）		
19	現工事		
20	合算工事		
21	施工地域等補正 単独（追加工事）		*補正係数を乗じる
22	現工事		
23	施工時期補正		帯広市
24	緊急工事補正		
25	真夏日補正		
26	砂防・地すべり補正 単独（追加工事）		
27	現工事		
28	率（補正後）		週休 2 日制補正係数 1.02 有り
29	計上額 単独（追加工事）		
30	現工事		
31	合算工事		
32	調整工事計上額		

一般管理費等 <01>

事務所名 帯広市都市環境部土木室土木課
 発注年月 契約区分

工事番号 第 回変更
 主工種 橋梁保全工事

1	工事原価		
2	純工事費		
3	現場管理費		
4	工期延長等に伴う現場維持費		
5	工場製作原価		
6	非対象額計(一)		
7	管理費区分9		支給品を除く間接費非対象額
8	管理費区分T		全処分費のうち3%または3000万円を超える額
9	一般管理費等対象工事原価 単独(追加工事)		
10	現工事		
11	合算工事		
12	処分費等を除く 一般管理費等対象工事原価		調整工事入力で使用
13	現工事		
14	合算工事		
15	率(補正前) 単独(追加工事)		
16	現工事		
17	合算工事		
18	前払金支出割合による補正係数 単独(追加工事)		
19	現工事		
20	財団法人等による補正係数 単独(追加工事)		
21	現工事		
22	契約保証に係る一般管理費等対象工事原価(当初設計)		
23	契約保証に係る補正值 単独(追加工事)		
24	一般管理費等 率(補正後)		
25	計上額 単独(追加工事)		
26	現工事		
27	合算工事		
28	調整工事計上額		

処 分 費 等 指 定 行 一 覧 表

細別名称	規格	単位	-	-	-
処分費対象名称	処分費対象規格	単位	数量	単価	金額
殻処分	コンクリート殻(無筋)、 $\gamma=2.35\text{t/m}^3$ 【コンクリート塊受入費 無筋 30cm程度の大きさ】	m ³			
処分費 (t)		t	2.35		
コンクリート塊受入費	無筋 30cm程度の大きさ	m ³	100		
汚泥処分	汚泥、 $\gamma=1.10\text{t/m}^3$	t			
産業廃棄物中間処理料金	汚泥 含水率85%以上(計量費含む) 無機性汚泥	t	1		
廃プラ処分	土のう袋	t			
産業廃棄物最終処理料金	廃プラスチック類 発泡スチロール・ウレタン・スポンジ・スタイロフォームを除く	t	1		
残土等処分	【処分費 】	m ³			
材料構成比率		%	1		
処分費		%	1		

※表示されている数量・単価・金額は入力参考値

処 分 費 等 指 定 行 一 覧 表

細別名称	規格	単位	-	-	-
処分費対象名称	処分費対象規格	単位	数量	単価	金額

※表示されている数量・単価・金額は入力参考値

処分費内諸経費対象額・算出根拠（一般管理費等算出用通常設計書）

P：共通仮設費対象額（処分費算出用） <small>（直接工事費計＋支給品＋事業損失防止施設費＋無償貸付機械等評価額＋共通仮設費対象外額＋その他対象額）</small>	
W：処分費等の占める割合 $W = S / (P + Q)$	
S t：Wが3%相当の処分費等の価格（W>3%の場合） $S t = (P + Q) \times 3\%$	

S：処分費等の価格	Pに含まれる処分費等	Q：準備費に含まれる処分費等

処分費内諸経費対象額・算出区分

A	「W ≤ 3%」かつ「S ≤ 30,000,000」のとき	処分費等（S）の全額を率計算の対象とする
B	「W ≤ 3%」かつ「S > 30,000,000」のとき	処分費等の率計算の対象は3千万円とする
C	「W > 3%」のとき	（S t）を率計算の対象とする。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする

算出区分	処分費に占める諸経費対象額	処分費に占める諸経費対象外額

内訳書<データ無し>

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要

上段から 既契約数量/出来高数量/出来高累計/前回残工事/今回残工事

1次単価表 <01>

単-1号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼・ゴム製伸縮装置補修		m				
規格	A1、YHN-20型(改)相当	単位			4.7	単価
橋梁用伸縮継手装置設置工	工種=補修:伸縮装置本体型式=普通型:仕様=1車線相当:夜間作業補正=無:伸縮装置本体材料の計上=無:	m	4.7			WB811610 管理費区分 無 単-43号
伸縮継手装置	YHN-20(改)	m	4.28			WYB00001 管理費区分 無 【見積策定単価】
地覆パッキン	YH-C 430×50×30 バックアップ材・シール材含む	個	2			WYB00002 管理費区分 無 【見積策定単価】
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-2号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼・ゴム製伸縮装置補修		m				
規格 A2、YHN-20型(改)相当		単位			4.7	単価
橋梁用伸縮継手装置設置工	工種=補修:伸縮装置本体型式=普通型:仕様=1車線相当:夜間作業補正=無:伸縮装置本体材料の計上=無:	m	4.7			WB811610 管理費区分 無 単-43号
伸縮継手装置	YHN-20(改)	m	4.28			WYB00003 管理費区分 無 【見積策定単価】
地覆パッキン	YH-C 430×50×30 バックアップ材・シール材含む	個	2			WYB00004 管理費区分 無 【見積策定単価】
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-3号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	コンクリート殻積込・運搬				単位	m3	数量	1	単価	
規格	運搬距離：12.5km				単位		数量		単価	
	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要			
	コンクリート殻積込・運搬 (断面修復工)	DID区間の有無=無し：運搬距離=14km以下 ：ダンプトラックタイヤ損耗費=良好：	m3	1			WB229220 管理費区分 無 単-44号			
計										
単価										

1次単価表 <01>

単-4号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価
構造物履歴板	【構造物履歴板 300×200×13mm JIS H2202 (鋳物用銅合金地金) 】	枚		1			
橋名板等取付	【構造物履歴板 300×200×13mm JIS H2202 (鋳物用銅合金地金) 】	枚		1			CB422720 管理費区分 無 単-45号
計							
単価							

1次単価表 <01>

単-5号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
構造物とりこわし		m3				
			1			
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-6号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	コンクリート殻積込・運搬				単位	m3	数量	1	単価
規格	運搬距離：12.5km				単位		数量		単価
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要			
コンクリート殻積込・運搬 (断面修復工)	DID区間の有無=無し：運搬距離=14km以下 ：ダンプトラックタイヤ損耗費=良好：	m3	1			WB229220 管理費区分 無 単-44号			
計									
単価									

1次単価表 <01>

単-7号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	箇所	数量	単価	金額	単価
支承モルタル補修工				1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
支承モルタル補修工		箇所	1			WYB00005 管理費区分 無 単-47号 【見積策定歩掛】	
エポキシ樹脂塗装鉄筋	SD345 D13 消耗品含む 車上渡し	t	0.002			ZAA0916000 管理費区分 無 道建設部策定単価	
無収縮モルタル	セメント系プレミックス 標準混和量 1875 kg/m ³	m ³	0.01			ZAC7060000 管理費区分 無 刊行物単価	
計							
単価							

1次単価表 <01>

単-8号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	kg	数量	単価	金額	単価
鋼製支圧板				1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼製支圧板	PL-100×200(SS400)	kg	1			WYB00014 管理費区分 無 【見積策定単価】	
計							
単価							

1次単価表 <01>

単-9号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	コンクリート殻積込・運搬				単位	m3	数量	1	単価	
規格	運搬距離：12.5km				単位		数量			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
コンクリート殻積込・運搬 (断面修復工)	DID区間の有無=無し：運搬距離=14km以下 ：ダンプトラックタイヤ損耗費=良好：	m3	1			WB229220 管理費区分 無 単-44号				
計										
単価										

1次単価表 <01>

単-10号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
現場発生品運搬		t	1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬	トラック機種=クレーン装置付2t積、吊能力2.9t：DID 区間の有無=有り：片道運搬距離 (km) DID 有=41.0km以下：	t	1			CB010410 管理費区分 無 単-48号
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-11号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	構造物	数量	単価	金額	単価
左官工法	0.1m3未満 有り【ホ [○] リマ-セメント系修復材 セメンテックスVF 】			1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工 (左官工法)	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無=有り：1 構造物当り修復延べ体積区分=0.1m3未満： 1 構造物当り修復延べ体積 (実数) =0.016m 3： 【ホ [○] リマ-セメント系修復材 セメンテックスVF 】	構造物	1			WB229210 管理費区分 無 単-49号	
計							
単価							

1次単価表 <01>

単-12号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	コンクリート殻積込・運搬				単位	m3	数量	1	単価	
規格	運搬距離：12.5km				単位		数量		単価	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
コンクリート殻積込・運搬 (断面修復工)	DID区間の有無=無し：運搬距離=14km以下 ：ダンプトラックタイヤ損耗費=良好：	m3	1			WB229220 管理費区分 無 単-44号				
計										
単価										

1次単価表 <01>

単-13号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	箇所	数量	単価	金額	単価
レーザークリーナー工				1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
レーザークリーナー工		箇所	1			WYB00012 管理費区分 無 単-50号 【見積策定歩掛】	
計							
単価							

1次単価表 <01>

単-14号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
下地処理		m2			58.6	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう塗装工	割増対象賃金比 0.836	人	4			R0123 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
諸雑費	Z1の合計金額に9%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7H10210 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-15号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下地処理用塗料	塗布形素地調整軽減剤	缶	1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
塗布形素地調整軽減剤	100g/m2 1.2kg/缶	缶	1			WYB00007 管理費区分 無 【見積策定単価】
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-16号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
防食下地		m2			58.6	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう塗装工	割増対象賃金比 0.836	人	4			R0123 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
諸雑費	Z1の合計金額に9%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7H10210 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-17号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
防食下地用塗料	有機ジンクリッチペイント	缶	1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
有機ジンクリッチペイント	25kg/缶	缶	1			WYB00008 管理費区分 無 【見積策定単価】
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-18号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
下塗	塗装回数：2回			m2	58.6	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう塗装工	割増対象賃金比 0.836	人	4			R0123 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
諸雑費	Z1の合計金額に9%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7H10210 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-19号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	缶	数量	単価	金額	単価
下塗用塗料	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料			1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	18kg/缶	缶	1			WYB00009 管理費区分 無 【見積策定単価】	
計							
単価							

1次単価表 <01>

単-26号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠		m2				
型枠	規格/条件 型枠の種類=一般型枠：構造物の種類=鉄筋 ・無筋構造物：	m 2	1			CB240210 管理費区分 無 単-54号
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-20号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
中塗		m2			58.6	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう塗装工	割増対象賃金比 0.836	人	4			R0123 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
諸雑費	Z1の合計金額に9%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7H10210 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-21号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	缶	数量	単価	金額	単価
中塗用塗料	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗			1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	18kg/缶	缶	1			WYB00010 管理費区分 無 【見積策定単価】	
計							
単価							

1次単価表 <01>

単-22号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
上塗		m2			58.6	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう塗装工	割増対象賃金比 0.836	人	4			R0123 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
諸雑費	Z1の合計金額に9%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7H10210 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-23号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上塗用塗料	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	缶	1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
弱溶剤形変性ふっ素樹脂塗料	16kg/缶	缶	1			WYB00011 管理費区分 無 【見積策定単価】
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-24号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
袋詰玉石工	1t用 玉石：15～25cm【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級】【タイヤ損耗費 10t積級 良好 供用日】	袋	1			DX132900 管理費区分 無 単-51号
袋型玉石工	規格区分=袋規格1t用：	袋	1			
土砂等運搬	土砂等発生現場=標準：積込機種・規格=パッ クナ山積1.4m3（平積1.0m3）：土質=土砂（ 岩塊・玉石混り土含む）：DID区間の有無=無 し：運搬距離（km）（DID区間無）=16.5km 以下： 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級】【タイヤ損耗費 10t 積級 良好 供用日】	m3	0.63			CB210110 管理費区分 無 単-52号
玉石	15～25cm(土場 芽室、更別、豊頃、幕別 、中札内、帯広)	m3	0.63			ZKD2051400 管理費区分 無 地方資材単価
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-25号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
コンクリート工	【無収縮モルタル セメント系プレミックス 標準混和量 1875 kg/m ³ 】	m ³	1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	構造物種別=無筋・鉄筋構造物：打設工法=人力打設：コンクリート規格=各種：養生工の種類=養生無し：現場内小運搬の有無=無し：費用の内訳=全ての費用： 【無収縮モルタル セメント系プレミックス 標準混和量 1875 kg/m ³ 】	m ³	1			CB240010 管理費区分 無 単-53号
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-27号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
雪寒養生		m2			1	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
仮囲い設置・撤去 (Pタイプ)		m 2	1			WB253210 管理費区分 無 単-55号
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-28号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
ジェットヒータ養生		m2				
			1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
防寒養生 (ジェットヒータ養生)	施工区分=無筋構造物：平均気温区分=0℃以上：	m2	1			DX080310 管理費区分 無 単-56号
ジェットヒータ運転 126MJ (30100kcal)	同上	時間	2			DX080330 管理費区分 無 単-57号
発動発電機運転		時間	2			DX080340 管理費区分 無 単-58号
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-29号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
袋詰玉石工		袋				
規格 1t用 玉石：15～25c【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級】【タイヤ損耗費 10t 積級 良好 供用日】		単位			1	単価
袋型玉石工	規格区分=袋規格1t用：	袋	1			DX132900 管理費区分 無 単-51号
土砂等運搬	土砂等発生現場=標準：積込機種・規格=バックホ山積1.4m3（平積1.0m3）：土質=土砂（岩塊・玉石混り土含む）：DID区間の有無=無し：運搬距離（km）（DID区間無）=16.5km以下： 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級】【タイヤ損耗費 10t 積級 良好 供用日】	m3	0.63			CB210110 管理費区分 無 単-59号
玉石	15～25cm(土場 芽室、更別、豊頃、幕別、中札内、帯広)	m3	0.63			ZKD2051400 管理費区分 無 地方資材単価
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-30号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
植生土のう積		m2				
			1			
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-31号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	殻処分				単位	m3	数量	1	単価	
規格	コンクリート殻(無筋)、 $\gamma=2.35t/m^3$ 【コンクリート塊受入費 無筋 30cm程度の大きさ】				単位		数量		単価	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
処分費 (t)	【コンクリート塊受入費 無筋 30cm程度の大きさ】	t	2.35			WB020052 管理費区分 T 単-61号				
計										
単価										

1次単価表 <01>

単-32号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
汚泥処分	汚泥、 $\gamma=1.10\text{t}/\text{m}^3$	t	1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
産業廃棄物中間処理料金	汚泥 含水率85%以上(計量費含む) 無機性汚泥	t	1			ZKD5605800 管理費区分 T 地方資材単価
産業廃棄物中間処理料金	循環税相当額 汚泥 含水率85%以上(計量費含む) 無機性汚泥	t	1			ZKD5605900 管理費区分 9 地方資材単価
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-33号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
吊足場		m2			1	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主体足場 (パイプ吊足場)	橋梁の種類=プレートガーダ・ボックスガーダ：作業区分=設置・撤去・賃料：供用月数(実数入力) =1.5月：	m 2	1			WB470640 管理費区分 無 単-62号
朝顔	橋梁の種類=プレートガーダ・ボックスガーダ：作業区分=設置・撤去・賃料：供用月数(実数入力) =1.5月：朝顔の区分=両側朝顔：	m 2	1			WB470690 管理費区分 無 単-63号
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-34号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
板張防護		m2			1	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
板張防護工	作業区分=設置・撤去・賃料：供用月数（実数入力）=1.3月：朝顔の区分=両側朝顔：	m 2	1			WB470720 管理費区分 無 単-64号
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-35号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
シート張防護		m2				
シート張防護工	作業区分=設置・撤去・賃料：供用月数（実数入力）=1.3月：朝顔の区分=両側朝顔：	m 2	1			WB470730 管理費区分 無 単-65号
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-36号

名称		規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土のう	【盛土材（土砂） 中札内村新札内南東6線233-3】【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級】【タイヤ損耗費 10t積級 良好 供用日】		袋	1			WB252610 管理費区分 無 単-66号
土砂等運搬	土砂等発生現場=標準：積込機種・規格=バックホ山積0.8m3（平積0.6m3）：土質=土砂（岩塊・玉石混り土含む）：DID区間の有無=無し：運搬距離（km）（DID区間無）=9.5km以下： 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級】【タイヤ損耗費 10t積級 良好 供用日】		m3	0.02			CB210110 管理費区分 無 単-67号
計							
単価							

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

1次単価表 <01>

単-37号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	回数	数量	単価	金額	単価
発生材運搬	土のう袋			1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
貨物自動車による運搬(1車1回・20t未満)	運搬区分=小型車(2tクラス):積載量が2t以下:片道運搬距離(実数入力)=17.9km:各種運賃割増=無し:その他の諸料金の有無=無し:	台	1			DX010010 管理費区分 無 単-68号	
計							
単価							

1次単価表 <01>

単-38号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
産業廃棄物最終処理料金	廃プラスチック類 発泡スチロール・ウレタン・スポンジ・スタイロフォームを除く	t	1			ZKD5708100 管理費区分 T 地方資材単価
産業廃棄物最終処理料金	循環税	t	1			ZKD5799000 管理費区分 9 地方資材単価
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-39号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	土砂等運搬				単位	m3	数量	1	単価	
規格	運搬距離：9.1km【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級】【タイヤ損耗費 2～3 t 積級 良好 供用日】				単位		数量		単価	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
土砂等運搬	土砂等発生現場=現場制約あり：積込機種・規格=人力：土質=土砂（岩塊・玉石混り土含む）：DID区間の有無=無し：運搬距離（km）（DID区間無）=11.0km以下：【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級】【タイヤ損耗費 2～3 t 積級 良好 供用日】	m3	1			CB210110 管理費区分 無 単-69号				
計										
単価										

1次単価表 <01>

単-40号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
残土等処分	【処分費 】	m3	1			CB210560 管理費区分 有 単-70号
計						
単価						

1次単価表 <01>

単-41号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員		交通誘導警備員 B		人日	1			WB010212 管理費区分 無 単-71号
計								
単価								

1次単価表 <01>

単-42号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	式	数量	単価	金額	単価
塗膜中の溶出試験費	鉛		1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
塗膜中の鉛の溶出試験	JIS K 0102 54.1 前処理及び試料の処分含む 試料採取費含まず・諸経費含む (共現一外検体)		1			ZAC8481000 管理費区分 9 道建設部策定単価
計						
単価						

参考資料 (1) <01>

単-43号

WB811610

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	橋梁用伸縮継手装置設置工				単位	m	数量	1	単価	
規格	補修 普通型 1車線相当 無 無				単位		数量		単価	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
伸縮装置工 補修	1車線 普通型 手間のみ 旧伸縮継手装置撤去含む	m	1			Q001532003 管理費区分 無 刊行物単価 Z1				
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1				
計										
単価										

参考資料 (1) <01>

単-44号

WB229220

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート殻積込・運搬 (断面修復工)		m3			10	
規格	無し 14km以下 良好	単位				
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	1.299			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
ダンプトラック運転	ダンプトラックタイヤ損耗費=良好:	日	1.28			WK220710 管理費区分 無 単-72号 Z1
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料 (1) (施工パッケージ) <01>

単-45号

CB422720

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	橋名板等取付	単位	枚	数量	1	単価	摘要
名称	規格/条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要		
標準単価								
労務構成比率			%					
普通作業員	割増対象賃金比 0.842		%					R0102 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率			%					
構造物履歴板	300×200×13mm JIS H2202 (鋳物用銅合金地金)		%					ZAC8190200 管理費区分 無 道建設部策定単価

参考資料 (1) <01>

単-46号

WB824010

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	構造物とりこわし				単位	m 3	数量	1	単価	
規格	無筋構造物 人力施工 無し 無し				単位		数量		単価	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
構造物とりこわし工 無筋構造物	屋間 人力施工 制約無 手間のみ	m 3	1			Q001611002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1				
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1				
計										
単価										

参考資料 (1) <01>

単-47号

WYB00005

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称		規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
名	支承モルタル補修工		単 位	1			
称	【見積策定歩掛】						
規 格							
	橋りょう世話役	割増対象賃金比 0.783	人	0.93			R0124 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
	特殊作業員	割増対象賃金比 0.780	人	1.78			R0101 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
	普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	0.89			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
	諸雑費	Z1の合計金額に27%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7H10210 管理費区分 無 ZZ1
	計						
	単価						

参考資料 (1) (施工パッケージ) <01>

単-48号

CB010410

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
現場発生品及び支給品運搬		t			1	
規格	クレーン装置付2t積、吊能力2.9t 有り 41.0km以下	単位				
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手 (特殊)	割増対象賃金比 0.788	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比 0.780	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
トラック [クレーン装置付]	ベーストラック2 t 積 吊能力2.9 t	%				M000302010 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料 (1) <01>

単-49号

WB229210

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
断面修復工 (左官工法)	有り 0.1m3未満 0.016m3	構造物			1	単価
土木一般世話役	割増対象賃金比 0.753	人	2.8			R0125 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
特殊作業員	割増対象賃金比 0.780	人	5.3			R0101 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	2.8			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
ポリマーセメント系修復材	セメンテックスVF	m3	0.019			ZAC7070000 管理費区分 無 道建設部策定単価
諸雑費 (率+まるめ)	Z1の合計金額に8%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS8000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料 (1) <01>

単-50号

WYB00012

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称		規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
名	レーザークリーナー工						
称	【見積策定歩掛】						
規格						4	
	橋りょう特殊工	割増対象賃金比 0.852	人	8			R0122 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
	橋りょう世話役	割増対象賃金比 0.783	人	4			R0124 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
	普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	4			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
	諸雑費	Z1の合計金額に46%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS7H10210 管理費区分 無 ZZ1
	計						
	単価						

参考資料 (1) (施工パッケージ) <01>

単-52号

CB210110

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
土砂等運搬	標準 バックホウ山積1.4m3 (平積1.0m3) 土砂 (岩塊・玉石混り土含む) 無し 16.5km以下	m3			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手 (一般)	割増対象賃金比 0.813	%				R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 【タイヤ損耗費】	10t積級 【10t積級 良好 供用日】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料 (1) (施工パッケージ) <01>

単-53号

CB240010

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
コンクリート		m ³			1	
規格	無筋・鉄筋構造物 人力打設 各種 養生無し 無し 全ての費用					
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比 0.780	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比 0.753	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
無収縮モルタル	セメント系プレミックス 標準混和量 1 8 7 5 k g / m 3	%				ZAC7060000 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料 (1) (施工パッケージ) <01>

単-54号

CB240210

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	型枠				単位	m ²	数量	1	単価	
規格	一般型枠 鉄筋・無筋構造物				単位		数量		単価	
名称	規格/条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要				
標準単価										
労務構成比率		%								
型わく工	割増対象賃金比 0.882	%				R0133 管理費区分 無 二省労務単価				
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価				
土木一般世話役	割増対象賃金比 0.753	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価				

参考資料 (1) <01>

単-55号

WB253210

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮囲い設置・撤去 (Pタイプ)		m ²	100			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比 0.753	人	1.2			R0125 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	5			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
バックホウ (クローラ型) 運転		日	0.6			WK250570 管理費区分 無 単-74号 Z1
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料 (1) <01>

単-62号

WB470640

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	主体足場 (パイプ吊足場)				単位	m ²	数量	1	単価	
規格	プレートガーダ・ボックスガーダ 設置・撤去・賃料 1.5月				単位		数量		単価	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
橋りょう特殊工	割増対象賃金比 0.852	人	0.056			R0122 管理費区分 無 二省労務単価 Z1				
主体足場賃料	パイプ吊足場	月	1.5			L001200001 管理費区分 無 その他単価 Z1				
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1				
計										
単価										

参考資料 (1) <01>

単-56号

DX080310

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	防寒養生 (ジェットヒータ養生)			単位	m2	数量	1	単価	
規格	無筋構造物 0℃以上			単位		数量		単価	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要			
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	0.04			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1			
ジェットヒータ運転 126MJ (30100kcal)	施工区分=無筋構造物:平均気温区分=0℃以上:	時間	2			DX080330 管理費区分 無 単-75号 Z1			
発動発電機運転		時間	2			DX080340 管理費区分 無 単-76号 Z1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1			
計									
単価									

参考資料 (1) <01>

単-57号

DX080330

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	ジェットヒータ運転 126MJ (30100kcal)				時間		単価	
規格	無筋構造物 0℃以上				単位		数量	1
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
灯油	白灯油 業務用 スタンド渡し	L	2.3			Z006706001 管理費区分 無 刊行物単価 Z1		
ジェットヒータ	126MJ (30、100kcal) リース置場 渡し	日	0.15			L001160000 管理費区分 無 刊行物単価 Z1		
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1		
計								
単価								

参考資料 (1) <01>

単-58号

DX080340

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	時間	数量	単価	金額	単価
発動発電機運転				1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽油	ミニローリー渡し	L	0.49			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]	2. 7 / 3 kVA	供用日	0.147			M001510005 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1	
計							
単価							

参考資料 (1) (施工パッケージ) <01>

単-59号

CB210110

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
土砂等運搬	標準 バックホウ山積1.4m3 (平積1.0m3) 土砂 (岩塊・玉石混り土含む) 無し 16.5km以下	m3			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手 (一般)	割増対象賃金比 0.813	%				R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 【タイヤ損耗費】	10t積級 【10t積級 良好 供用日】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料 (1) <01>

単-60号

DX042275

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
植生土のう積		m2				
規格	材料費+施工費 製作+積立	単位			10	単価
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	5.1			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
植生土のう	芝草類 60cm×40cm	袋	200			ZAC3022000 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料 (1) <01>

単-61号

WB020052

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格		単位	t	数量	単価	金額	単価
処分費 (t)					100			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
コンクリート塊受入費	無筋 30cm程度の大きさ	m ³	100			ZKD4002500 管理費区分 T 地方資材単価		
計								
単価								

参考資料 (1) <01>

単-63号

WB470690

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	朝顔				単位	m 2	数量	1	単価	
規格	プレートガーダ・ボックスガーダ 設置・撤去・賃料 1.5月 両側朝顔				単位		数量		単価	
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
橋りょう特殊工	割増対象賃金比 0.852	人	0.027			R0122 管理費区分 無 二省労務単価 Z1				
朝顔賃料		月	1.5			L001200006 管理費区分 無 その他単価 Z1				
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1				
計										
単価										

参考資料 (1) <01>

単-64号

WB470720

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
板張防護工		m ²				
規格	設置・撤去・賃料 1.3月 両側朝顔	単位			1	単価
橋りょう特殊工	割増対象賃金比 0.852	人	0.043			R0122 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
防護材賃料		月	1.3			L001200009 管理費区分 無 その他単価 Z1
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料 (1) <01>

単-65号

WB470730

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
シート張防護工	設置・撤去・賃料 1.3月 両側朝顔	m ²	1			
橋りょう特殊工	割増対象賃金比 0.852	人	0.011			R0122 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
シート張防護材賃料		月	1.3			L001200010 管理費区分 無 その他単価 Z1
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料 (1) <01>

単-66号

WB252610

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	仕拵・積立・撤去	単位	袋	数量	100	単価
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
盛土材 (土砂)	中札内村新札内南東6線233-3	m ³	2			ZKD2033900 管理費区分 無 地方資材単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	4.2			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
土のう	62×48cm	袋	100			Z006082001 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料 (1) (施工パッケージ) <01>

単-67号

CB210110

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
土砂等運搬	標準 バックホウ山積0.8m3 (平積0.6m3) 土砂 (岩塊・玉石混り土含む) 無し 9.5km以下	m3			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手 (一般)	割増対象賃金比 0.813	%				R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 【タイヤ損耗費】	10t積級 【10t積級 良好 供用日】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料 (1) <01>

単-68号

DX010010

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	貨物自動車による運搬(1車1回・20t未満)				台			
規格	小型車(2tクラス)：積載量が2t以下 17.9km 無し 無				単位		数量	1
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
一般貨物自動車運賃	小型車(2tクラス) 20kmまで	台	1			ZAE3000200 管理費区分 無 その他単価 Z1		
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1		
計								
単価								

参考資料 (1) (施工パッケージ) <01>

単-69号

CB210110

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
土砂等運搬	現場制約あり 人力 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 11.0km以下	m ³			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手(一般)	割増対象賃金比 0.813	%				R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 【タイヤ損耗費】	2 t 積級 【2~3 t 積級 良好 供用日】	%				M000301001 管理費区分 無 刊行物単価

参考資料 (1) (施工パッケージ) <01>

単-70号

CB210560

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	摘要	
残土等処分		m ³	1			
名称	規格/条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
材料構成比率		%				
処分費		%				Y007600000-001 管理費区分 T

参考資料 (1) <01>

単-71号

WB010212

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人	1			R0804 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料 (2) <01>

単-72号

WK220710

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転		日				
規格	良好	単位			1	単価
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (一般)	割増対象賃金比 0.813	人	0.89			R0115 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
軽油	ミニローリー渡し	L	19.2			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級	供用日	1.02			M000301002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
タイヤ損耗費	4 t 積級 良好 供用日	供用日	1.02			Z010020045 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料 (2) <01>

単-73号

DX132910

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
バックホウ運転費 (供用) 山積0.8m3(平積0.6m3)		日			1	
規格 1人 113L 1.41日		単位				
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)	割増対象賃金比 0.788	人	1			R0114 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
軽油	ミニローリー渡し	L	113			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
バックホウ (クローラ) [標準]	排ガス型 (第1次) 山積0.8m3	供用日	1.41			M000202031 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料 (2) <01>

単-74号

WK250570

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	日	数量	単価	金額	単価
バックホウ (クローラ型) 運転				1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手 (特殊)	割増対象賃金比 0.788	人	0.25			R0114 管理費区分 無 二省労務単価 Z1	
軽油	ミニローリー渡し	L	17			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
バックホウ (クローラ) [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9t吊 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型に よらず適用 クレーン建設業者置場渡し	日	1.02			L001010004 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1	
計							
単価							

参考資料 (2) <01>

単-75号

DX080330

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	ジェットヒータ運転 126MJ (30100kcal)				時間		単価	
規格	無筋構造物 0℃以上				単位		数量	1
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
灯油	白灯油 業務用 スタンド渡し	L	2.3			Z006706001 管理費区分 無 刊行物単価 Z1		
ジェットヒータ	126MJ (30、100kcal) リース置場 渡し	日	0.15			L001160000 管理費区分 無 刊行物単価 Z1		
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1		
計								
単価								

参考資料 (2) <01>

単-76号

DX080340

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	時間	数量	単価	金額	単価
発動発電機運転				1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽油	ミニローリー渡し	L	0.49			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]	2. 7 / 3 k V A	供用日	0.147			M001510005 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
諸雑費 (まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1	
計							
単価							

建設リサイクル法に関する解体工事費用調書

費用区分	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
解体費 (コンクリート)							
	構造物とりこわし	無筋構造物 人力施工 無し 無し	m ³	0.2			単-46号 WB824010
解体費計 (コンクリート)							
解体費 (アスファルト)							
解体費計 (アスファルト)							
解体費 (木材)							
解体費計 (木材)							
解体費計							

建設リサイクル法に関する再資源化等費用調書

費用区分	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬費 (コンクリート)							
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	無し 14km以下 良好	m3	0.02			単-44号 WB229220
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	無し 14km以下 良好	m3	0.2			単-44号 WB229220
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	無し 14km以下 良好	m3	0.03			単-44号 WB229220
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	無し 14km以下 良好	m3	0.9			単-44号 WB229220
運搬費計 (コンクリート)							
運搬費 (アスファルト)							
運搬費計 (アスファルト)							
運搬費 (木材)							
運搬費計 (木材)							
処分費 (コンクリート)							
	処分費(t)		t	2.585			単-61号 WB020052
処分費計 (コンクリート)							

建設リサイクル法に関する再資源化等費用調書

費用区分	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 (アスファルト)							
処分費計 (アスファルト)							
処分費 (木材)							
処分費計 (木材)							
循環税相当額 (コンクリート)							
循環税相当額計 (コンクリート)							
循環税相当額 (アスファルト)							
循環税相当額計 (アスファルト)							
循環税相当額 (木材)							
循環税相当額計 (木材)							
再資源化費用計							

集計リスト（機械損料）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
M000301002	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級	供用日	0.149			補正有り 刊行物単価
M000302010	トラック [クレーン装置付]	ベーストラック 2 t 積 吊能力 2.9 t	供用日	0.008			補正有り 刊行物単価
M000202031	バックホウ (クローラ) [標準]	排ガス型 (第1次) 山積 0.8 m ³	供用日	0.301			補正有り グリーン 刊行物単価
M000301005	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10 t 積級	供用日	0.387			補正有り 刊行物単価
M001510005	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]	2.7 / 3 kVA	供用日	18.815			補正有り 刊行物単価
M000301001	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級	供用日	0.849			補正有り 刊行物単価

集計リスト（賃料）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
L001130006	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジ ブ型]	2.5 t 吊 排出ガス対策型基準値及び低・超 低騒音型によらず適用 クレーン建設業者置場渡 し	日	0.214			刊行物単価
L001010004	バックホウ (クローラ) [標準・ク レーン機能付き]	山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³) 2.9 t 吊 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音 型によらず適用 クレーン建設業者置場渡し	日	0.195			刊行物単価
L001160000	ジェットヒータ	126MJ (30、100kcal) リース置 場渡し	日	19.197			刊行物単価
L001200001	主体足場賃料	パイプ吊足場	月	90			その他単価
L001200006	朝顔賃料		月	89.995			その他単価
L001200009	防護材賃料		月	77.997			その他単価
L001200010	シート張防護材賃料		月	77.995			その他単価

集計リスト（労務）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
R0102	普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	21.819			補正有り 二省労務単価
R0115	運転手（一般）	割増対象賃金比 0.813	人	1.16			補正有り 二省労務単価
RR000001	その他（労務）		式	1			補正有り
R0124	橋りょう世話役	割増対象賃金比 0.783	人	7.719			補正有り 二省労務単価
R0101	特殊作業員	割増対象賃金比 0.780	人	12.648			補正有り 二省労務単価
R0114	運転手（特殊）	割増対象賃金比 0.788	人	0.268			補正有り 二省労務単価
R0125	土木一般世話役	割増対象賃金比 0.753	人	3.413			補正有り 二省労務単価
R0122	橋りょう特殊工	割増対象賃金比 0.852	人	16.219			補正有り 二省労務単価
R0123	橋りょう塗装工	割増対象賃金比 0.836	人	0.286			補正有り 二省労務単価

集計リスト（労務）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
R0133	型わく工	割増対象賃金比 0.882	人	0.047			補正有り 二省労務単価
R0804	交通誘導警備員B	割増対象賃金比 0.907	人	22			補正有り 二省労務単価

集計リスト（材料）

コード	工事名 名称	紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ZS3000004	諸雑費（まるめ）			式	1			
Z006702002	軽油		ミニローリー渡し	L	127.696			刊行物単価
Z010020045	タイヤ損耗費		4 t 積級 良好 供用日	供用日	0.141			刊行物単価
ZAC8190200	構造物履歴板		300×200×13mm JIS H2202（鋳物用銅合金地金）	枚	1			道建設部策定単価
ZS7H10210	諸雑費			式	1			
ZAA0916000	エポキシ樹脂塗装鉄筋		SD345 D13 消耗品含む 車上渡し	t	0.008			道建設部策定単価
ZAC7060000	無収縮モルタル		セメント系プレミックス 標準混和量 1875 kg/m ³	m ³	0.147			刊行物単価
ZAC7070000	ポリマーセメント系修復材		セメンテックVF	m ³	0.019			道建設部策定単価
ZS8000004	諸雑費（率+まるめ）			式	1			

集計リスト（材料）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ZKD2051400	玉石	15～25cm(土場 芽室、更別、豊頃、幕別、中札内、帯広)	m ³	5.67			地方資材単価
Z006706001	灯油	白灯油 業務用 スタンド渡し	L	294.385			刊行物単価
ZAC3022000	植生土のう	芝草類 60cm×40cm	袋	18			刊行物単価
ZKD4002500	コンクリート塊受入費	無筋 30cm程度の大きさ	m ³	2.584			地方資材単価
ZKD5605800	産業廃棄物中間処理料金	汚泥 含水率85%以上(計量費含む) 無機性汚泥	t	0.02			地方資材単価
ZKD5605900	産業廃棄物中間処理料金	循環税相当額 汚泥 含水率85%以上(計量費含む) 無機性汚泥	t	0.02			地方資材単価
ZKD2033900	盛土材(土砂)	中札内村新札内南東6線233-3	m ³	3.5			地方資材単価
Z006082001	土のう	62×48cm	袋	175			刊行物単価
ZAE3000200	一般貨物自動車運賃	小型車(2tクラス) 20kmまで	台	1			その他単価

集計リスト（材料）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ZKD5708100	産業廃棄物最終処理料金	廃プラスチック類 発泡スチロール・ウレタン・スポンジ・スタイロフォームを除く	t	0.01			地方資材単価
ZKD5799000	産業廃棄物最終処理料金	循環税	t	0.01			地方資材単価
ZAC8481000	塗膜中の鉛の溶出試験	JIS K 0102 54.1 前処理及び試料の処分含む 試料採取費含まず・諸経費含む（共現一外）	検体	1			道建設部策定単価

集計リスト（その他）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	伸縮継手装置	YHN-20(改)	m	4.279			【見積策定単価】
	地覆パッキン	YH-C 430×50×30 バックアップ材・シール材含む	個	2			【見積策定単価】
	伸縮継手装置	YHN-20(改)	m	4.279			【見積策定単価】
	地覆パッキン	YH-C 430×50×30 バックアップ材・シール材含む	個	2			【見積策定単価】
	鋼製支圧板	PL-100×200(SS400)	kg	18.209			【見積策定単価】
	塗布形素地調整軽減剤	100g/m2 1.2kg/缶	缶	1			【見積策定単価】
	有機ジンクリッチペイント	25kg/缶	缶	1			【見積策定単価】
	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	18kg/缶	缶	1			【見積策定単価】
	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	18kg/缶	缶	1			【見積策定単価】

集計リスト（管理費区分別）

凡 例	管理費区分 1:現場管理費/一般管理費等対 管理費区分 2:工場管理費/一般管理費等対 管理費区分 5:一般管理費等対象 管理費区分 7:工場管理/間接労務/一般管 管理費区分 9:全ての間接費対象外及び循 管理費区分 P:輸送に係る間接費の積算を 管理費区分 T:処分費等対象								
	工事名	紅葉橋補修工事 (公共)				当初	事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 P	管理費区分 2 管理費区分 T	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9	
般処分	コンクリート殻(無筋)、 $\gamma=2.35\text{t/m}^3$ 【コンクリート塊受入費 無筋 30cm程度の大きさ】	m3	1.1						
汚泥処分	汚泥、 $\gamma=1.10\text{t/m}^3$	t	0.02						
廃プラ処分	土のう袋	t	0.01						
残土等処分	【処分費 】	m3	4						
塗膜中の溶出試験費	鉛	式	1						

単 独

2026年度施行

見積用

紅葉橋補修工事
(単独) 実施設計書

参考資料

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

帯広市

積算情報

設計書番号	26-18-A0-0071-0-01	設計者名
出張所名	帯広市	
適用単価	一般土木	
入札日（開札日）	2026年 6月 2日	
歩掛適用年月	2026年 5月11日	
単価適用年月	2026年 5月11日	
適用単価 地区	生コン	K01:帯広市・音更町・芽室町・中札内村・更別村・幕別町・池田町・豊頃の一部
	合材	K01:帯広市、音更町、芽室町、清水町、土幌町、幕別町、池田町、中札内村、更別村、山岳部除く新得町と鹿追町、豊頃町一部
	石材	K05:帯広市・音更町・芽室町・幕別町・池田町・中札内村・更別村・豊頃町の一部・土幌町の一部
	港湾石材	
	燃料	K00:帯広建設管理部
適用工種	橋梁保全工事	

積算時想定工事期間	2026年 6月 9日 ～ 2026年12月15日（190日）
工期の設定	通常工期 実施工期：190日 完成期限： 2026年12月15日
冬期労務補正	2026年 6月 ～ 2026年12月 冬期労務補正：なし 時間的制約：時間的制約無し

2026/05/01 00:23:59

工事概要一覧表

事業種別	工事箇所	水系・路河川名	橋梁名等
橋梁長寿命化事業	帯広市 岩内町4線86番地	普通河川越路の沢川 岩内越路の沢線 (7357)	紅葉橋 (7083)

費 目	本工事費	紅葉橋補修工事 (単独)
-----	------	-----------------

工 事 概 要	No	当 初	変 更
	1	橋梁 L=10.47m 幅員 W=4.74m	
	2	銘板工 1 式	
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		

諸経費情報

	I C T 補正	しない
	週休 2 日制の補正	月単位の週休 2 日
現場環境改善費	計上の有無	する
	市街地補正	市街地以外
工期延長等に伴う現場維持費	計上の有無	しない
	施工地域補正	補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）
	工期延長等日数	0日
	延長期間最終日の基準年月	2026/05

諸経费率按分

設計内訳書 <02>

工事名 (単独)	当 初	事業区分		主たる工種		橋梁保全工事		摘要
		工事区分	道路維持・修繕	工事区分	橋梁保全工事	施工地域	補正無し	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁保全工事		式	1					
橋梁付属物工		式	1					
銘板工		式	1					
橋名板	【橋名板 プ ロッス 50 0×150×20mm JIS H 5111 1種 BC1 】	枚	4					単-1号 週休有
直接工事費		式	1					
共通仮設費		式	1					
共通仮設費		式	1					
現場環境改善費(率計上)		式	1					
共通仮設費 (率計上)		式	1					
純工事費		式	1					
現場管理費		式	1					

設計内訳書 <02>

工事名 (単独)	紅葉橋補修工事	当 初	事業区分	道路維持・修繕	主たる工種	橋梁保全工事			
			工事区分	共通仮設費		施工地域			
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1					

工場管理費 <02>

1	間接労務費対象額 管理費区分7		
2	間接労務費率		
3	間接労務費計上額		
4	工場管理費 工場純工事費		
5	非対象額計 (一)		管理費区分5, 9
6	工場管理費対象額		
7	工場管理費率		
8	工場管理費計上額		

共通仮設費 <02>

1	主たる工種 単独 (当該工事)	橋梁保全工事	
2	主たる工種 合算工事		
3	対象工事費		
4	直接工事費		
5	準備費 (処分費)		
6	事業損失防止施設費		
7	対象工事費に含まれる処分費 単独 (追加工事)		
8	現工事		
9	合算工事		
10	非対象額計 (-)		
11	管理費区分 1		橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費
12	管理費区分 2, 7		工場原価
13	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
14	管理費区分 9		間接費非対象額
15	管理費区分 T		全処分費のうち 3 % または 3 0 0 0 万円を超える額
16	対象額支給品 (+)		
17	無償貸付機械評価額 (+)		
18	共通仮設費対象額 単独 (追加工事)		
19	現工事		
20	合算工事		
21	処分費等を除く共通仮設費対象額 単独 (追加工事)		調整工事入力で使用
22	現工事		
23	合算工事		
24	共通仮設費 (率分) 率 (補正前) 単独 (追加工事)		
25	現工事		
26	合算工事		
27	施工地域等補正 単独 (追加工事)		*補正係数を乗じる
28	現工事		
29	共通仮設費 (率分) 率 (補正後)		週休 2 日制補正係数 1.01 有り
30	計上額 単独 (追加工事)		
31	現工事		
32	合算工事		
33	調整工事計上額		

共通仮設費 <02>

34	現場環境改善費対象工事費		
35	直接工事費		
36	非対象額計 (-)		
37	管理費区分 1		橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費
38	管理費区分 2, 7		工場原価
39	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
40	管理費区分 9		間接費非対象額
41	管理費区分 T		
42	対象額支給品 (+)		
43	無償貸付機械評価額 (+)		
44	現場環境改善費対象額 (P i) 単独 (追加工事)		
45	現工事		
46	合算工事		
47	現場環境改善費 率 (補正前) 単独 (追加工事)		
48	現工事		
49	合算工事		
50	施工地域等補正 単独 (追加工事)		
51	現工事		
52	現場環境改善費 率 (補正後)		
53	計上額 単独 (追加工事)		
54	現工事		
55	合算工事		
56	調整工事計上額		
57	共通仮設費 (積上分)		
58	運搬費		
59	準備費・仮設費		
60	事業損失防止施設費		
61	安全費		
62	役務費		
63	技術管理費		
64	営繕費		
65	現場環境改善費		
66	共通仮設費計		

現場管理費 <02>

1	主たる工種	橋梁保全工事	
2	単独（追加工事）純工事費		
3	単独（追加工事）直接工事費		
4	単独（追加工事）共通仮設費		
5	非対象額計（－）		
6	管理費区分2, 7		工場原価
7	管理費区分5		一般管理費等のみ対象額
8	管理費区分9		間接費非対象額
9	管理費区分T		全処分費のうち3%または3000万円を超える額
10	対象額支給品（＋）		
11	無償貸付機械評価額（＋）		
12	現場管理費対象純工事費 単独（追加工事）		
13	現工事		
14	合算工事		
15	処分費等を除く 現場管理費対象純工事費		調整工事入力で使用
16	現工事		
17	合算工事		
18	率（補正前） 単独（追加工事）		
19	現工事		
20	合算工事		
21	施工地域等補正 単独（追加工事）		*補正係数を乗じる
22	現工事		
23	施工時期補正		帯広市
24	緊急工事補正		
25	真夏日補正		
26	砂防・地すべり補正 単独（追加工事）		
27	現工事		
28	率（補正後）		週休2日制補正係数 1.02有り
29	計上額 単独（追加工事）		
30	現工事		
31	合算工事		
32	調整工事計上額		

一般管理費等 <02>

事務所名 帯広市都市環境部土木室土木課
 発注年月 契約区分

工事番号 第 回変更
 主工種 橋梁保全工事

1	工事原価		
2	純工事費		
3	現場管理費		
4	工期延長等に伴う現場維持費		
5	工場製作原価		
6	非対象額計 (一)		
7	管理費区分 9		支給品を除く間接費非対象額
8	管理費区分 T		全処分費のうち3%または3000万円を超える額
9	一般管理費等対象工事原価 単独 (追加工事)		
10	現工事		
11	合算工事		
12	処分費等を除く 一般管理費等対象工事原価		調整工事入力で使用
13	現工事		
14	合算工事		
15	率 (補正前) 単独 (追加工事)		
16	現工事		
17	合算工事		
18	前払金支出割合による補正係数 単独 (追加工事)		
19	現工事		
20	財団法人等による補正係数 単独 (追加工事)		
21	現工事		
22	契約保証に係る一般管理費等対象工事原価 (当初設計)		
23	契約保証に係る補正值 単独 (追加工事)		
24	一般管理費等 率 (補正後)		
25	計上額 単独 (追加工事)		
26	現工事		
27	合算工事		
28	調整工事計上額		

処 分 費 等 指 定 行 一 覧 表

細別名称	規格	単位	-	-	-
処分費対象名称	処分費対象規格	単位	数量	単価	金額

※表示されている数量・単価・金額は入力参考値

処分費内諸経費対象額・算出根拠（一般管理費等算出用通常設計書）

P：共通仮設費対象額（処分費算出用） <small>（直接工事費計＋支給品＋事業損失防止施設費＋無償貸付機械等評価額＋共通仮設費対象外額＋その他対象額）</small>	
W：処分費等の占める割合 $W = S / (P + Q)$	
S t：Wが3%相当の処分費等の価格（W>3%の場合） $S t = (P + Q) \times 3\%$	

S：処分費等の価格	Pに含まれる処分費等	Q：準備費に含まれる処分費等

処分費内諸経費対象額・算出区分

A	「W ≤ 3%」かつ「S ≤ 30,000,000」のとき	処分費等（S）の全額を率計算の対象とする
B	「W ≤ 3%」かつ「S > 30,000,000」のとき	処分費等の率計算の対象は3千万円とする
C	「W > 3%」のとき	（S t）を率計算の対象とする。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする

算出区分	処分費に占める諸経費対象額	処分費に占める諸経費対象外額

内訳書<データ無し>

名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要

上段から 既契約数量/出来高数量/出来高累計/前回残工事/今回残工事

1次単価表 <02>

単-1号

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	枚	数量	単価	金額	単価
橋名板	【橋名板 プ ロッス 500×150×20mm JIS H5111 1種 BC1 】	枚		1			
橋名板等取付	【橋名板 プ ロッス 500×150×20mm JIS H5111 1種 BC1 】	枚		1			CB422720 管理費区分 無 単-2号
橋名板 取付け板	溶接式 550×200×4.5mm 亜鉛メッキ	枚		1			ZAA8515000 管理費区分 無 道建設部策定単価
計							
単価							

参考資料 (1) (施工パッケージ) <02>

単-2号

CB422720

単価適用年月	20260511
歩掛適用年月	20260511
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称 規格	橋名板等取付				単位	枚	数量	1	単価	
	名称	規格/条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要			
標準単価										
労務構成比率			%							
普通作業員	割増対象賃金比 0.842		%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価			
材料構成比率			%							
橋名板	7" ロス 500×150×20mm JIS H5111 1種 B C1		%				ZAA8552000 管理費区分 無 道建設部策定単価			

集計リスト (材料)

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (単独)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ZAA8552000	橋名板	ブロンズ 500×150×20mm JIS H5111 1種 BC1	枚	4			道建設部策定単価
ZAA8515000	橋名板 取付け板	溶接式 550×200×4.5mm 亜鉛メッキ	枚	4			道産材 道建設部策定単価

諸経費情報(全体)

	I C T補正	しない
	週休2日制の補正	月単位の週休2日
共通仮設費	主たる工種	1 2 : 橋梁保全工事
	施工地域補正	補正無し(地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合)
	除雪工事補正	補正無し
現場環境改善費	計上の有無	する
	市街地補正	市街地以外
現場管理費	施工地域補正	補正無し(地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合)
	施工時期補正	冬期日数 45日 工期日数 190日
		積雪寒冷地域区分 1級地 帯広市(1.80)
	緊急工事補正	しない
	砂防・地滑り工事補正	しない
工期延長等に伴う現場維持費	計上の有無	しない
	施工地域補正	補正無し(地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合)
	工期延長等日数	0日
	延長期間最終日の基準年月	2026/05
一般管理費等	財団法人等の補正	しない
	前払金割合による補正	35%を超えるもの
	契約保証に係る補正	

諸経费率按分

工場管理費 <00>

1	間接労務費対象額 管理費区分7		
2	間接労務費率		
3	間接労務費計上額		
4	工場管理費 工場純工事費		
5	非対象額計 (一)		管理費区分5, 9
6	工場管理費対象額		
7	工場管理費率		
8	工場管理費計上額		

共通仮設費 <00>

1	主たる工種 単独 (当該工事)	橋梁保全工事	
2	主たる工種 合算工事		
3	対象工事費		
4	直接工事費		
5	準備費 (処分費)		
6	事業損失防止施設費		
7	対象工事費に含まれる処分費 単独 (追加工事)		
8	現工事		
9	合算工事		
10	非対象額計 (-)		
11	管理費区分 1		橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費
12	管理費区分 2, 7		工場原価
13	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
14	管理費区分 9		間接費非対象額
15	管理費区分 T		全処分費のうち 3 % または 3 0 0 0 万円を超える額
16	対象額支給品 (+)		
17	無償貸付機械評価額 (+)		
18	共通仮設費対象額 単独 (追加工事)		
19	現工事		
20	合算工事		
21	処分費等を除く共通仮設費対象額 単独 (追加工事)		調整工事入力で使用
22	現工事		
23	合算工事		
24	共通仮設費 (率分) 率 (補正前) 単独 (追加工事)		
25	現工事		
26	合算工事		
27	施工地域等補正 単独 (追加工事)		*補正係数を乗じる
28	現工事		
29	共通仮設費 (率分) 率 (補正後)		週休 2 日制補正係数 1.01 有り
30	計上額 単独 (追加工事)		
31	現工事		
32	合算工事		
33	調整工事計上額		

共通仮設費 <00>

34	現場環境改善費対象工事費		
35	直接工事費		
36	非対象額計 (-)		
37	管理費区分 1		橋梁、P C 桁、門扉、ポンプ等購入費
38	管理費区分 2, 7		工場原価
39	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
40	管理費区分 9		間接費非対象額
41	管理費区分 T		
42	対象額支給品 (+)		
43	無償貸付機械評価額 (+)		
44	現場環境改善費対象額 (P i) 単独 (追加工事)		
45	現工事		
46	合算工事		
47	現場環境改善費 率 (補正前) 単独 (追加工事)		
48	現工事		
49	合算工事		
50	施工地域等補正 単独 (追加工事)		
51	現工事		
52	現場環境改善費 率 (補正後)		
53	計上額 単独 (追加工事)		
54	現工事		
55	合算工事		
56	調整工事計上額		
57	共通仮設費 (積上分)		
58	運搬費		
59	準備費・仮設費		
60	事業損失防止施設費		
61	安全費		
62	役務費		
63	技術管理費		
64	営繕費		
65	現場環境改善費		
66	共通仮設費計		

現場管理費 <00>

1	主たる工種	橋梁保全工事	
2	単独（追加工事）純工事費		
3	単独（追加工事）直接工事費		
4	単独（追加工事）共通仮設費		
5	非対象額計（－）		
6	管理費区分 2, 7		工場原価
7	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
8	管理費区分 9		間接費非対象額
9	管理費区分 T		全処分費のうち 3% または 3000 万円を超える額
10	対象額支給品（＋）		
11	無償貸付機械評価額（＋）		
12	現場管理費対象純工事費 単独（追加工事）		
13	現工事		
14	合算工事		
15	処分費等を除く 現場管理費対象純工事費		調整工事入力で使用
16	現工事		
17	合算工事		
18	率（補正前） 単独（追加工事）		
19	現工事		
20	合算工事		
21	施工地域等補正 単独（追加工事）		*補正係数を乗じる
22	現工事		
23	施工時期補正		帯広市
24	緊急工事補正		
25	真夏日補正		
26	砂防・地すべり補正 単独（追加工事）		
27	現工事		
28	率（補正後）		週休 2 日制補正係数 1.02 有り
29	計上額 単独（追加工事）		
30	現工事		
31	合算工事		
32	調整工事計上額		

一般管理費等 <00>

事務所名 帯広市都市環境部土木室土木課
 発注年月 契約区分

工事番号 第 回変更
 主工種 橋梁保全工事

1	工事原価		
2	純工事費		
3	現場管理費		
4	工期延長等に伴う現場維持費		
5	工場製作原価		
6	非対象額計(一)		
7	管理費区分9		支給品を除く間接費非対象額
8	管理費区分T		全処分費のうち3%または3000万円を超える額
9	一般管理費等対象工事原価 単独(追加工事)		
10	現工事		
11	合算工事		
12	処分費等を除く 一般管理費等対象工事原価		調整工事入力で使用
13	現工事		
14	合算工事		
15	率(補正前) 単独(追加工事)		
16	現工事		
17	合算工事		
18	前払金支出割合による補正係数 単独(追加工事)		
19	現工事		
20	財団法人等による補正係数 単独(追加工事)		
21	現工事		
22	契約保証に係る一般管理費等対象工事原価(当初設計)		
23	契約保証に係る補正值 単独(追加工事)		
24	一般管理費等 率(補正後)		
25	計上額 単独(追加工事)		
26	現工事		
27	合算工事		
28	調整工事計上額		

処 分 費 等 指 定 行 一 覧 表

細別名称	規格	単位	-	-	-
処分費対象名称	処分費対象規格	単位	数量	単価	金額

※表示されている数量・単価・金額は入力参考値

処分費内諸経費対象額・算出根拠（一般管理費等算出用通常設計書）

P：共通仮設費対象額（処分費算出用） <small>（直接工事費計＋支給品＋事業損失防止施設費＋無償貸付機械等評価額＋共通仮設費対象外額＋その他対象額）</small>	
W：処分費等の占める割合 $W = S / (P + Q)$	
S t：Wが3%相当の処分費等の価格（W>3%の場合） $S t = (P + Q) \times 3\%$	

S：処分費等の価格	Pに含まれる処分費等	Q：準備費に含まれる処分費等

処分費内諸経費対象額・算出区分

A	「W ≤ 3%」かつ「S ≤ 30,000,000」のとき	処分費等（S）の全額を率計算の対象とする
B	「W ≤ 3%」かつ「S > 30,000,000」のとき	処分費等の率計算の対象は3千万円とする
C	「W > 3%」のとき	（S t）を率計算の対象とする。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする

算出区分	処分費に占める諸経費対象額	処分費に占める諸経費対象外額

建設リサイクル法に関する解体工事費用調書

費用区分	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
解体費 (コンクリート)							
	構造物とりこわし	無筋構造物 人力施工 無し 無し	m ³	0.2			単-46号[01号] WB824010
解体費計 (コンクリート)							
解体費 (アスファルト)							
解体費計 (アスファルト)							
解体費 (木材)							
解体費計 (木材)							
解体費計							

建設リサイクル法に関する再資源化等費用調書

費用区分	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬費 (コンクリート)							
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	無し 14km以下 良好	m3	0.02			単-44号[01号] WB229220
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	無し 14km以下 良好	m3	0.2			単-44号[01号] WB229220
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	無し 14km以下 良好	m3	0.03			単-44号[01号] WB229220
	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	無し 14km以下 良好	m3	0.9			単-44号[01号] WB229220
運搬費計 (コンクリート)							
運搬費 (アスファルト)							
運搬費計 (アスファルト)							
運搬費 (木材)							
運搬費計 (木材)							
処分費 (コンクリート)							
	処分費(t)		t	2.585			単-61号[01号] WB020052
処分費計 (コンクリート)							

建設リサイクル法に関する再資源化等費用調書

費用区分	名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 (アスファルト)							
処分費計 (アスファルト)							
処分費 (木材)							
処分費計 (木材)							
循環税相当額 (コンクリート)							
循環税相当額計 (コンクリート)							
循環税相当額 (アスファルト)							
循環税相当額計 (アスファルト)							
循環税相当額 (木材)							
循環税相当額計 (木材)							
再資源化費用計							

集計リスト（機械損料）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
M000301002	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級	供用日	0.149			補正有り 刊行物単価
M000302010	トラック [クレーン装置付]	ベーストラック 2 t 積 吊能力 2.9 t	供用日	0.008			補正有り 刊行物単価
M000202031	バックホウ (クローラ) [標準]	排ガス型 (第1次) 山積 0.8 m ³	供用日	0.301			補正有り グリーン 刊行物単価
M000301005	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10 t 積級	供用日	0.387			補正有り 刊行物単価
M001510005	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動]	2.7 / 3 kVA	供用日	18.815			補正有り 刊行物単価
M000301001	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級	供用日	0.849			補正有り 刊行物単価

集計リスト（賃料）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
L001130006	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジ ブ型]	2.5 t 吊 排出ガス対策型基準値及び低・超 低騒音型によらず適用 クレーン建設業者置場渡 し	日	0.214			刊行物単価
L001010004	バックホウ (クローラ) [標準・ク レーン機能付き]	山積0.8 m ³ (平積0.6 m ³) 2.9 t 吊 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音 型によらず適用 クレーン建設業者置場渡し	日	0.195			刊行物単価
L001160000	ジェットヒータ	126MJ (30、100kcal) リース置 場渡し	日	19.197			刊行物単価
L001200001	主体足場賃料	パイプ吊足場	月	90			その他単価
L001200006	朝顔賃料		月	89.995			その他単価
L001200009	防護材賃料		月	77.997			その他単価
L001200010	シート張防護材賃料		月	77.995			その他単価

集計リスト（労務）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
R0102	普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	22.418			補正有り 二省労務単価
R0115	運転手（一般）	割増対象賃金比 0.813	人	1.16			補正有り 二省労務単価
RR000001	その他（労務）		式	1			補正有り
R0124	橋りょう世話役	割増対象賃金比 0.783	人	7.719			補正有り 二省労務単価
R0101	特殊作業員	割増対象賃金比 0.780	人	12.648			補正有り 二省労務単価
R0114	運転手（特殊）	割増対象賃金比 0.788	人	0.268			補正有り 二省労務単価
R0125	土木一般世話役	割増対象賃金比 0.753	人	3.413			補正有り 二省労務単価
R0122	橋りょう特殊工	割増対象賃金比 0.852	人	16.219			補正有り 二省労務単価
R0123	橋りょう塗装工	割増対象賃金比 0.836	人	0.286			補正有り 二省労務単価

集計リスト（労務）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
R0133	型わく工	割増対象賃金比 0.882	人	0.047			補正有り 二省労務単価
R0804	交通誘導警備員B	割増対象賃金比 0.907	人	22			補正有り 二省労務単価

集計リスト (材料)

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
Y007600000-001	処分費		m3	4			

集計リスト（材料）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ZS3000004	諸雑費（まるめ）		式	1			
Z006702002	軽油	ミニローリー渡し	L	127.696			刊行物単価
Z010020045	タイヤ損耗費	4 t 積級 良好 供用日	供用日	0.141			刊行物単価
ZAC8190200	構造物履歴板	300×200×13mm JIS H2202（鋳物用銅合金地金）	枚	1			道建設部策定単価
ZS7H10210	諸雑費		式	1			
ZAA0916000	エポキシ樹脂塗装鉄筋	SD345 D13 消耗品含む 車上渡し	t	0.008			道建設部策定単価
ZAC7060000	無収縮モルタル	セメント系プレミックス 標準混和量 1875 kg/m ³	m ³	0.147			刊行物単価
ZAC7070000	ポリマーセメント系修復材	セメンテックVF	m ³	0.019			道建設部策定単価
ZS8000004	諸雑費（率+まるめ）		式	1			

集計リスト（材料）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ZKD2051400	玉石	15～25cm(土場 芽室、更別、豊頃、幕別、中札内、帯広)	m ³	5.67			地方資材単価
Z006706001	灯油	白灯油 業務用 スタンド渡し	L	294.385			刊行物単価
ZAC3022000	植生土のう	芝草類 60cm×40cm	袋	18			刊行物単価
ZKD4002500	コンクリート塊受入費	無筋 30cm程度の大きさ	m ³	2.584			地方資材単価
ZKD5605800	産業廃棄物中間処理料金	汚泥 含水率85%以上(計量費含む) 無機性汚泥	t	0.02			地方資材単価
ZKD5605900	産業廃棄物中間処理料金	循環税相当額 汚泥 含水率85%以上(計量費含む) 無機性汚泥	t	0.02			地方資材単価
ZKD2033900	盛土材(土砂)	中札内村新札内南東6線233-3	m ³	3.5			地方資材単価
Z006082001	土のう	62×48cm	袋	175			刊行物単価
ZAE3000200	一般貨物自動車運賃	小型車(2tクラス) 20kmまで	台	1			その他単価

集計リスト（材料）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ZKD5708100	産業廃棄物最終処理料金	廃プラスチック類 発泡スチロール・ウレタン・スポンジ・スタイロフォームを除く	t	0.01			地方資材単価
ZKD5799000	産業廃棄物最終処理料金	循環税	t	0.01			地方資材単価
ZAC8481000	塗膜中の鉛の溶出試験	JIS K 0102 54.1 前処理及び試料の処分含む 試料採取費含まず・諸経費含む（共現一外）	検体	1			道建設部策定単価
ZAA8552000	橋名板	ブロンズ 500×150×20mm JIS H5111 1種 BC1	枚	4			道建設部策定単価
ZAA8515000	橋名板 取付け板	溶接式 550×200×4.5mm 亜鉛メッキ	枚	4			道産材 道建設部策定単価

集計リスト（その他）

コード	工事名 紅葉橋補修工事 (公共)	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
	伸縮継手装置	YHN-20(改)	m	4.279			【見積策定単価】
	地覆パッキン	YH-C 430×50×30 バックアップ材・シール材含む	個	2			【見積策定単価】
	伸縮継手装置	YHN-20(改)	m	4.279			【見積策定単価】
	地覆パッキン	YH-C 430×50×30 バックアップ材・シール材含む	個	2			【見積策定単価】
	鋼製支圧板	PL-100×200(SS400)	kg	18.209			【見積策定単価】
	塗布形素地調整軽減剤	100g/m2 1.2kg/缶	缶	1			【見積策定単価】
	有機ジンクリッチペイント	25kg/缶	缶	1			【見積策定単価】
	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	18kg/缶	缶	1			【見積策定単価】
	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	18kg/缶	缶	1			【見積策定単価】

法定福利費概算額

【機械設備以外の工事】

1	主たる工種	橋梁保全工事	
2	工事価格		
3	非対象額計（一）		(4) + (5) + (6) + (7)
4	工場製作原価		機械設備の場合は製作原価
5	機器単体費		電気設備工事のみ
6	その他費目		VE管理費・スライド足切額等
7	業務委託料		電気設備工事のみ
8	対象額		(2) - (3)
9	法定福利費の割合		
10	法定福利費概算額		(8) × (9)

【機械設備工事】

11	主たる工種		
12	据付工事原価		
13	据付工事原価に占める法定福利費の割合		
14	据付工事原価に占める法定福利費		(12) × (13)
15	製作原価		
16	設計技術費対象額		(12) + (15)
17	設計技術費対象額に占める法定福利費		(14)
18	設計技術費対象額に占める法定福利費の割合		(17) ÷ (16)
19	設計技術費		
20	設計技術費に占める法定福利費		(19) × (18)
21	工事原価		(12) + (15) + (19)
22	一般管理費等対象額に占める法定福利費		(14) + (20)
23	一般管理費等対象額に占める法定福利費の割合		(22) ÷ (21)
24	一般管理費等		
25	一般管理費等に占める法定福利費		(24) × (23)
26	法定福利費概算額		(14) + (20) + (25)

【合計】

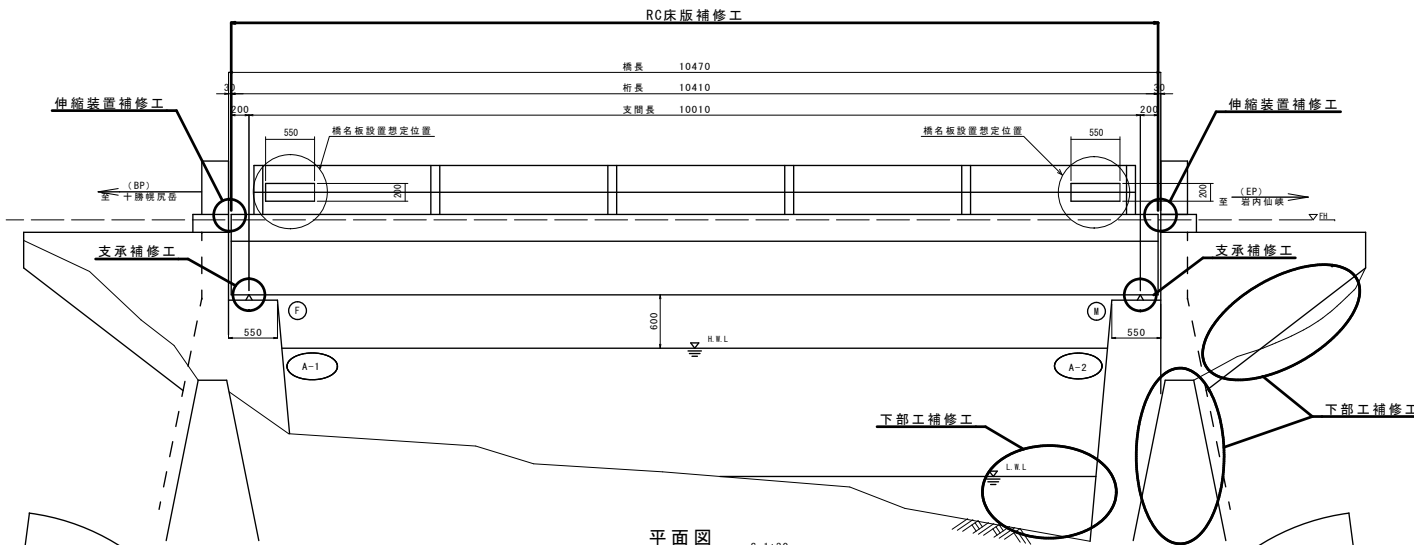
27	法定福利費概算額		(10) + (26)
----	----------	--	-------------

义

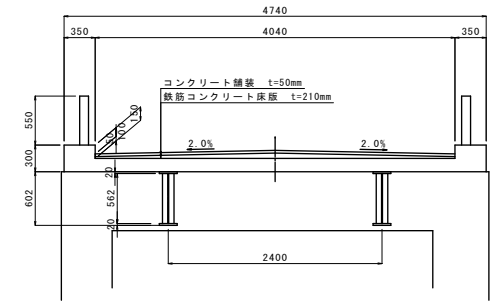
面

紅葉橋 補修一般図

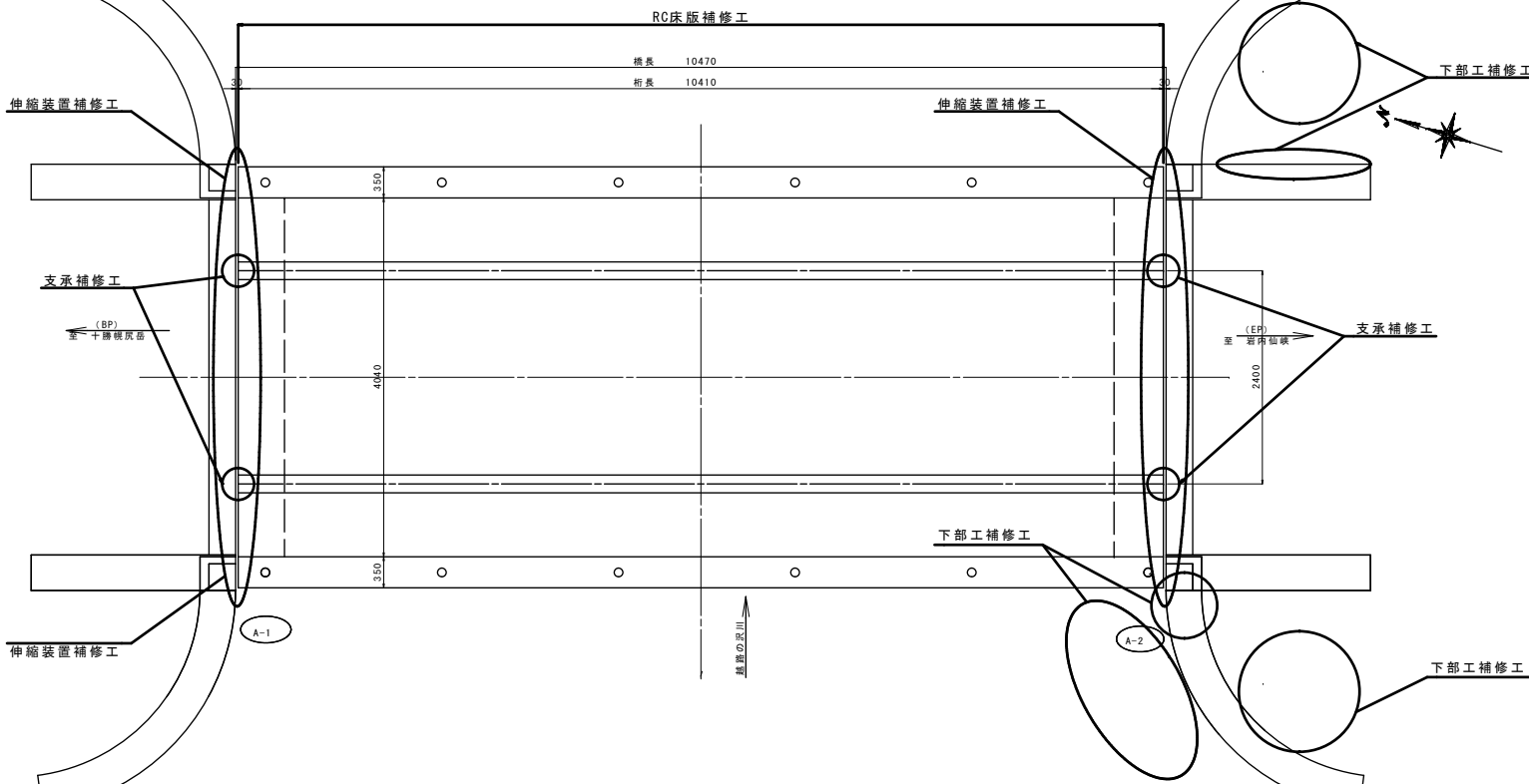
側面図 S=1:30



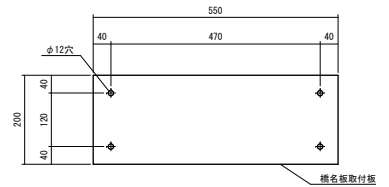
断面図 S=1:30



平面図 S=1:30



橋名板取付板詳細



注意事項
 ・既設橋名板は親柱に設置しており、再設置できる形状や状態でないため撤去すること。
 ・橋名板の設置位置や設置方法については別途監督員と協議の上決定すること。

補修工程一覧

補修名	箇所
1 RC床版補修工	断面修復工
2 伸縮装置補修工	伸縮装置取替工
3 支承補修工	塗装替替え工・モルタル補修工
4 下部工補修工	洗堀対策工・土砂流出防止工

橋梁諸元

橋梁名	紅葉橋
路線名 (K)	岩内線踏切の沢線
橋長 (支間)	10.47m
橋長	4.76m
区間番号	11-14
適用示方書	S39補示
構造	上部工: W型鋼桁 RC床版橋 (その他)
形式	下部工: 重力式橋台
交差物	越路の沢川 (帯広市)
架橋	1966 (S41) : 架橋

【紅葉橋】

年度	令和 8 年度
路線名	岩内線踏切の沢線
工事名	紅葉橋補修工事
図面名	補修一般図
縮尺	図示
図面番号	1 / 9
測量年月	令和4年11月
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント

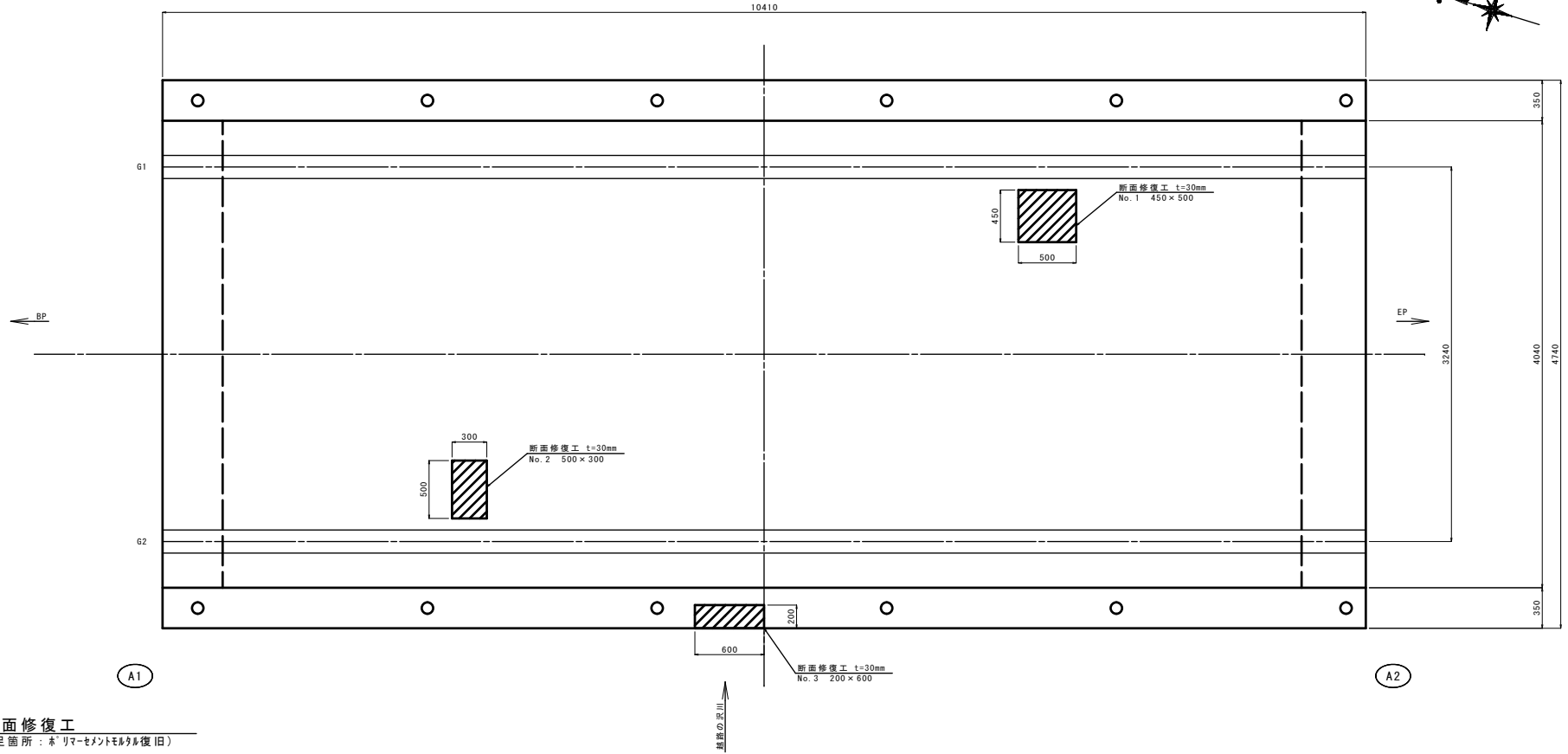
北海道帯広市

床版補修図

紅葉橋

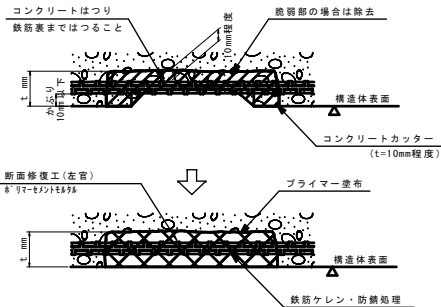
平面図

S=1:20



断面修復工

(鉄筋かぶり不足箇所：ホリマーセメントモルタル復旧)



注意事項

- ・詳細寸法および対策範囲等は、現地確認後決定とする。
- ・仮設足場設置後に床版下面の打音調査を行い、劣化の進行や新規損傷の有無を確認すること。
- ・施工時に新たな劣化部を発生した場合には、監督員と協議の上補修の有無及び補修工法について協議を行うこと。

1. 断面修復工について

- ・はつり方法は、人力はつりを標準とする。
- ・既設コンクリートの脆弱部は、深さに問わず撤去することを目的とする。なお、はつり深さが著しく大きくなる場合は、事前に監督員と協議すること。
- ・はつり後において、鉄筋の錆落し・防錆処理を行うこと。
- ・断面修復時に用いる樹脂モルタルは $\sigma_k \geq 24N/mm^2$ 以上とする。
- ・補修規模(大きさ)により、型枠を用いた充填や吹き付け、パテ埋めを使い分けること。
- ・また、必要に応じて補助鉄筋を配置する等も考慮すること。
- ・鉄筋露出部は、鉄筋の表面までコンクリートをはつり、錆を落とした上で、その後断面修復を行うこと。
- ・コンクリートカッターの深さは10mm程度とする。

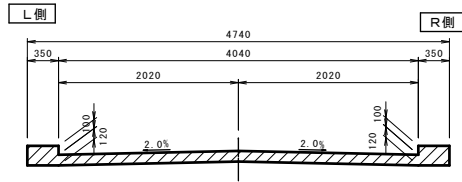
【紅葉橋】

年度	令和 8 年度
路線名	岩内越路の沢線
工事名	紅葉橋補修工事
図面名	床版補修図
縮尺	図示
図面番号	2 / 9
測量年月	令和4年11月
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント
北海道帯広市	

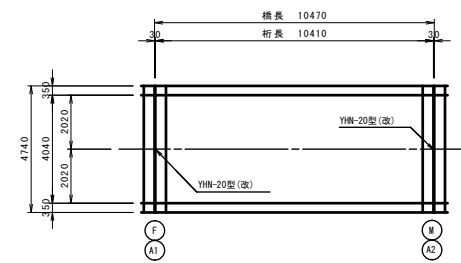
伸縮装置補修図 (1/2)

(参考図)

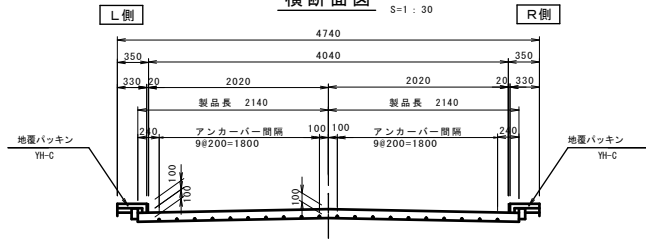
取り壊し横断面図 S=1:30



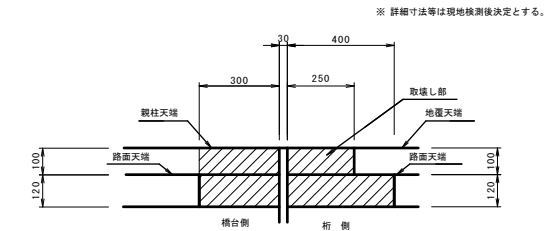
配置図 S=1/100



横断面図 S=1:30

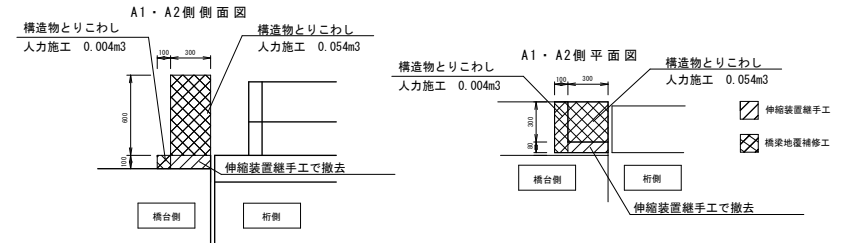


床板切欠き図 S=1/10

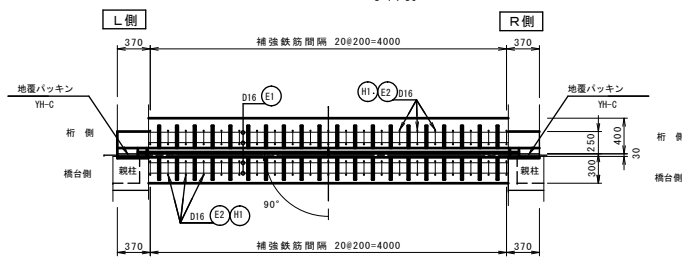


※ 詳細寸法等は現地検測後決定とする。

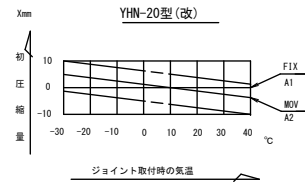
親柱撤去図 S=1/20



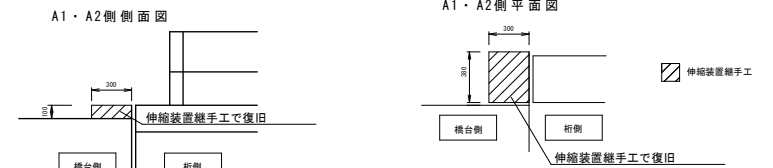
平面図 S=1:30



初圧縮量表



地覆復旧図 S=1/20



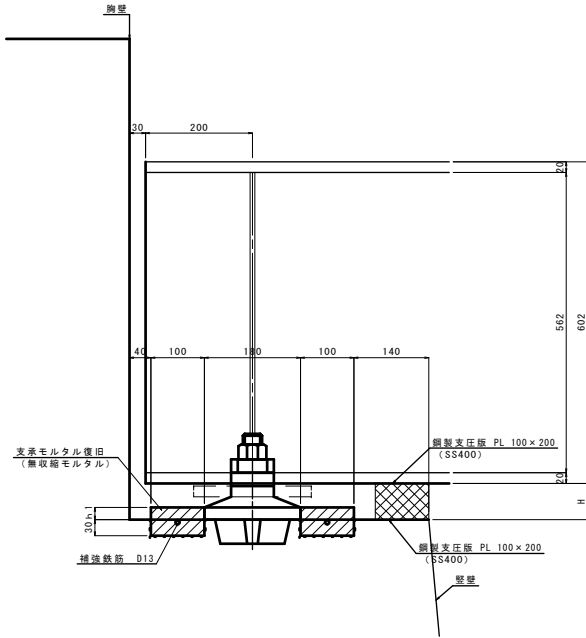
【紅草橋】	
年度	令和 8 年度
路線名	岩内越路の沢線
工事名	紅葉橋補修工事
図面名	伸縮装置補修図 (1/2)
縮尺	図示 図面番号 3 / 9
測量年月	令和4年11月
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント
北海道帯広市	

支承補修図

A1・A2橋台

支承部モルタル補修詳細図 S=1:10

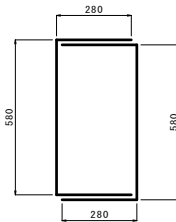
側面図 S=1:5



箇所名	桁下高(H)	モルタル取壊し(h1)	モルタル復旧(h1)
A1G1	68	20	30
A1G2	48	10	10
A2G1	60	18	20
A2G2	56	-	15

鋼製支圧板
A1: 28mm×2枚、20mm×3枚
A2: 28mm×2枚、20mm×3枚

鉄筋加工表 S=1:10

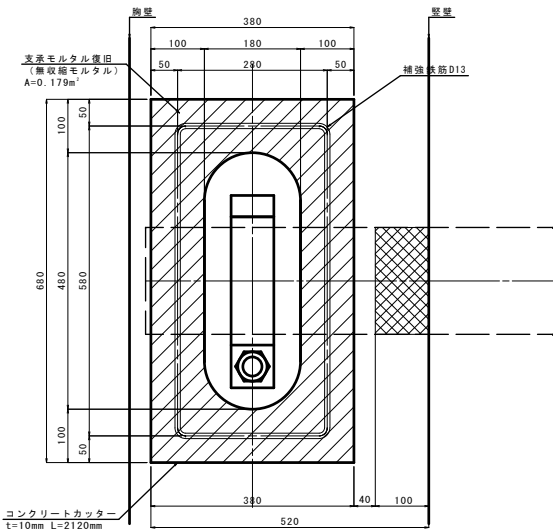


1支承当たり補強鉄筋数量

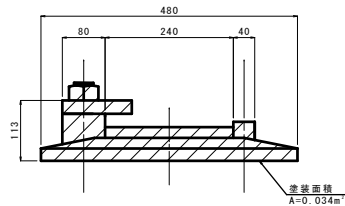
2-D13×1140 (補強鉄筋 SD345)

※ エポキシ塗装鉄筋とする。

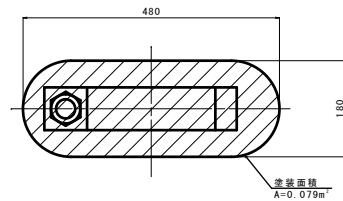
平面図 S=1:5



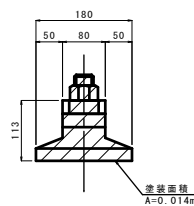
正面図



平面図

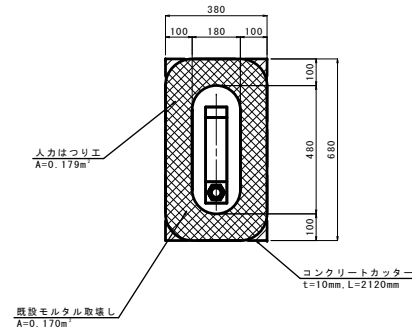


側面図

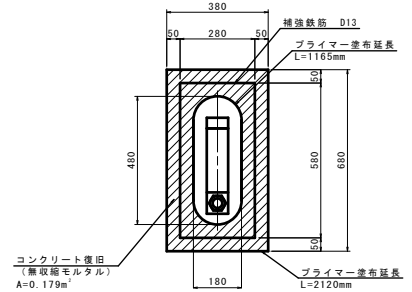


支承塗装工 S=1:5

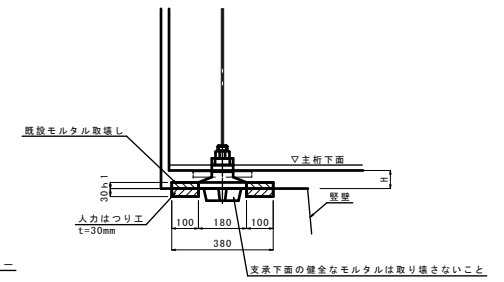
施工平面図 (取壊し)



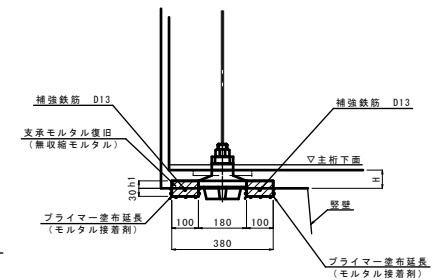
施工平面図 (モルタル復旧)



施工断面図 (取壊し)



施工断面図 (モルタル復旧)



塗装仕様

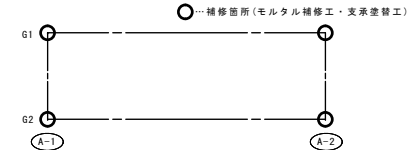
塗装仕様表 (Rc-II)

塗装工程	材料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
表地調整	レーザーリーナーエ		4時間以内
下地処理	塗布形表地調整剤	100	5時間～3日
防食下地	有機ジソリッチペイント	600	1～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	200	1～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	1～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1～10日

注意事項

- 【支承塗装工】 [NETIS登録番号: KK-240074-A] 塗膜除去養生用「EMシート」
- EMシートを使用し支保部を取り囲むように養生し飛散防止に努めること。
 - 塗替え箇所を限定的な養生・足場のシート養生による飛散防止を実施することからクリールシート及び養生養生は不要と考えるが作業者の健康被害防止の観点から防じんマスク等を用いること。
 - 支保部の場合、凹凸面の削を完全に除去することは難しく、削部からの浮遊粉塵も懸念されることから、塗布表地調整剤減量材を使用すること。
- 【モルタル補修工】
- 詳細寸法および対象範囲等は、各支保部に現地確認後決定とする。
 - 支保に傾斜が確認される場合は、仮設計画を含め再検討すること。
 - 施工時に新たな劣化部を発見した場合には、監督員と協議の上補修の要否及び補修方法について協議を行うこと。
 - 支保モルタルは支保下鋼板天端まで立ち上げるように復旧すること。
 - はつりはマイクロクラックの発生を低減させるため、電動ピックを使用すること。
 - アンカーボルトの緩みを確認して、緩んでいる場合は締め付けを行うこと。
 - 支保下に空隙がある場合には、無収縮モルタルを充填すること。
 - 5℃を下回る条件下での施工では、防寒養生を行うこと。

補修箇所図



【訂正欄】

年度	令和 8 年度
路線名	岩内越路の沢線
工事名	紅葉橋補修工事
図面名	支承補修図
縮尺	図示 図面番号 5 / 9
測量年月	令和4年11月
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント

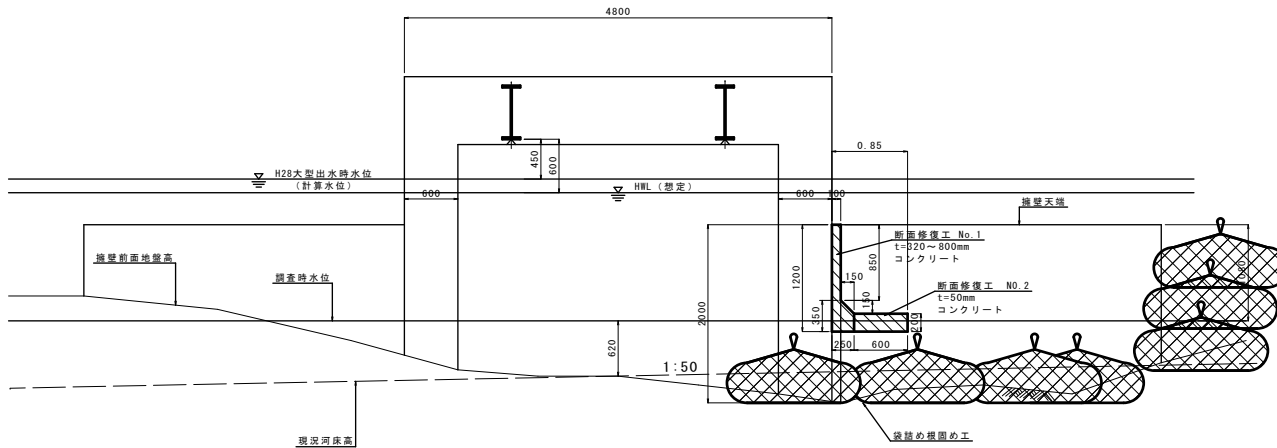
北海道帯広市

下部工補修図 (1/2)

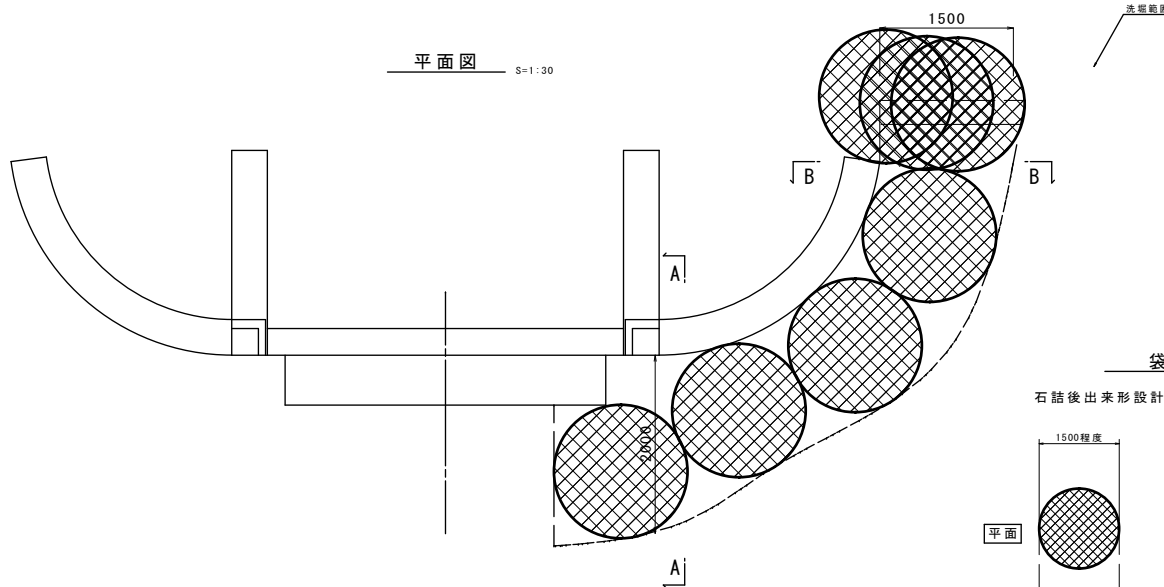
洗堀対策工

雪寒仮囲い根拠図

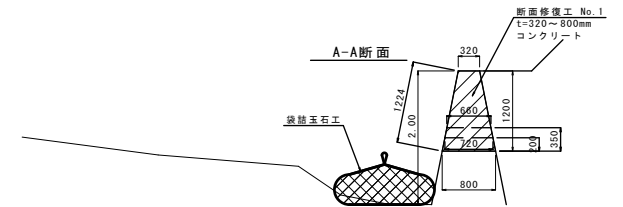
展開図 S=1:30
A-2



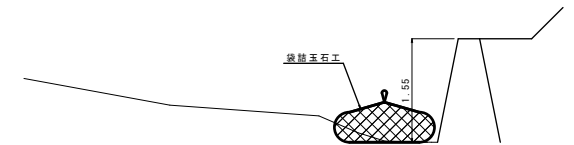
平面図 S=1:30



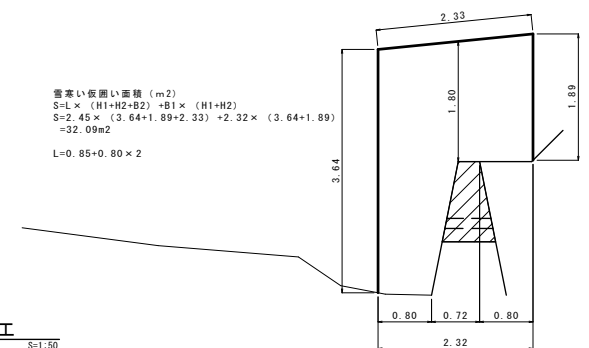
断面図 S=1:40



B-B断面



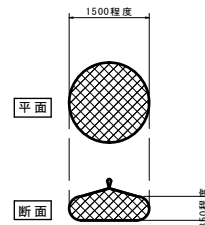
雪寒仮囲い断面図 S=1:40



袋詰玉石工

S=1:50

石詰後出来形設計値：直径φ1.5m×高さ0.35m



立体



内容積：約0.63m³
中詰材：割石15~25cm

【概要欄】

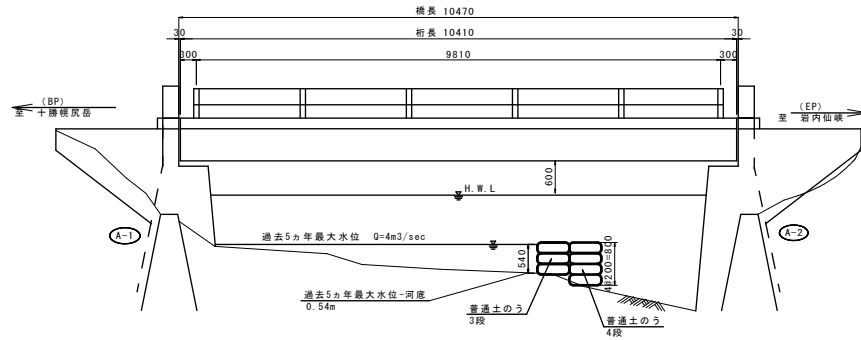
年度	令和 8 年度
路線名	岩内越路の沢線
工事名	紅葉橋補修工事
図面名	下部工補修図 (1/2)
縮尺	図示 図面番号 6 / 9
測量年月	令和4年11月
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント
北海道帯広市	

仮設工参考図 (1/2)

仮締切工

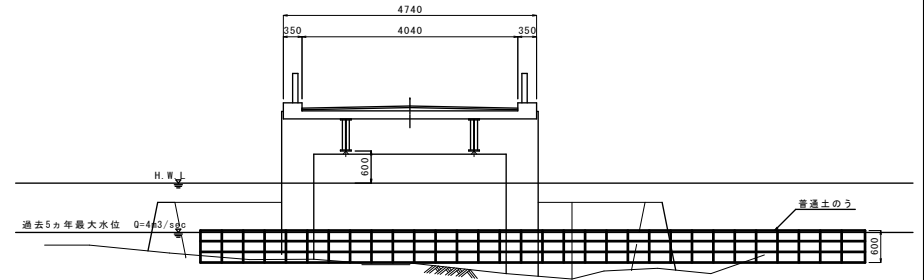
側面図

S=1:50



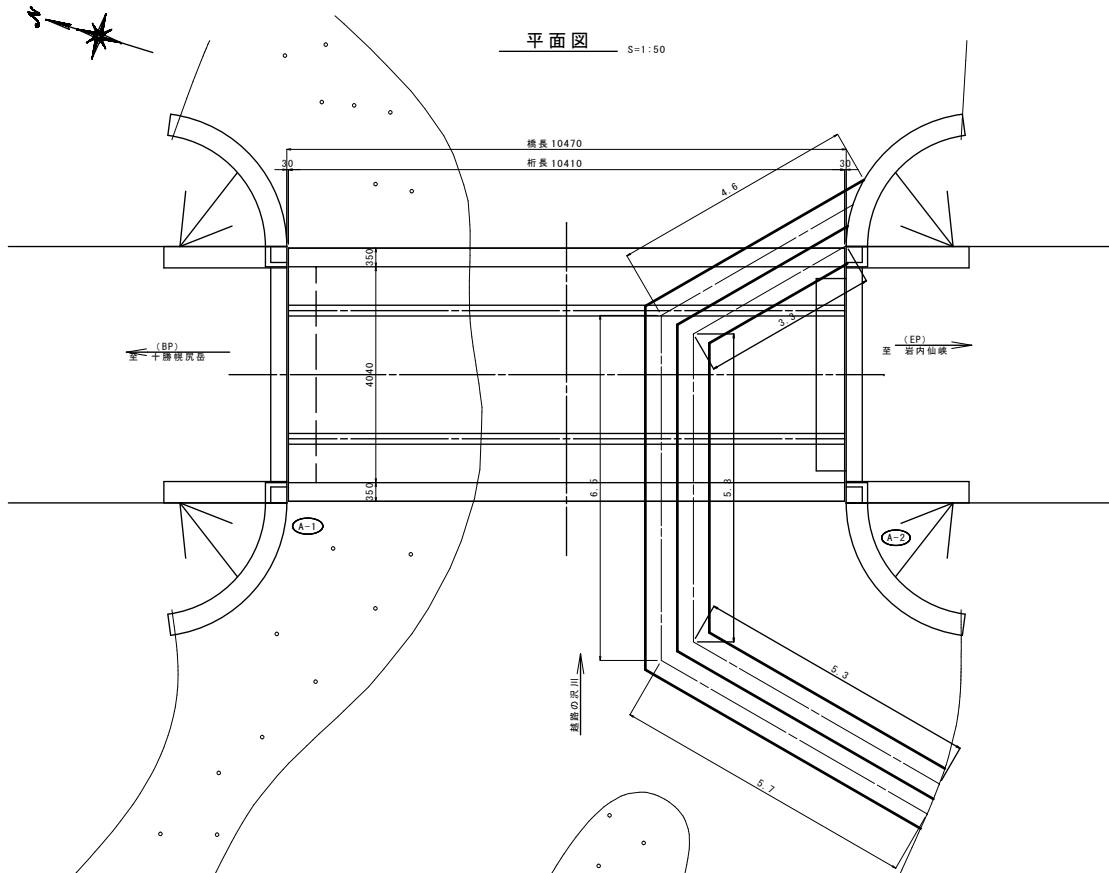
展開図

S=1:50



平面図

S=1:50

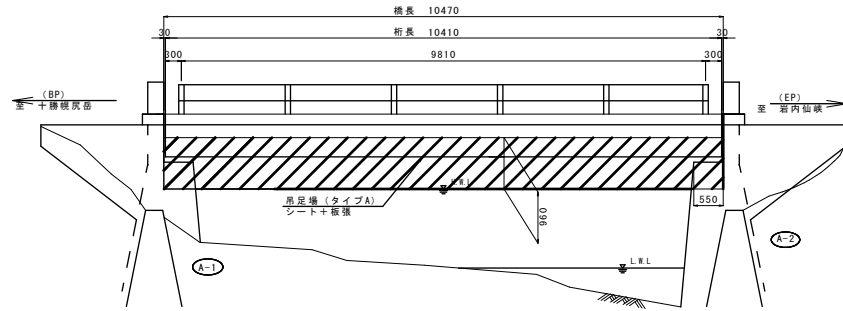


【紅草橋】	
年度	令和 8 年度
路線名	岩内越路の沢線
工事名	紅葉橋補修工事
図面名	仮設工参考図 (1/2)
縮尺	図示
図面番号	8 / 9
測量年月	令和4年11月
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント
北海道帯広市	

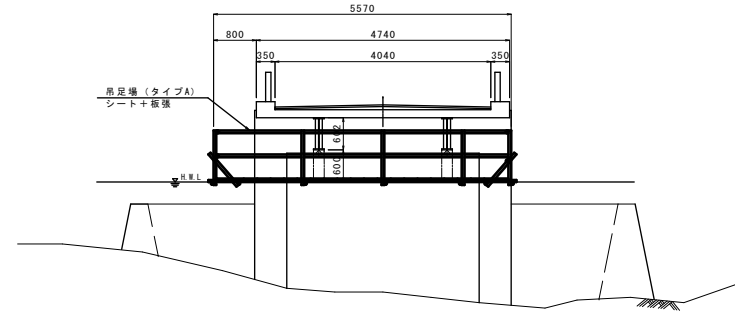
仮設工参考図 (2/2)

足場工
参考図

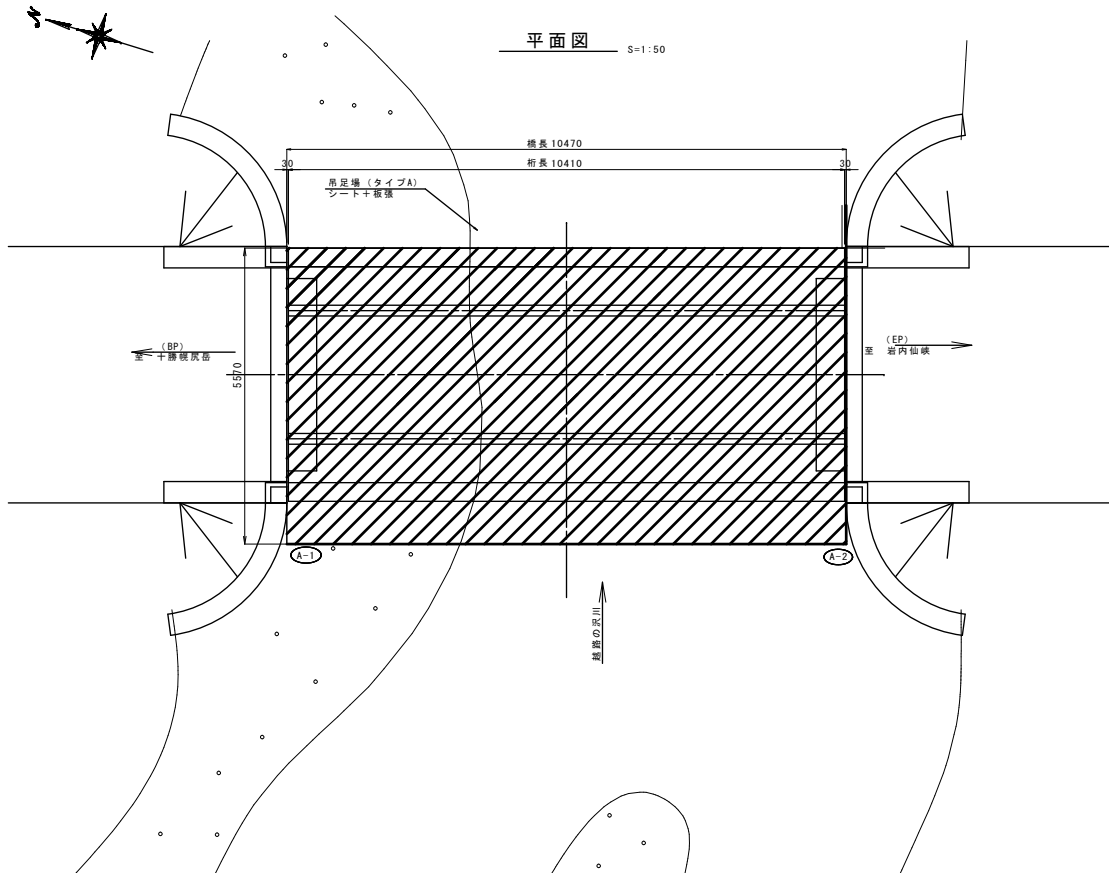
側面図 S=1:50



断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



【紅葉橋】	
年度	令和 8 年度
路線名	岩内越路の沢橋
工事名	紅葉橋補修工事
図面名	仮設工参考図 (2/2)
縮尺	図示
図面番号	9 / 9
測量年月	令和4年11月
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント
北海道帯広市	